

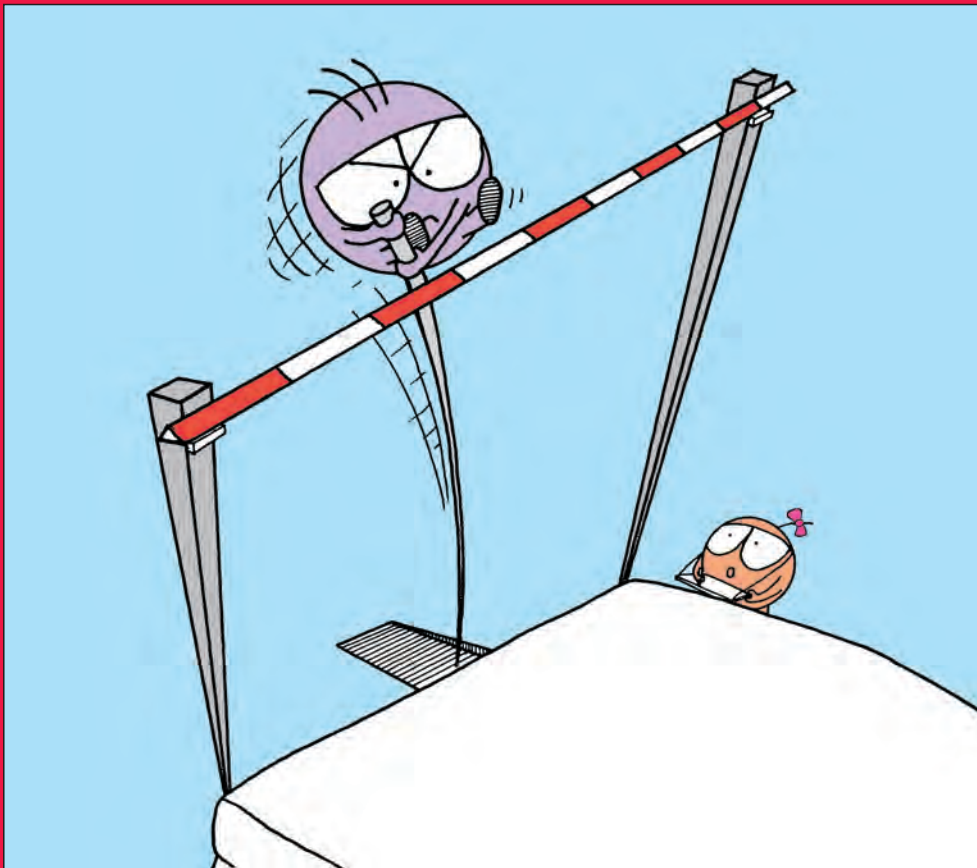


南米スペイン語圏出身児童のための算数教材

足し算・引き算

日本語クリアー

指導者用





足し算・引き算日本語クリアー 指導者用 目次

内容別の区切り	課	タイトル	内容と表現	ページ
表紙と目次			「指導者用」と「児童用」の内容およびページ数はそれぞれ異なります。ご注意ください。	
1位数どうしの足し算	第1課	10までの かず	10までの数の命数法（唱え方）・記数法（書き方） ・（ ）と（ ）を せんで むすびましょう。	1
	第2課	あわせると	2つの数を合算する足し算 ・あわせると（ ）こに になります。	7
	第3課	3にん くと	人や物が増える場面の足し算 ・（ ）にん くと（ ）にんに になります。	13
	第4課	みんなで・ぜんぶで	2種類のを数を数えて合算する足し算 ・みんなで（ ）にん。 ・ぜんぶで（ ）こ。	18
1位数どうしの引き算	第5課	のこりは	人や物が減る場面の引き算 ・（ ）こ たべると のこりは（ ）こ。	23
	第6課	まるは しかくより 2こ おお い。	差を求める引き算 ・（ ）は（ ）より（ ）こ おおい・すくないです。	29
	第7課	ちがいは	差を求める引き算「5個と2個。違いは3個。」 ・（ ）こと（ ）こ。 ちがいは（ ）こ。	35
2位数と1位数の計算で ～繰り上がり・繰り下がり なし	第8課	10に 3を たすと	10と1位数を足す計算 ・（ ）に（ ）を たすと（ ）に になります。	40
	第9課	10と 1で 11。	19までの数の命数法（唱え方）・記数法（書き方） ・（ ）と（ ）で（ ）です。	45
	第10課	13から 3をひくと	（19までの2位数）－（1位数） ・（ ）から（ ）を ひくと（ ）に になります。	48
1位数と1位数、 2位数と1位数の計算で ～繰り上がり・繰り下がり あり	第11課	1あげると	（1位数）＋（1位数）で繰り上がりがある計算 ・（ ）から（ ）に（ ）あげる。	53
	第12課	13は 10と 3。	（11～18）－（1位数）で繰り下がりがある計算 ・（ ）は（ ）と（ ）。 ・（ ）ひく（ ）は（ ）。	58
	第13課	おおい すくない	Aが8個。BはAより2個多い（少ない）。Bは何個か。 ・（ ）は（ ）より（ ）こ おおい・すくないです。	65
	第14課	10が 2つ で 20。	100までの数の構成「10が2つで20。」 ・（ ）が（N個）で（ ）です。	71
2位数と1位数、 2位数と2位数の計算で ～繰り上がり・繰り下がり なし 繰り上がり・繰り下がり あり	第15課	たすと ひくと	（2位数）－（何十）の計算 ・（ ）に（ ）をたすと ・（ ）から（ ）をひくと	75
	第16課	ひっさん	（2位数）＋（2位数）で繰り上がりなし ・（ ）と（ ）で（ ）。 ・たてに かく。	80
	第17課	1くりあげて	（2位数）＋（2位数）で繰り上がりあり ・1くりあげて（ ）を かく。	86
	第18課	1くりさげて	（2位数）－（2位数）で繰り下がりなし、あり ・（ ）から（ ）は ひけないから ・1くりさげたから（ ）	94
	第19課	いくつ ありますか。	1個ずつ配っていくつ余るかを求める計算 ・（ ）ずつ くばると、いくつ ありますか。 ・あまる	101
	第20課	いくつ たりませんか。	1個ずつ配っていくつ足りないかを求める計算 ・（ ）ずつ くばると、いくつ たりませんか。	106
	第21課	200 300 400… 1000	1000未満の数の構成（200、300、400、500～900） ・（ ）が（ ）で（ ）。	111



2位数と2位数、 3位数と2位数、 3位数と3位数で ～繰り上がり・繰り下がり なし 繰り上がり・繰り下がり あり	第22課	あわせて いくら。のこりは いくら。	50+20や150+30のような一の位が0の数の計算 ・あわせて いくら。 ・のこりは いくら。	118
	第23課	いくつ あつめましたか。	(2位数) + (2位数) で繰り上がりが2回 ・いくつ あつめましたか。	123
	第24課	ひやくの くらい	(3位数) + (3位数) で繰り上がり なし・あり ・一のくらい 十のくらい 百のくらい	128
	第25課	まず、() の なかを	加法の結合法則 $3+5+6=(3+5)+6$ ・まず、～。 つぎに、～。 かっこ。 じゅんじょ。	134
	第26課	100えんを 10えんに	(3位数) - (2位数) で繰り下がり1回 ・() を () に かえる。～したらいい。 ・ひけないから。	140
	第27課	十のくらいは いま いくつ。	(3位数) - (2位数) で繰り下がり2回 ・() のくらいから 1くりさげて () 。	146
	第28課	3けたの ひきざん	(3位数) - (3位数) で繰り下がり なし・あり ・あと いくつ ～すると おわりますか。	151
	第29課	0だから くり上げられない ①	802-647のように十の位が0の時の引き算 ・十のくらいは 0だから くり上げられない	159
	第30課	0だから くり上げられない ②	700-567のように百の位も十の位も0の時の引き算 ・() のくらいから () のくらいに 1くりさげると () のくらいは () 。	168
3位数と3位数、 4位数と3位数で ～繰り上がり・繰り下がり なし 繰り上がり・繰り下がり あり (準備中)	第31課	4けたの たしざん・ひきざん	(3位数) + (3位数) = (4位数) の計算 (4位数) - (3位数) の計算 ・() から () は ひけないから () のくらい から 1くりさげて () のくらいは () 。	174
	第32課	まちがしやすい ひきざん ①	1000 - (3位数) で3回連続繰り下がり ・千のくらいから 1くりさげると 千のくらいは () で、百のくらいは () 。	181
	第33課	まちがしやすい ひきざん ②	(4位数) - (3位数) で2回連続繰り下がり ・() のくらいから1くりさげると () のくらいは () で、() のくらいは () 。	187
その他、 足し算・引き算とテープ、 図、 順序数、 数直線	第34課	たしざん・ひきざんと ず ①	足し算・引き算の場面をテープ図で表す ・() を () に しました。	192
	第35課	たしざん・ひきざんと ず ②	テープ図を使って元の数を求める足し算・引き算 ・なんにんかいる。/なんまいかある。/なんこかある。	198
	第36課	なんばんめ	数を使って順序を表す方法 「何番目」 ・() から () にん ・() から () にんめ・ばんめ・まいめ	203
	第37課	まえには 5にん	順序数を使って全体の数を求める足し算・引き算 ・まえには () にん。/うしろには () にん。 ・() を つかって かんがえましょう。	209
	第38課	1000 2000 3000	9000までの数の命数法(唱え方)・記数法(書き方) ・すうじで かきましょう。	215
	第39課	あと なんまいで 10000まい	10000の数の構成と命数法(唱え方)・記数法(書き方) 大きな数を数直線上で読む基礎 ・あとなんまいで () まいに なりますか。	221
	第40課	かずの せん	数直線に慣れる ・() に はいる かず	227
		用語集 (ポルトガル語訳)	重要用語の日本語、スペイン語での一覧	別紙



指導ポイント&ヒント

1課 10までのかず

【内容】10までの数の命数法・記数法

【表現】()と()を線で結びましょう。

【指導ポイント&ヒント】

- ・ 「物」と「数字」とその「数字の読み方」とを対応させながら学ぶ単元です。
- ・ この教材は「教科内容」を理解させることを第一にしており、この課の第一目標は絵の数と数字とか一致するかどうかを確かめさせることです。数と数字がしっかり対応していることを確かめてから、数字の日本語よみを言わせるようにします。
- ・ 日本語は「～と～を線で結ぶ」という言い方を重要表現として採り上げました。
- ・ 4は「し」「よん」、7は「しち」「なな」、9は「く」「きゅう」という2通りの読み方があるので、子どもが混乱をします。この課では、「よん」「なな」「きゅう」で指導しています。それは、2桁の数で「しじゅうし」より「よんじゅうよん」の方が、「しちじゅうしち」より「ななじゅうなな」の方が、子どもの間でよく使われる、「くじゅうく」とは言わず「きゅうじゅうきゅう」と言う…などの理由によります。



1課
ようごとぶん

Unidad 1
Palabra y Frase

ようご	Palabra
え	Dibujo, pintura, ilustración
かぞえましょう	Vamos a contar
すうじ	Número
せん	Línea, trazo
おすびましょう	Relacionemos, conectemos

ぶん	Frase
えをみてかぞえましょう。	Vamos a observar el dibujo y a contar.
Aとすうじをせんでおびましょう。	Unamos A y el número correcto con una línea.



1 10までのかず

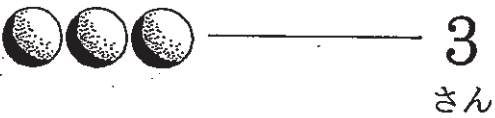
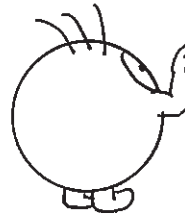
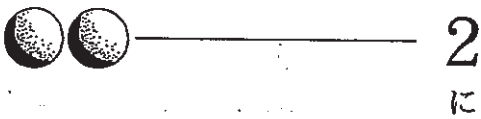
5までの数の唱え方と数字

1

えをみてかぞえましょう。



1, 2, 3, 4



かぞえます。



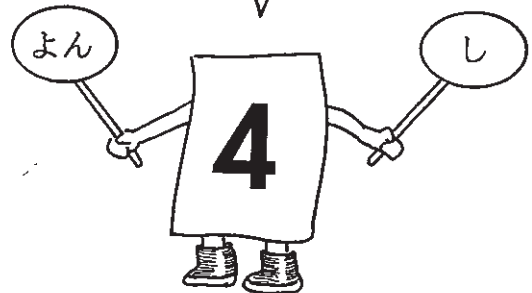
1, 2, 3



よん? し?



どっちでもいいです。



●とすうじをせんでむすびましょう。



• 1



• 2



• 3



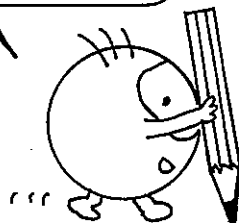
• 4



• 5

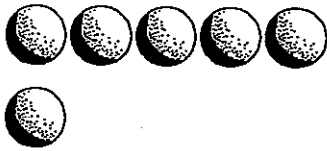


せんでむすびます。



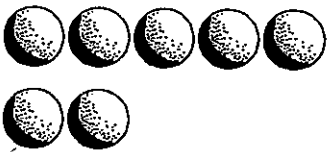
• 1

えをみてかぞえましょう。



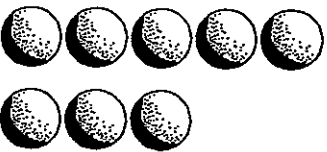
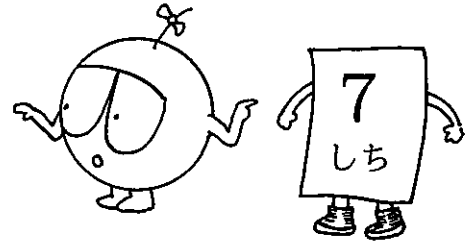
6

ろく



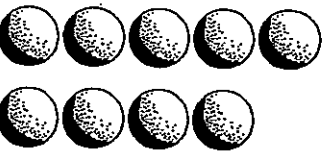
7

なな



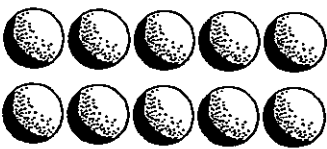
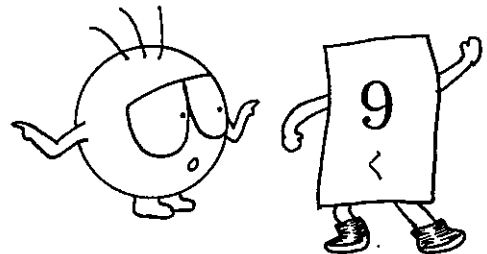
8

はち



9

きゅう



10

じゅう

4

● と すうじを せんで むすびましよう。



•

•

5



•

•

8



•

•

6



•

•

9



•

•

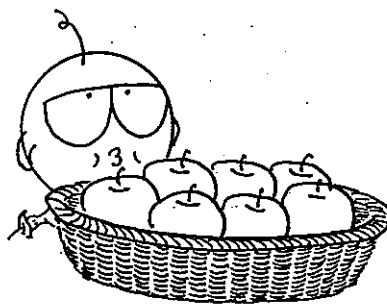
7



•

•

10





指導ポイント&ヒント

2課 あわせると

【内容】(1位数) + (1位数) / 合併場面における加法

【表現】あわせると / [] 個になります。

【指導ポイント&ヒント】

- ・ 2つの物を合わせるときに加法が使われることを絵で示し、それを $\square + \square = \square$ という式で表すことを学ぶ単元です。
- ・ 「文」「式」「答え」という日本語も覚えてほしいところです。
- ・ 授業では「あわせて いくつ？」という言い方もよく使われます。
- ・ 子ども達を悩ませる日本語の1つとして「個」「本」などの「助数詞」があります。また、助数詞には含まれませんが、数えるときに使われる「箱」「皿」などの名詞も難しい言い方です。この課では、使用頻度が高く子ども達が慣れている「個」を1番目に、次に数字の読み方が変わらない「枚」を採り上げました。3番目に提示した「冊」は「個」同様、数字の発音が音便化する助数詞です。「いち」は「いっさつ」、「はち」は「はっさつ」、「じゅう」は「じっさつ・じゅっさつ」と音便化します。4番目に提示した「本」はさらに複雑で、穏便化するだけでなく助数詞の読み方まで「ほん」「ぼん」「ぼん」と変化します。最後に提示した人数の数え方は、はじめの「ひとり」「ふたり」を覚えれば、あとは「～にん」なので覚えやすいでしょう。
- ・ 数の言い方でも1つ問題になるのが、「じっぼん」か「じゅっぼん」かです。小学校では「じっぼん」と教えていますが、一般には「じゅっぼん」と言うことが多く、どちらを教えたらいいか悩むところです。このテキストでは、不規則な変化は最小限にしたいと考え、「じゅっぼん」を採用しています。



2課
ようごとぶん

Unidad 2
Palabra y Frase

ようご	Palabra
あわせる	Juntar, agrupar
おぼえましょう	Memoricemos
ぶん	Expresión numérica
つくりましょう	Escribamos expresiones (numéricas)
しき	Fórmula matemática, ecuación
こたえ	Respuesta
かきましょう	Escribamos
よみましょう	Leamos

ぶん	Frase
2こと1こ。あわせると3こになります。	2 y 1, si los sumas, obtendrás 3.
おぼえましょう。	Memoricemos.
ぶんをつくりましょう。	Hagamos expresiones numéricas.
ぶんとしきとこたえをかい てよみましょう。	Escribamos la expresión, la fórmula y la respuesta y luego leámoslas en voz alta.

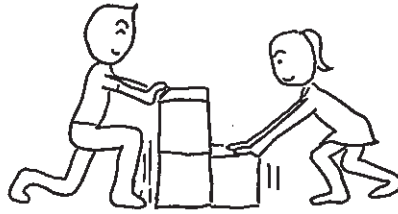
2 あわせると

(1位数) + (1位数) / 合併場面における加法の意味

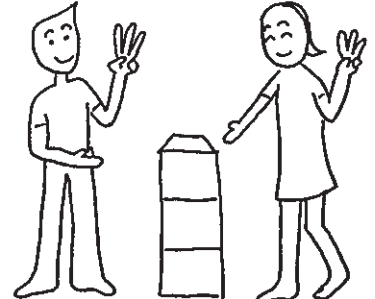
1



2ことと1こ。



あわせると



3こになります。

と 。

あわせると

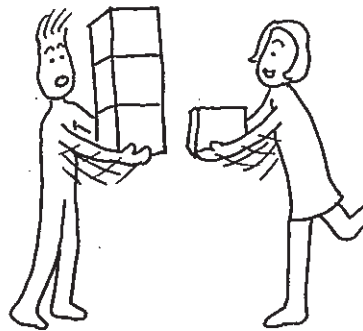
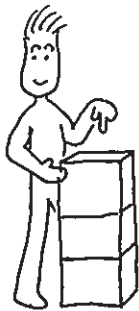
になります。



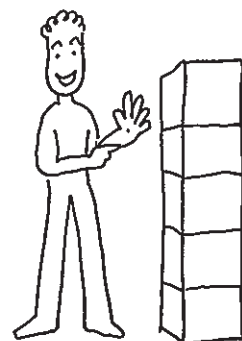
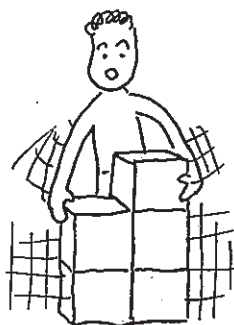
2

えをみて、ぶんをつくりましょう。

①

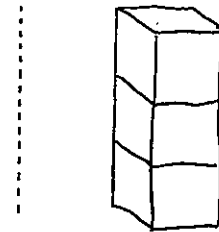
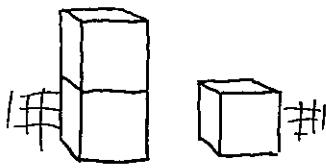


②



3

【ぶん】 2こと1こ。あわせると3こになります。



【しき】 $2 + 1 = 3$
 に たす いち は さん

【こたえ】 3こ

しき

+ =
 たす は

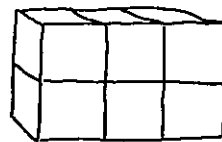
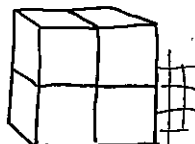
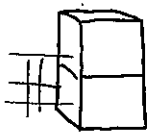
こたえ _____



4

ぶんとしきとこたえをかいてよみましょう。

①

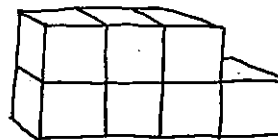
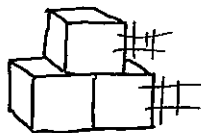
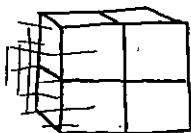


と 。あわせると になります。

+ =

こたえ こ

②



と 。あわせると になります。

+ =

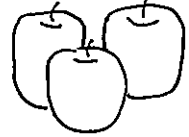
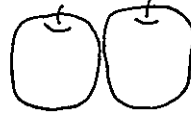
こたえ こ

5

かぞえましょう。

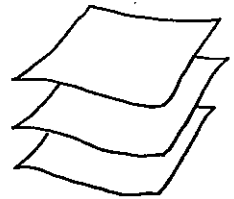
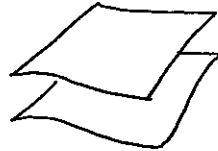
①

りんご



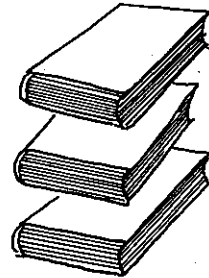
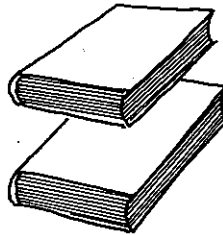
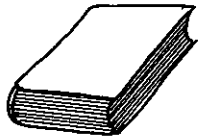
②

かみ



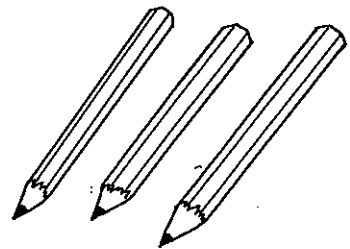
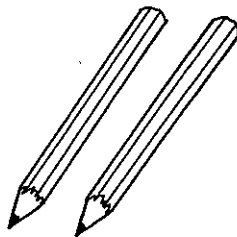
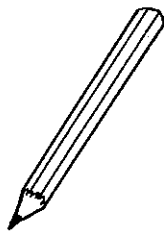
③

ほん



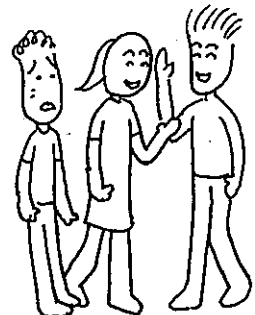
④

えんぴつ



⑤

ひと



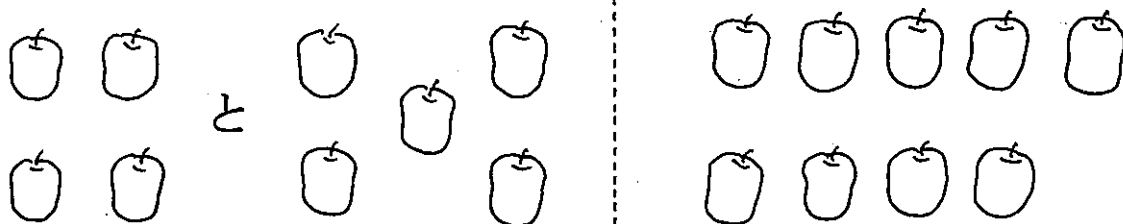
6

ノートにふんとしきとこたえをかいてよみましょう。

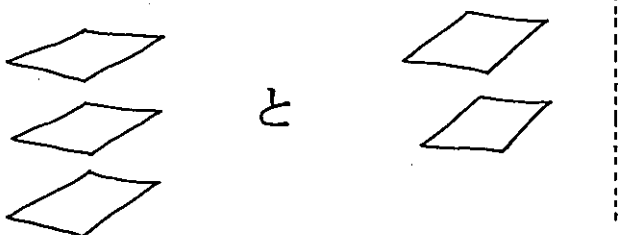
①



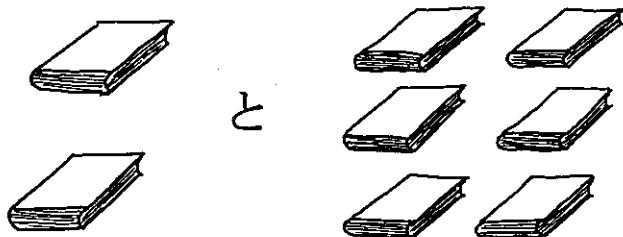
②



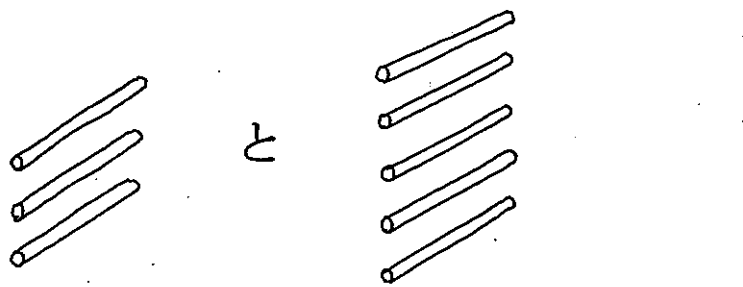
③



④



⑤





指導ポイント&ヒント

3課 3にんくると

【内容】(1位数) + (1位数) /

増加場面(ものが増える場面)における加法

【表現】[]人 来ると、[]人になります。

【指導ポイント&ヒント】

- ・ すでにある物や人に、新たにいくつか加わったときの合計を求める場面でも加法が使われることを学ぶ単元です。
- ・ 絵を見ながら「N人います。M人来ると、P人になります。」という言い方を練習させます。
- ・ 次に、その言い方を式で表すようにします。



3課
ようごとぶん

Unidad 3
Palabra y Frase

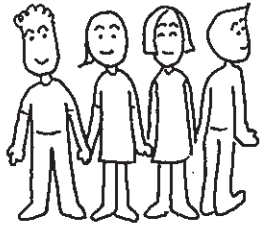
ようご	Palabra
にん	Unidad para contar personas (a partir de tres)
ひとり	1 persona
ふたり	2 personas

ぶん	Frase
3にん くと	Si vienen tres personas
ひとり	1 persona
ふたり	2 personas

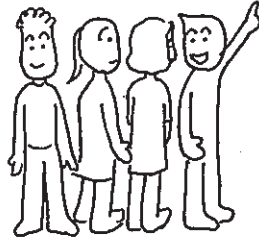
3 3 にん くと

(1位数) + (1位数) / 増加場面における加法の意味

1



4 にん います。



3 にん くと



7 にん になります。

くと

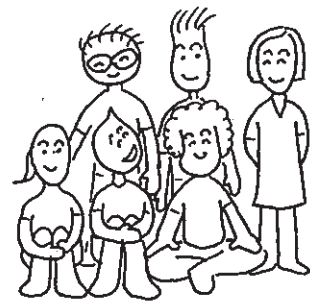
になります。



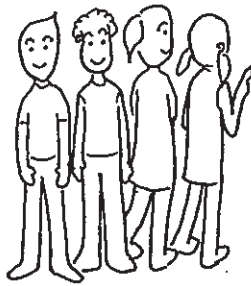
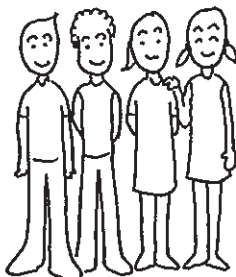
2

えをみて、ぶんをつくりましょう。

①

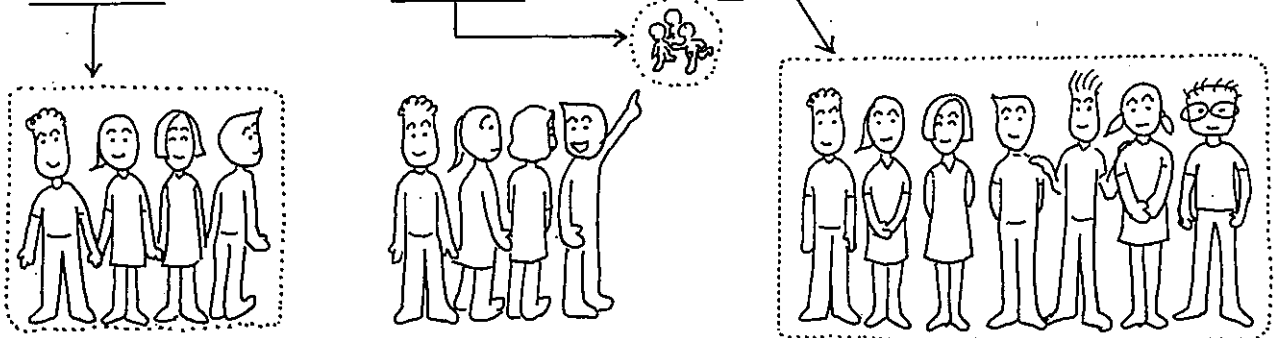


②



3

4にんいます。3にんくると7にんになります。



【しき】 $4 + 3 = 7$
よん たす さん は なな

【こたえ】 7にん

しき

$$\square + \square = \square$$

たす は

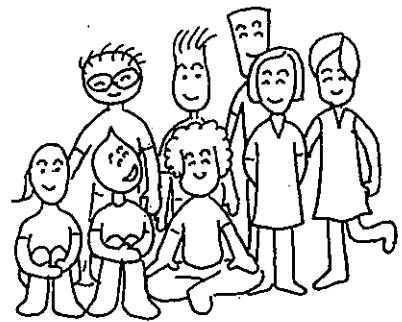
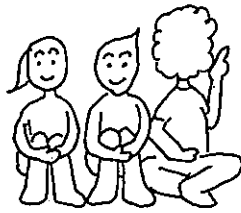
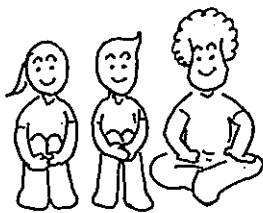
こたえ



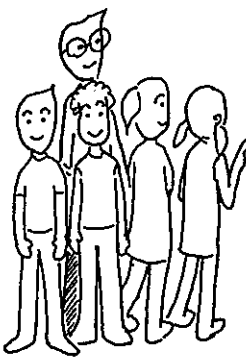
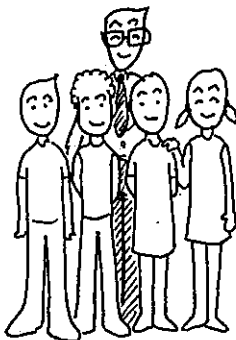
4

ノートにふんとしきとこたえをかいてよみましょう。

①



②



5

ノートにふんとしきとこたえをかいてよみましょう。

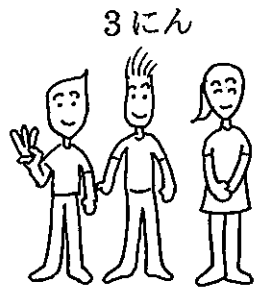
①



ひとり

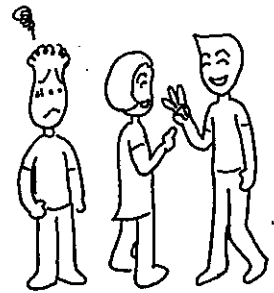
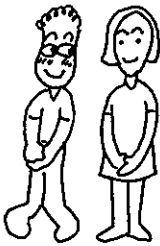


ふたり

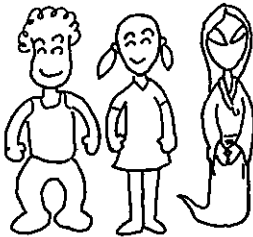


さんにん

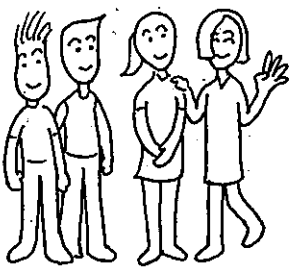
②



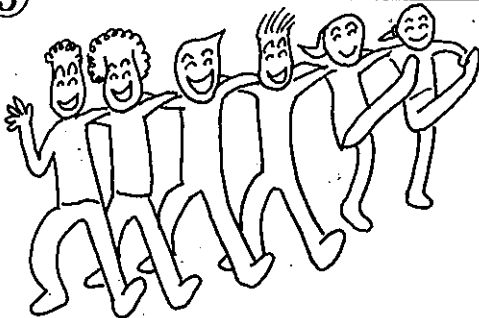
③



④



⑤





指導ポイント&ヒント

4課 みんなで・ぜんぶで

【内容】(1位数) + (1位数)

総和表現(全部でいくつかを表す言い方)における加法の意味と式

【表現】みんなで / ぜんぶで

【指導ポイント&ヒント】

- ・異なる2種のもの(人)があり、それを合計するといくつ(何人)になるかを加法で表す場面を学ぶ単元です。
- ・ここでは、人や動物には「みんなで」、物には「全部で」というように使い分けていますが、日常会話では厳密に区別していませんので、使い分けに神経質になる必要はありません。ちなみにスペイン語では「みんなで・ぜんぶで」は todo といい、人・物による使い分けは特にありません。
- ・イラストの男女の区別がわかりにくい時は、事前に指導者のほうで子どもがどれが男でどれが女だと認識しているか確認してください。



4課
ようごとぶん

Unidad 4
Palabra y Frase

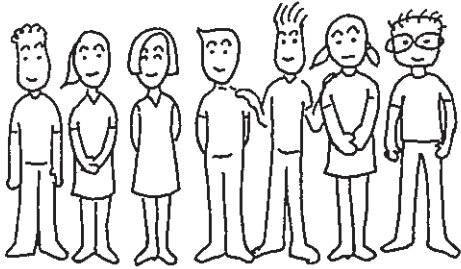
ようご	Palabra
みんなで	Todos, entre todos
ぜんぶで	En total
いいましょう	Digámoslo, leamos en voz alta

ぶん	Frase
みんなで	Todos, entre todos
ぜんぶで	En total
ぶんとしきをいいましょう。	Digamos la expresión y la fórmula en voz alta.

4 みんなで・ぜんぶで

(1位数) + (1位数) / 絵和表現における加法の意味と式

1



おとこのこが 4 にん。

おんなのこが 3 にん。

$$4 + 3 = 7$$

みんなで 7 にん います。

みんなで います。



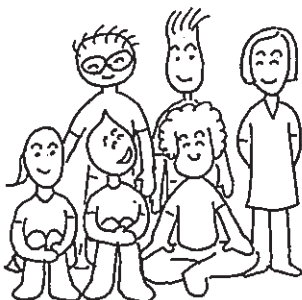
2

えをみて、ぶんとしきをいみましょう。

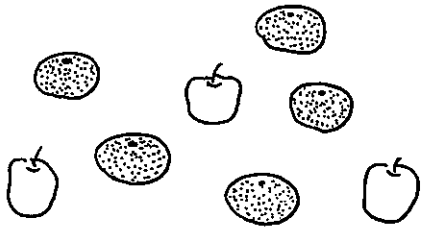
①



②



3



$$3 + 5 = 8$$

りんごが 3 こ。

みかんが 5 こ。

ぜんぶで 8 こ あります。

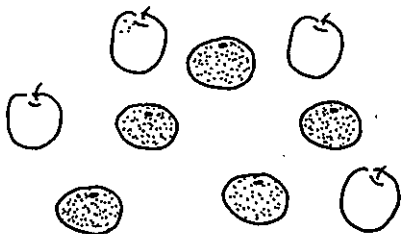
ぜんぶで あります。



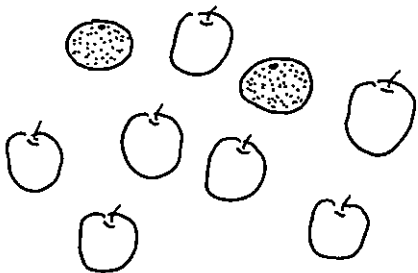
4

えをみて、ふんとしきをいみましょう。

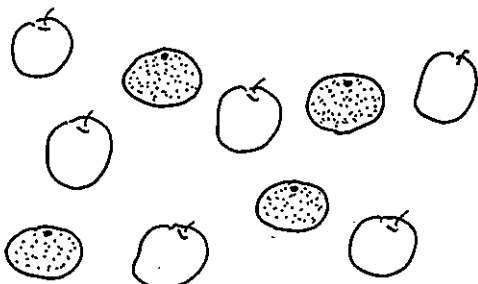
①



②



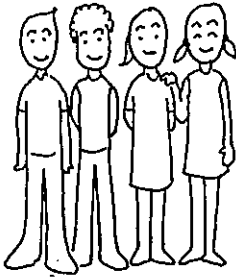
③



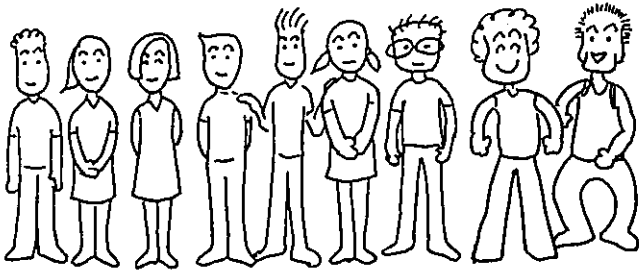
5

ぶんとしきとこたえをノートにかいてよみましょう。

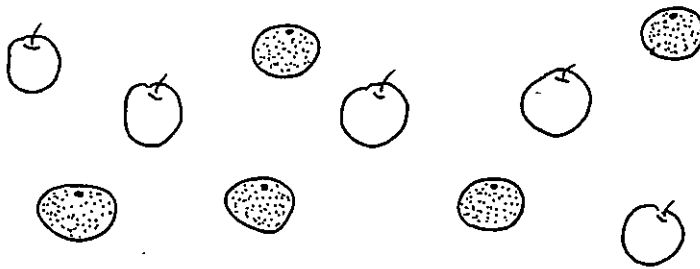
①



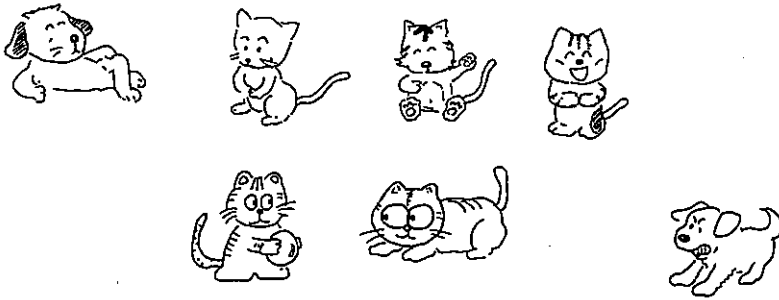
②



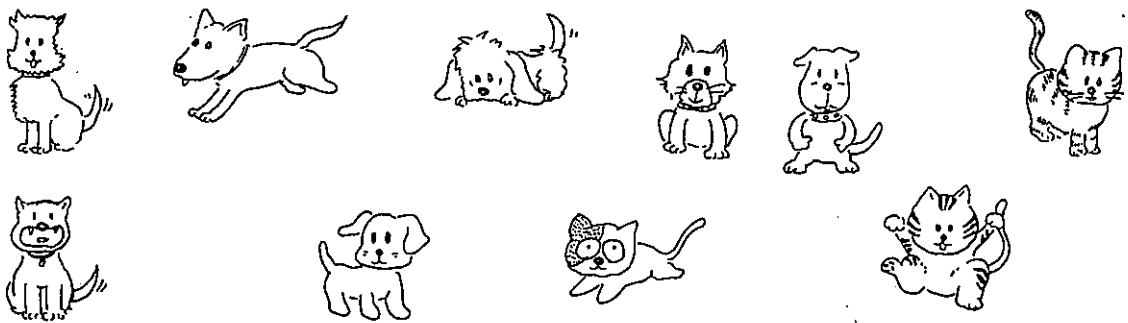
③



④



⑤





指導ポイント&ヒント

5課 のこりは

【内容】（1位数）—（1位数／減少場面（ものが減る場面）における減法
／差が0になる減法

【表現】[]個 食べると、残りは []個です。／ []個になります。

【指導ポイント&ヒント】

- ・ N個ある物からM個取り去った残りを、減法を用いて求める場面の学習単元です。
- ・ 算数では「残り」の言い方に3通りあることが子どもを悩ませます。引き算の場面では「残り」、割り算の場面では「あまり」、何かのいくつ分かを測って残ったものは「はした」などと使い分けていますが、「はした」は生活用語としては死語に近く、算数のある特定の場面でしか使いませんので、無理をして覚えさせなくてもよいでしょう。



5課
ようごとぶん

Unidad 5
Palabra y Frase

ようご	Palabra
のこり	Resto, sobra

ぶん	Frase
1こたべるとのこりは3こです。	Si me como 1, quedan 3.

5 のこりは

1

(1位数) - (1位数) / 減少場面における減法の意味と式

4こあります。



1こたべると のこりは3こです。



$$4 - 1 = 3$$

よん ひく いち は さん

のこりは です。



2

えをみて、ぶんとしきをいみましょう。

①



②



③



3

5こあります。2こたべるとのこりは3こになります。



$$5 - 2 = 3$$



のこりは になります。



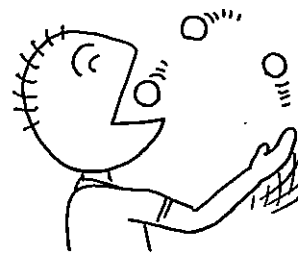
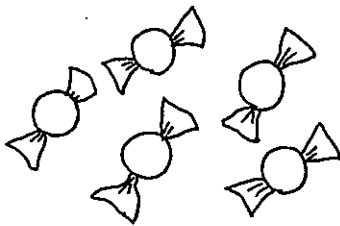
4

えをみて、ふんとしきをいしましょう。

①



②

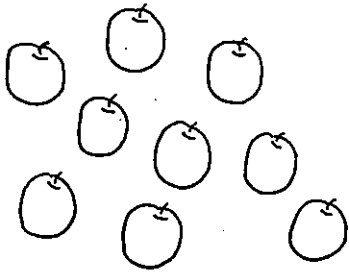


③

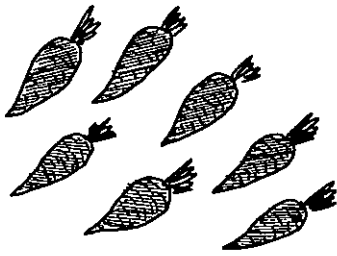


ぶんとしきとこたえをノートにかいてよみましょう。

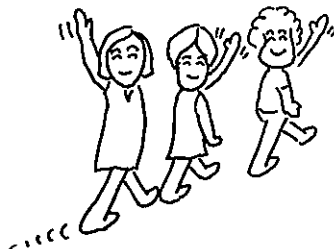
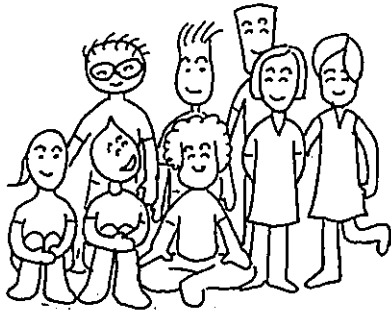
①



②



③

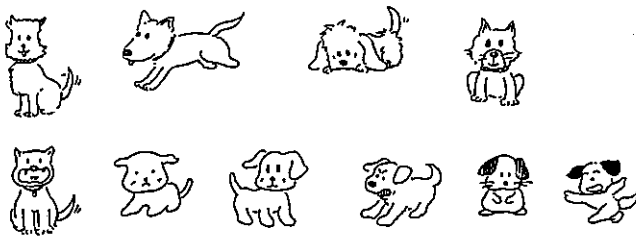


かえります

④



⑤

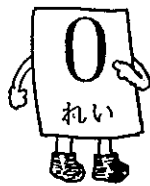


6

5こあります。5こたべるとのこりは0こになります。



$$5 - 5 = 0$$



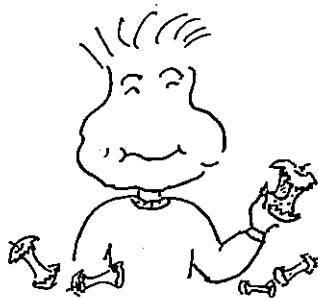
のこりは になります。



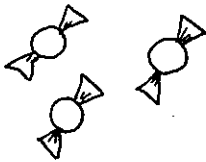
7

えをみて、ふんとしきをいしましょう。

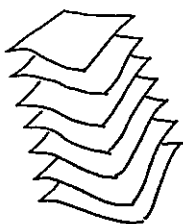
①



②



③





指導ポイント&ヒント

6課 まるはしかくより2こおい。

【内容】(1位数) — (1位数) / 多少を比較する場面の減法

【表現】[] は [] より [] 個 多い・少ないです。

【指導ポイント&ヒント】

- ・ 2つのものを比較したとき、その差を減法で求められることを学ぶ課です。
- ・ 2つの物をきちんと並べ、[多い方] — [少ない方] = [差] という式で表します。
- ・ この課では、「何が何よりいくつ多いか少ないか」という表現のしかたを採用しています。ちなみに、次の課では「差」を「違い」という言葉で表します。
- ・ 比較するものを3つ並べて、「○はどれより多い？どれより少ない？」と尋ねることで慣れさせてもいいでしょうね。

○○○○○○

△△△△

□□□□□□

- ・ また、「まる」、「しかく」や「さんかく」は重要語彙なのですが、まだ習得していない子どもには「これはこれより」と言って「指さし」をさせる方法もあります。
- ・ スペイン語では「より」にあたる一つの単語がありませんので、子どもたちは慣れるまでに少し戸惑うかもしれません。何度も反復練習して使い方に慣れてもらうことが重要です。



6課
ようごとぶん

Unidad 6
Palabra y Frase

ようご	Palabra
まる	Círculo
しかく	Cuadrado
おおい	Más
なんこ	Cuántos
すくない	Menos
さんかく	Triángulo

ぶん	Frase
まるはしかくより 2こ おおい。	Hay 2 círculos más que cuadrados.
まるはしかくより なんこ すくない ですか。	¿Cuántos círculos hay menos que cuadrados?
さんかく	Triángulo



6 まるは しかくより 2こ おおい。

1

(1位数) - (1位数) / 多少を比較する表現

まる



しかく



7こ

5こ

まるは おおい。 こ おおい。

まるは しかくより こ おおい。



2

えをみて、ぶんをいしましょう。

①



8こ

5こ

まるは おおい。 こ おおい。

まるは しかくより こ おおい。

②



9こ

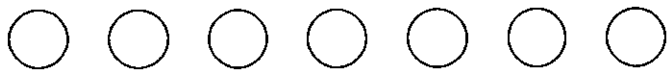
4こ

まるは 。 こ 。

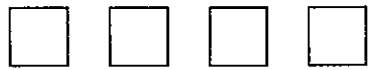
まるは より こ 。

3

まるは しかくより なんこ おおいですか。



7 こ



4 こ

しき $7 - 4 = 3$

こたえ 3 こ

ぶん まるは しかくより 3 こ おおいです。



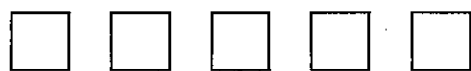
4

しきと こたえと ぶんを かいて よみましょう。

①



8 こ



5 こ

②



7 こ

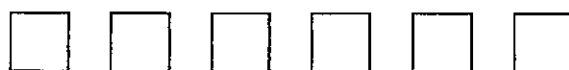


4 こ

③



9 こ

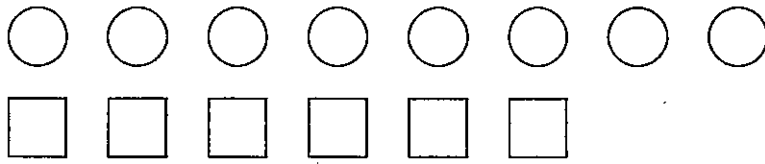


6 こ

5

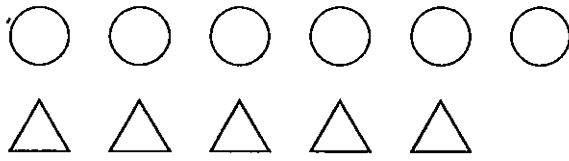
しきと こたえと ぶんを かいて よみましょう。

①



8
6

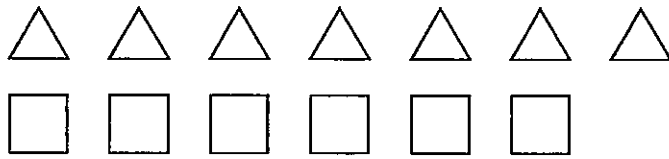
②



さんかく

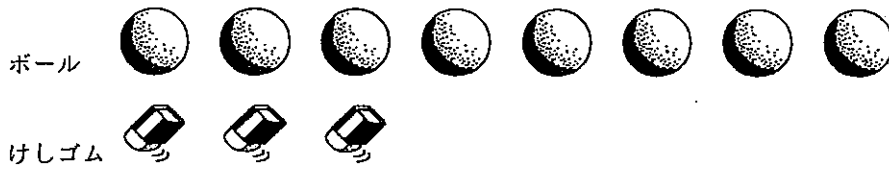
6
5

③



7
6

④

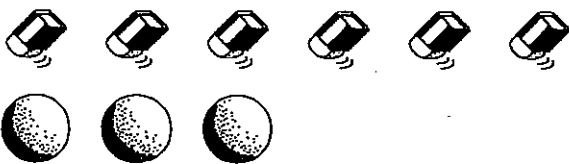


ボール

けしゴム

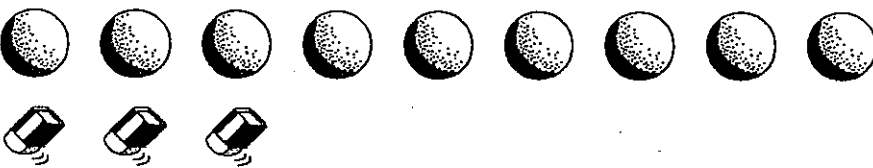
8
3

⑤



6
3

⑥



9
3

6

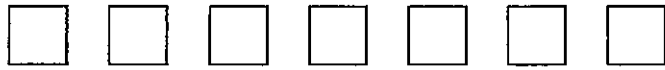
まるは しかくより なんこ すくないですか。



すくない



4 こ



7 こ

しき $7 - 4 = 3$

こたえ 3 こ

ぶん まるは しかくより 3 こ すくないです。



7

しきと こたえと ぶんを かいて よみましょう。

①



こ

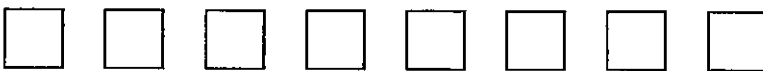


こ

②



こ



こ

③



こ



こ



指導ポイント&ヒント

7課 ちがいは

【内容】(1位数) — (1位数) / 差を表す言い方

(求差場面：2つの量の差を求める場面)

【表現】違いは [] 個です。

【指導ポイント&ヒント】

- ・ 図が示す「ちがい」の箇所を指さして、「違いは3個」と言うと分かりやすいようです。
- ・ 分からない場合は次のように子どもの目の前に○と□を置いて指導するとよいでしょう。
 - ① ○と□を5個ずつ並べて、それを指さしながら「5と5。同じ。」と言います。
 - ② ○を1つ増やし6個にして、「6と5。違う。」と言ったあと、差の1個をさして「1違う」と言います。(助数詞「個」は省略した方が分かりやすい。)
 - ③ 同様に、○を7個にして、「7と5。同じ？違う？」と子どもに聞きます。「違う」という答えを受けて、「そう。違う。いくつ違う？1違う？2違う？」と聞き、答えさせます。(下線部⇒答えやすいように選択肢を与える。)
- ・ ただ、この方法で注意しなければいけないのは、○と□を並べたまま、○を子どもの目の前で1つずつ増やしていくと、子どもは「いくつ増えましたか」と尋ねていると誤解する危険性があります。誤解を避けるには、1回1回○と□を並べなおすか、子どもから○を追加している場面が見えないようにするとよいでしょう。



7課
ようごとぶん

Unidad 7
Palabra y Frase

ようご	Palabra
ちがい	Diferencia

ぶん	Frase
ちがいは 3 ことです。	La diferencia es 3.



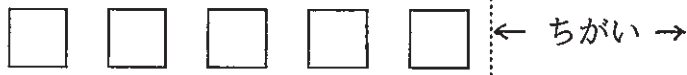
7 ちがいは

1

(1位数) - (1位数) / 差を表す言い方



7こ



5こ

7こと5こ。ちがいは 2こ。



2

えをみて、ぶんをいしましょう。

①



8こ



5こ

 こと こ。ちがいは こ。

②



7こ



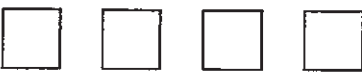
4こ

 こと こ。ちがいは こ。

③



6こ



4こ

 と 。 は 。

3

ちがいは なんこですか。

○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ 7 こ

□ □ □ □ 4 こ

しき $7 - 4 = 3$ こたえ 3 こ

ぶん ちがいは 3 こです。



4

しきと こたえと ぶんを かいて よみましょう。

①

○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ 9
 □ □ □ □ □ 5

②

○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ 8
 □ □ □ □ 4

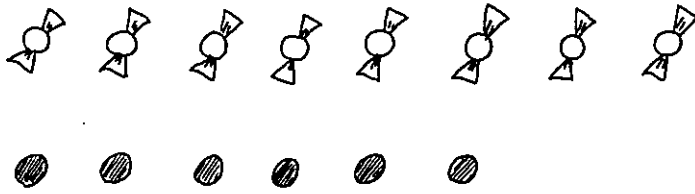
③

○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ 9
 □ □ □ □ □ □ 6

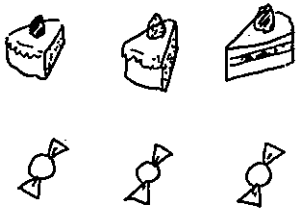
5

しきと こたえと ぶんを かいて よみましょう。

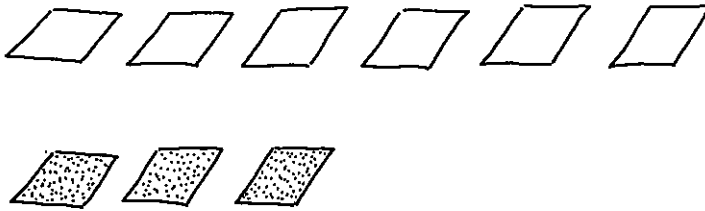
①



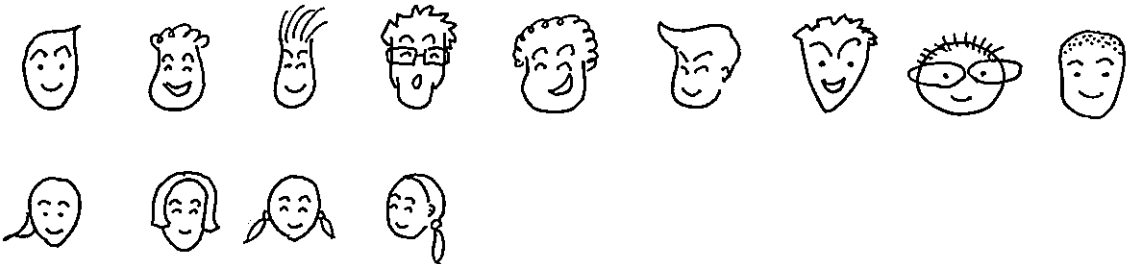
②



③



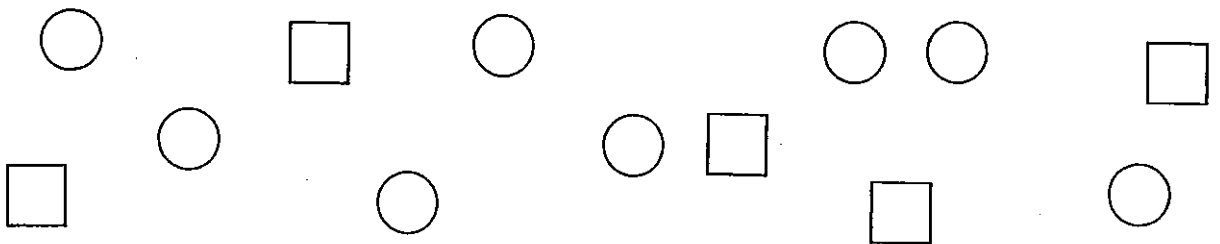
④



⑤



⑥





指導ポイント&ヒント

8課 10に3をたすと

【内容】10と1位数を足す場面

【表現】[]に[]をたすと、[]になります。

【指導ポイント&ヒント】

- ・ 加法の答えが10より大きくなる場面の学習です。
- ・ 分かりやすい「10」に1位数を足す場面で導入してあります。
- ・ 最初は、 $10 + (1 \text{ 位数})$ 。次に、 $(1 \text{ 位数}) + 10$ という順で提示しました。
- ・ 「～に～を～たすと～になります。」という言い方はワンセットで覚えた方が混乱を招かずにすみます。



南米スペイン語圏出身児童のための算数教材『足し算・引き算 日本語クリアー』

8課
ようごとぶん

Unidad 8
Palabra y Frase

ようご	Palabra
たす	Más, sumar

ぶん	Frase
10 に 3 を たすと 13 になります。	Si le sumo 3 a 10, obtendré 13.

8 10に3をたすと

10と1位数とを足す場面

1

<p>10に</p>	<p>3をたすと</p>	<p>13になります。</p>
------------	--------------	-----------------

に をたすと になります。



2

えをみて、ぶんをいみましょう。

①

--	--	--

②

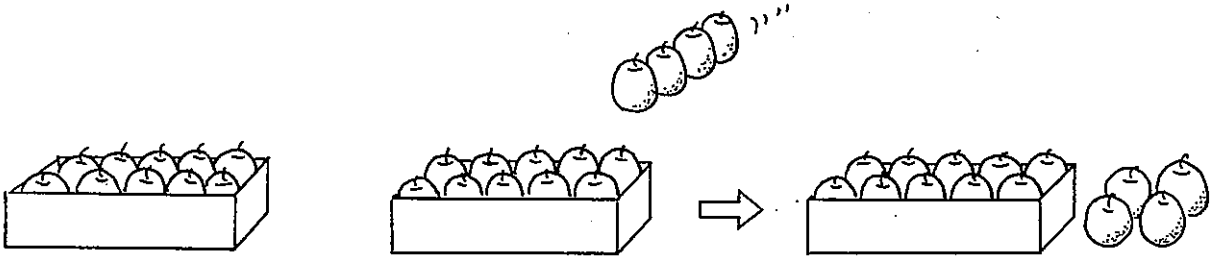
--	--	--

3

10 に

4 を たすと

14 になります。



【しき】 $10 + 4 = 14$

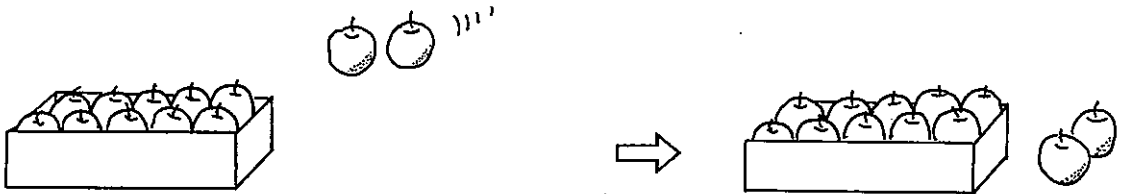
【こたえ】 14 こ



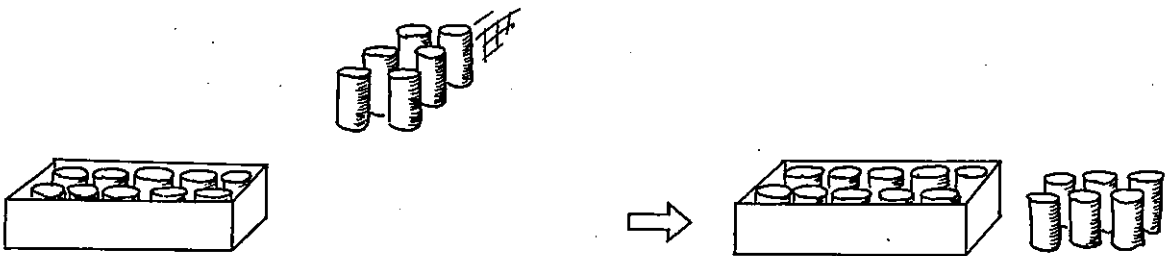
4

ぶんとしきとこたえをかいてよみましょう。

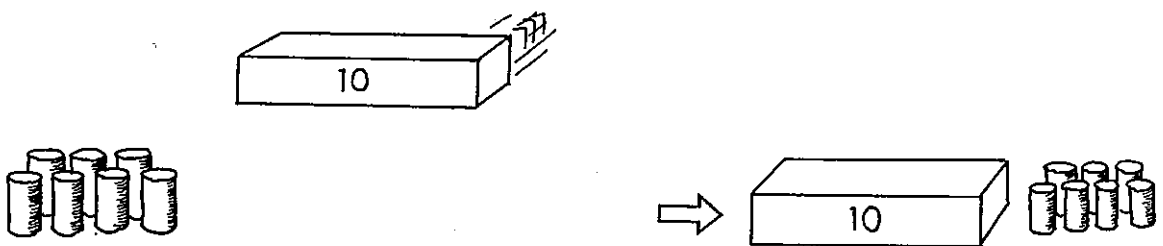
①



②



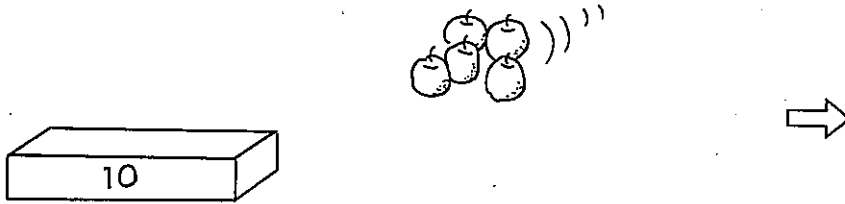
③



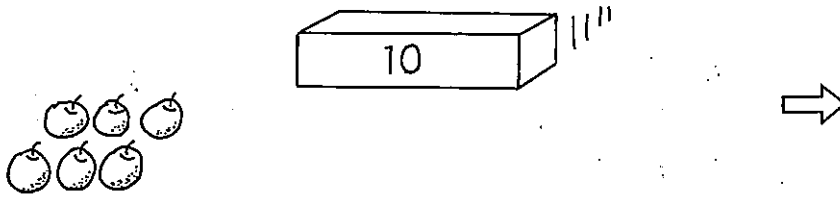
5

ぶんとしきとこたえをかいてよみましょう。

①



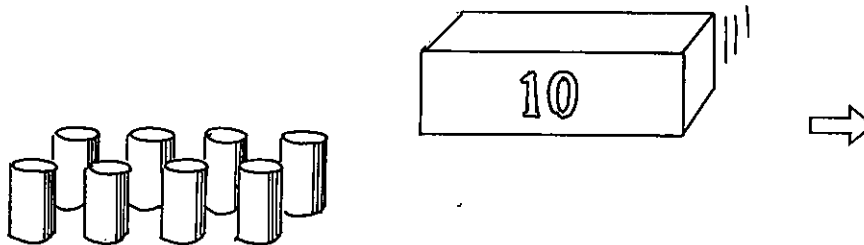
②



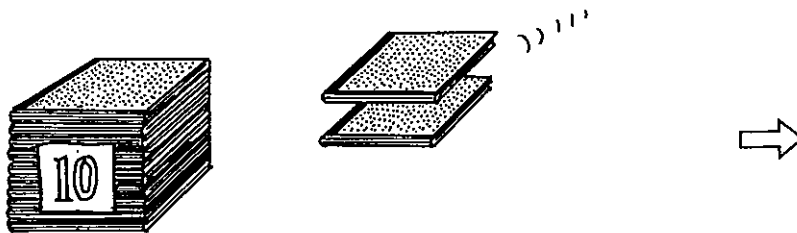
③



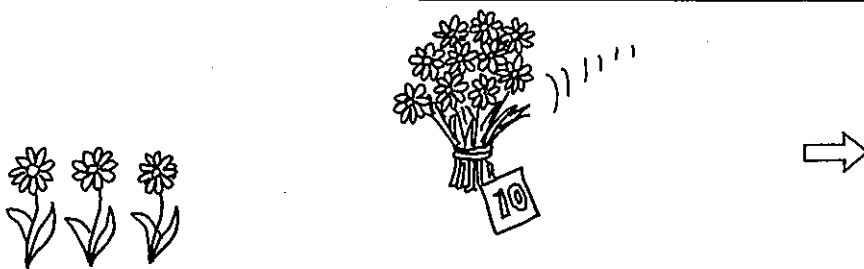
④



⑤



⑥





指導ポイント&ヒント

9課 10と1で11

【内容】 19までの数の構成 / 20の意味と唱え方

【表現】 [] と [] で [] です。

【指導ポイント&ヒント】

- ・ 基準となる「1」が10個集まると「位」が1つ上がるという「十進位取り記数法」の基礎を学ぶ単元です。ただ、低学年には「十進法」の原理を理解させるのは無理ですので、イラストのように「じゅう」になったら「1」と「0」で書き表すということを教えるだけで十分です。
- ・ ふつう、リズムカルに「じゅういち」「じゅうに」「じゅうさん」と唱えさせていくことで大体の子どもは十進法の仕組みに慣れていきます。
- ・ それでも「理屈」が必要な子どもには、イラストのように「10」のカードの一の位の部分に「1」「2」「3」のカードを上から重ねていくとよいでしょう。
- ・ 似た表現に「1と6では7です。」がありますが、この言い方をする場面というのは、「1と3で4。1と5で6。じゃあ、1と6ではいくつですか。」のように、いくつかある中から「この場合はどうなりますか」と取り立てている場面ですから、日本語に慣れていない段階では混乱しますので、「～で」と「～では」の混用は避けましょう。
- ・ また、「1と6は7」という言い方もよく使われます。これは「1と6を足した結果」は「7です。」を簡略化した言い方です。これは「僕は3塁。」という言い方に似ています。「僕が守るベースは3塁だ。」の意味を簡略化したもので、決して「僕=3塁」ではありません。しかし、このような簡略化した言い方は、日本語に慣れていない人々を苦しめるので注意が必要です。混乱をきたすような言い方はこの場面では用いない方が得策です。
- ・ スペイン語には「いくつ」「何個」「何人」など数を尋ねる疑問詞は cuánto しかありません。

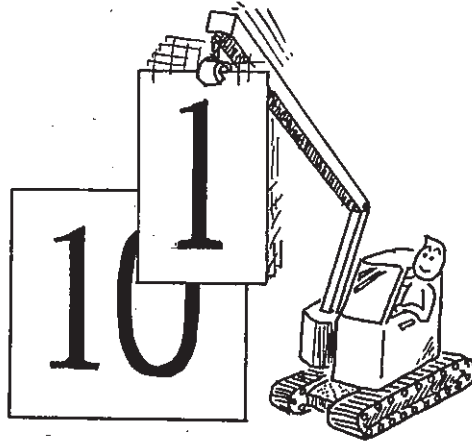
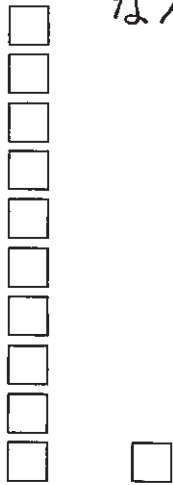


9 10と1で11

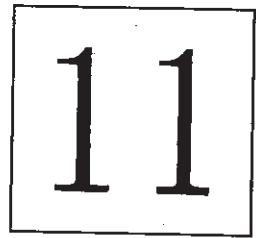
19までの数の構成

1

なんこですか。



じゅういち



10と1

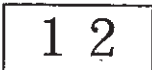
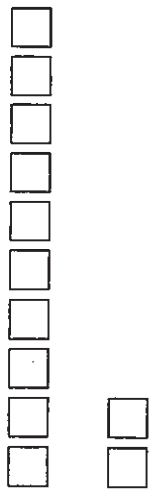
10と1で11。11こです。



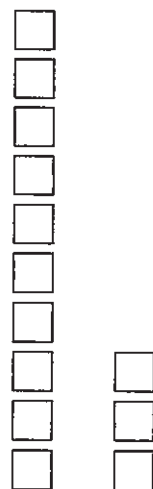
2

なんこですか。⇒ と で 。 です。

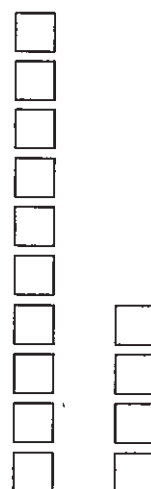
①



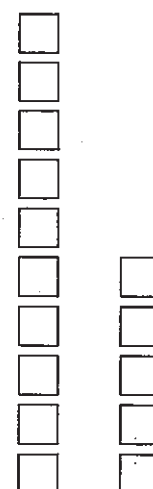
②



③



④



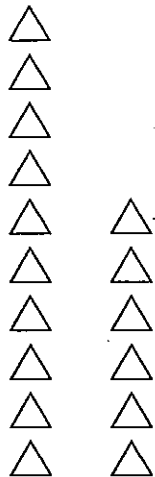
↑ かずをかきましょう。↑

↑

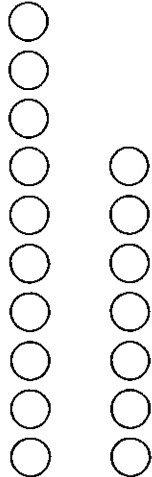
3

なんこですか。

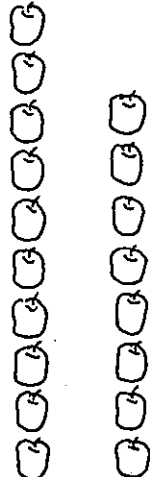
①



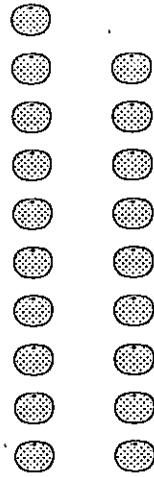
②



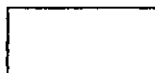
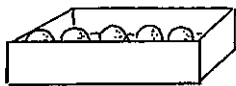
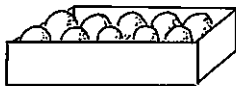
③



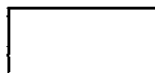
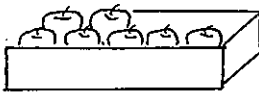
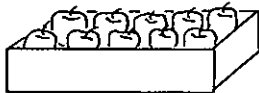
④



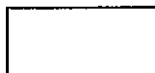
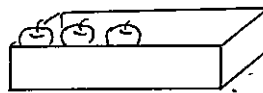
⑤



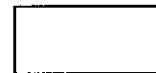
⑥



⑦

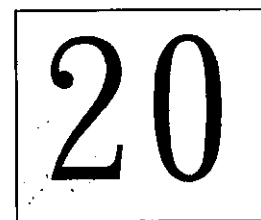
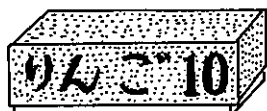
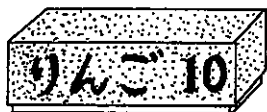


⑧



4

10 と 10 で 20。



にじゅう

20の意味と唱え方



指導ポイント&ヒント

10課 13から3をひくと

【内容】(19までの数) — (10までの数)

【表現】[] から [] をひくと、[] になります。

【指導ポイント&ヒント】

- ・ テキストでは「10から1位数を引く」場面⇒「11～19までの数から一の位の数を引く」場面⇒「11～19までの数から10を引く」場面の順に並べ、徐々に難しくしてあります。
- ・ 算数では「10」という固まりを重視します。10という固まりを意識させておくことで、この後に出てくる「繰り上がりのある加法」「繰り下がりのある減法」の仕組みが理解しやすくなるからです。
- ・ ただ、生活場面では小さい数を計算するとき、いちいち10の固まりにして考えないので、子どもにとっては少しまどろっこしいかもしれません。



10課
ようごとぶん

Unidad 10
Palabra y Frase

ようご	Palabra
ひく	Menos, restar, sustraer

ぶん	Frase
13から3をひくと10になります。	Si a 13 le resto 3, quedarán 10.

10 13から 3をひくと

10から1位数を引く場面

1

<p>13から</p>	<p>3をひくと</p>	<p>10になります。</p>
-------------	--------------	-----------------

から をひくと になります。



2

えをみて、ぶんをいしましょう。

<p>①</p>		
<p>②</p>		

3

14から 4をひくと 10 になります。



【しき】 $14 - 4 = 10$

【こたえ】 10ぽん



(11~19の数) から1位数か10を引く場面

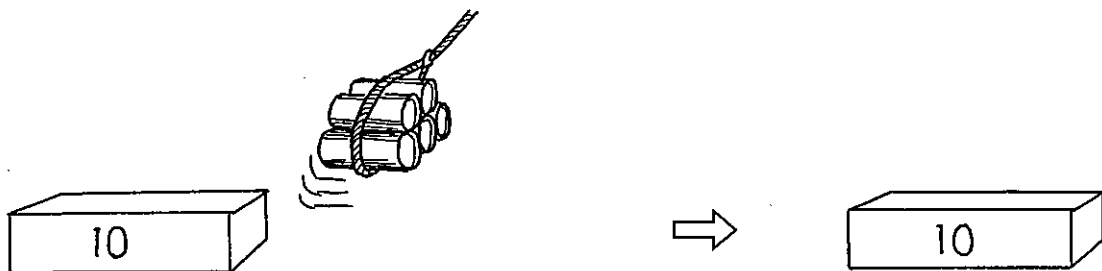
4

ぶんとしきとこたえをかいてよみましょう。

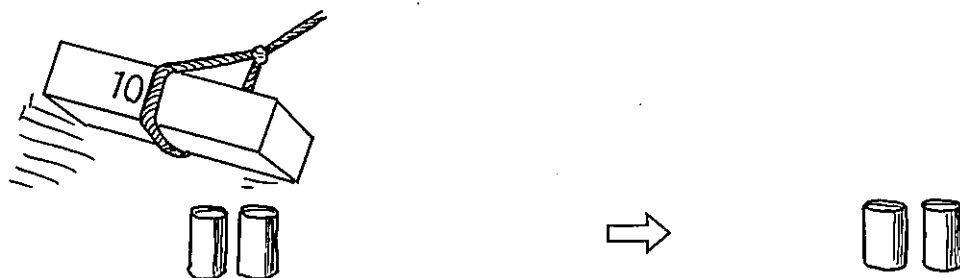
①



②



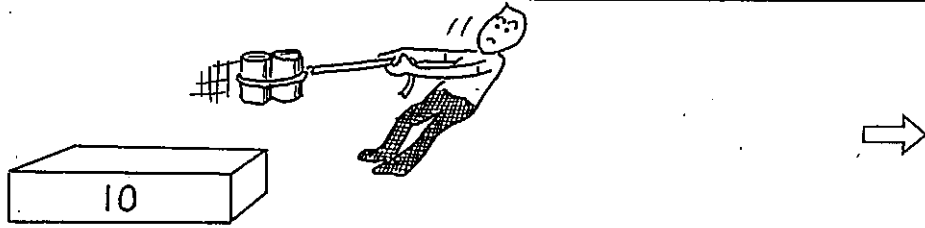
③



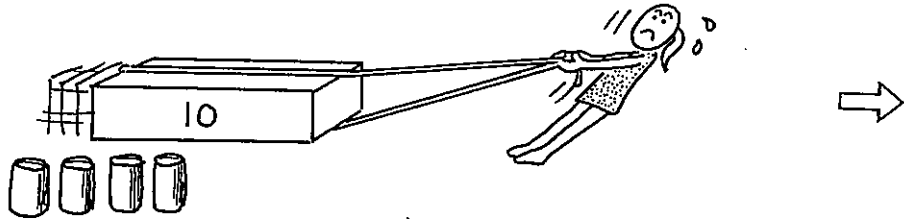
5

ぶんとしきとこたえをかいてよみましょう。

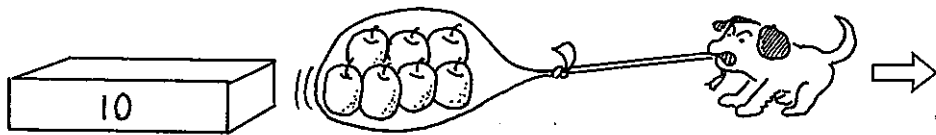
①



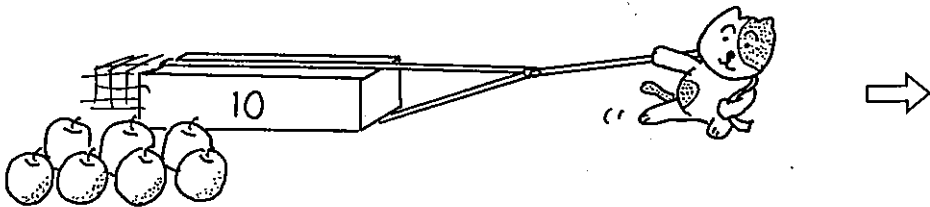
②



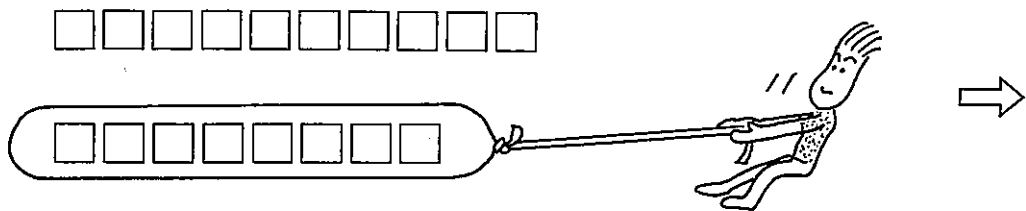
③



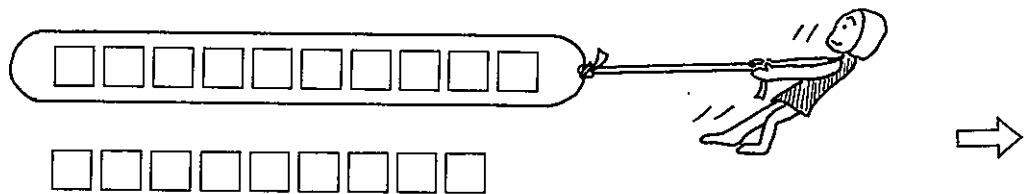
④



⑤



⑥





指導ポイント&ヒント

11課 1あげると

【内容】(1位数) + (1位数) で繰り上がりのある計算

【表現】[] あげると [] になります。

【指導ポイント&ヒント】

- ・ いよいよ繰り上がりのある加法の登場です。
- ・ $8 + 3$ のように足される数の方が大きい場面から始め、次に $3 + 8$ のように足される数が小さい場面へと学習を進めるようにしました。
- ・ 「足す数」「足される数」は指導者に知っておいてもらうために書いたもので、子どもには教えません。
- ・ 36 ページ「どっちからどっちにあげるといいですか。」という日本語が子どもにとって難しそうな場合は、「こっちからこっちが簡単？それとも、こっちからこっち？」という言い方をして指導してください。
- ・ この段階で「繰り上げる」、「繰り下げる」という言葉を使うと子どもは混乱する可能性がありますので、使わないでください。



11課
ようごとぶん

Unidad 11
Palabra y Frase

ようご	Palabra
あげる	Llevar
いくつ	Cuántos
けいさん	Cuenta, cálculo
どっちから どっちに	De – a –
みぎ	Derecha
ひだり	Izquierda

ぶん	Frase
1 あげると 10。	Me llevo 1 y se vuelve 10.
こたえは いくつですか。	¿Cuál es la respuesta?
けいさん	Cuenta, cálculo
どっちから どっちに あげると いい ですか。	¿De qué manera es mejor?
みぎから ひだりに あげると たいへん。	Si pedimos prestado de la izquierda y lo llevamos a la derecha, es muy complicado.

11


1 あげると

1 位数 + 1 位数で繰り上がりのある計算 (足される数 > 足す数)

1

9 + 4 の けいさんを しましょう。

□□□□□□□□□□ + □□□□

□□□□□□□□□□  □□□□

1 あげると 10。 10 と 3 で 13。

$9 + 4 = 13$

こたえ 13



2

いくつ あげると 10 になりますか。

また、こたえは いくつですか。

①

$8 + 3$

□□□□□□□□□□ □□□

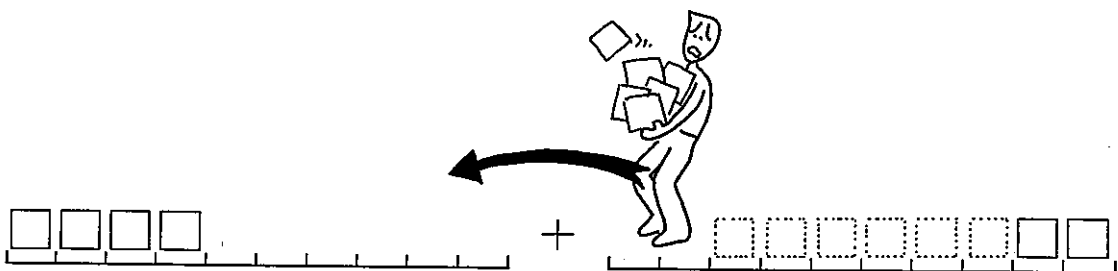
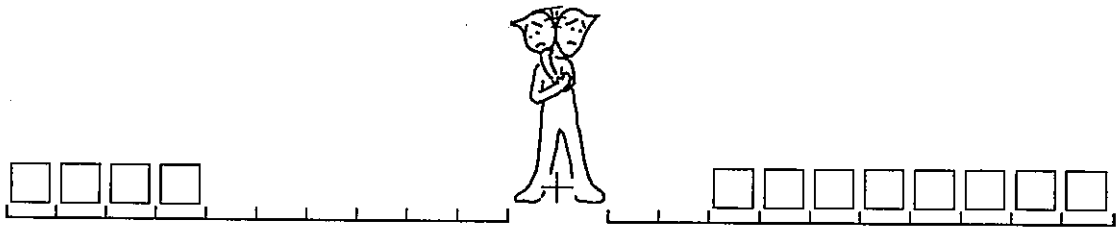
②

$9 + 5$

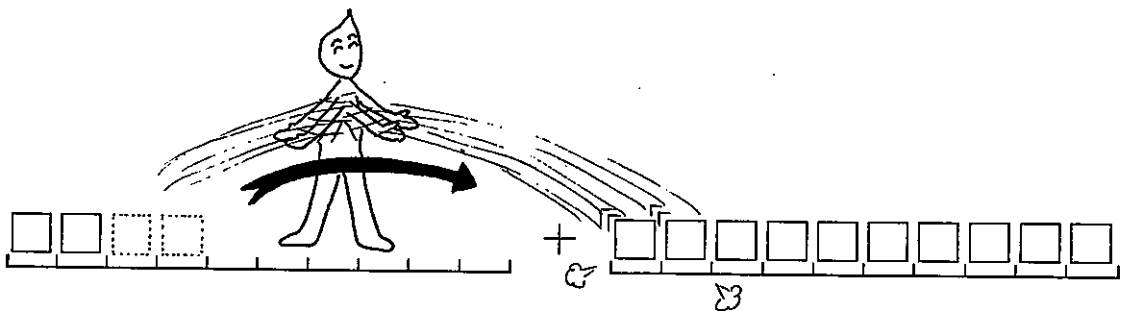
□□□□□□□□□□ □□□□□

4 + 8 の けいさんを しましょう。

どっちから どっちに あげると いいですか。



みぎから ひだりに あげると たいへん。



ひだりから みぎに あげると らく。

だから

ひだりから みぎに 2 あげると いいです。

しき $4 + 8 = 12$

こたえ 12



4

どっちから どっちに いくつ あげると いいですか。

しきと こたえも かきましょう。

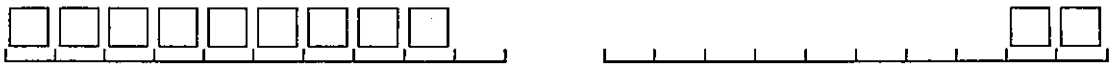
①

$2 + 9$



②

$9 + 2$



③

$8 + 4$



④

$4 + 7$



⑤

$5 + 9$



⑥

$9 + 3$



⑦

$3 + 8$





指導ポイント&ヒント

12課 13は10と3

【内容】(11~18の数) — (1位数)で繰り下がりのある計算

【表現】[]は[]と[]。 / []引く[]は[]。

【指導ポイント&ヒント】

- ・ 引き算の最初の壁「繰り下がりのある計算」を学ぶ単元です。
- ・ 引かれる数の「一の位」の数が引く数より大きければ簡単なのですが、小さい場合は「十の位」から借りてこないといけません。これを「繰り下がり」といいます。
- ・ 繰り下がりには引き算でつまづく原因の一つなので、丁寧に指導する必要があります。
- ・ 繰り下がりの作業をするには、数を「十の位」の数と「一の位」の数に分けるという考え方をしっかり身につける必要があります。そこで繰り返し「分ける」ところを練習させるようにしました。そこで必要な言葉が「13は10と3」という言い方です。この表現は正確には「13は10と3でできています。」と言わなければいけません。授業では「13は10と3」のような言い方をすることが多いので、あえてこの言い方を採用しました。「は」は「イコール、=」、「と」は「プラス、+」の意味であるということをきちんと把握させてください。
- ・ 10課の解説でも書きましたが、暗算でもできるような引き算の場面で、わざわざ「10といくつ？」というように分解するのはまどろっこしいかもしれませんが、「百の位」から借りてくる場面など、難しくなったときに役に立つ考え方なので、ここでしっかり身につけてほしいと思います。
- ・ 児童生徒のなかには十の位と一の位に分解せずに、そのまま計算をする子どももいるかもしれませんが、子どもが既に自分なりの計算方法を確立している場合に限っては、この課の方法を強要する必要はありません。これは18課の繰り下げの計算でも同様です。



12課
ようごとぶん

Unidad 12
Palabra y Frase

ようご	Palabra
しかた	Procedimiento, método

ぶん	Frase
12-7のけいさんのしかたを いみましょう。	Expliquemos cómo hacer la operación 12-7.



12 13は 10と 3。

1 (11~18の数) - (1位数)で繰り下がりのある計算

13 - 9 の けいさんを しましょう。

□□□□□□□□□□	13は 10と 3。
□□□	
□ □□□□□□□□□	10ひく9は 1。
□□□	
□ □□□	1と3で 4。
13 - 9 = 4	13ひく9は 4。



2

12 - 7 の けいさんの しかたを いいましょう。

□□□□□□□□□□	12は 10と □。
□□	
□□□ □□□□□□□□	10ひく □は □。
□□	
□□□ □□	□と □で □。
12 - 7 = 5	12ひく7は 5。

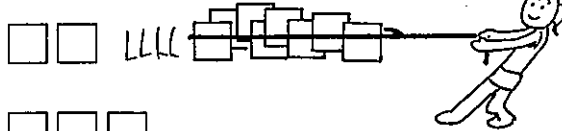
3

13 - 8 の けいさんの しかたを いいましょう。

□□□□□□□□□□

13 は 10 と □。

□□□



10 ひく □ は □。

□□□

□□ □□□

2 と □ で □。

$$13 - 8 =$$

13 ひく 8 は □。



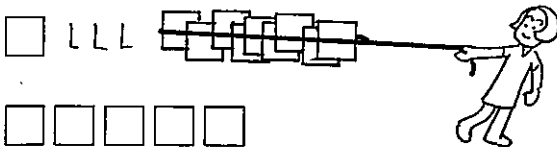
4

15 - 9 の けいさんの しかたを いいましょう。

□□□□□□□□□□

15 は 10 と □。

□□□□□



10 ひく □ は □。

□□□□□

□ □□□□□

1 と □ で □。

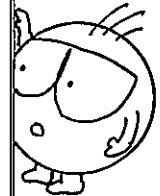
$$15 - 9 =$$

15 ひく 9 は □。

5

13 - 9 の けいさんのしかたをいみましょう。

$\begin{array}{c} \swarrow \quad \searrow \\ \boxed{10} \quad \boxed{3} \\ \downarrow \quad \downarrow \\ \boxed{10-9=1} \\ \downarrow \quad \downarrow \\ \boxed{1} + \boxed{3} = 4 \end{array}$	<p>13 は $\boxed{10}$ と \square。</p> <p>$\boxed{10}$ ひく \square は 1。</p> <p>\square と \square で 4。</p>
---	---



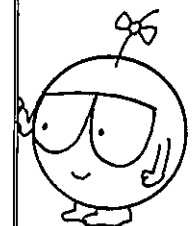
$13 - 9 = 4$ 13 ひく 9 は 4 。



6

12 - 7 の けいさんのしかたをいみましょう。

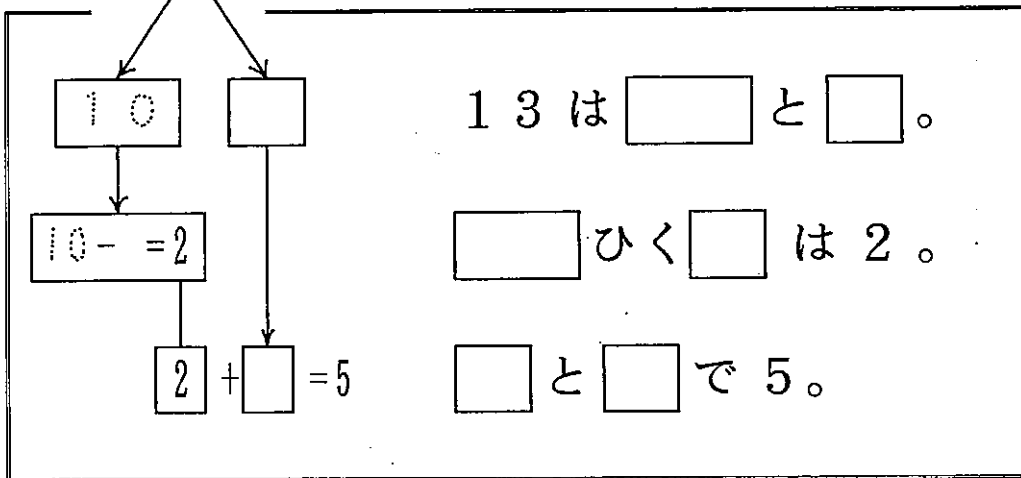
$\begin{array}{c} \swarrow \quad \searrow \\ \boxed{10} \quad \boxed{2} \\ \downarrow \quad \downarrow \\ \boxed{10-7=3} \\ \downarrow \quad \downarrow \\ \boxed{3} + \boxed{2} = 5 \end{array}$	<p>12 は \square と \square。</p> <p>\square ひく \square は \square。</p> <p>\square と \square で \square。</p>
---	---



$12 - 7 = 5$ 12 ひく 7 は 5 。

7

$13 - 8$ の けいさんのしかたをいみましょう。



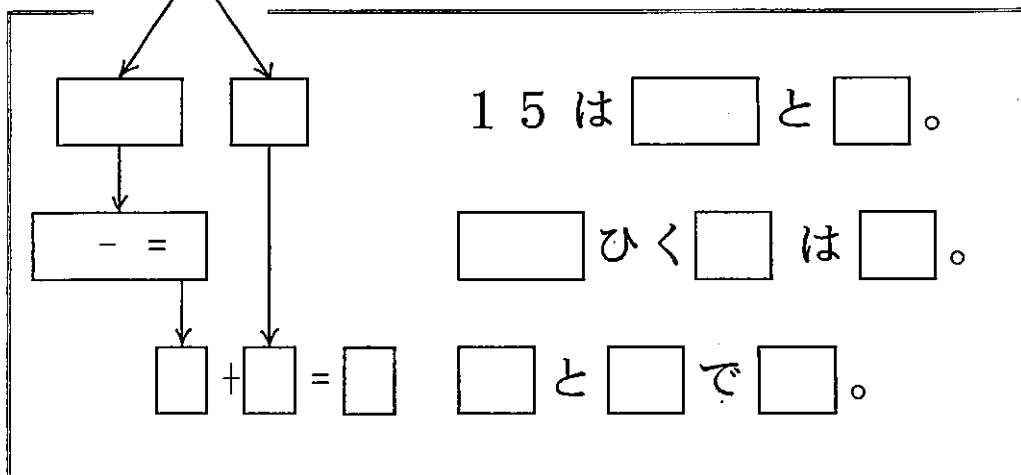
$$13 - 8 = 5$$

13 ひく 8 は 5 。



8

$15 - 9$ の けいさんのしかたをいみましょう。



$$15 - 9 = 6$$

15 ひく 9 は 6 。



9

$12 - 9$ の けいさんのしかたをいみましょう。

$\begin{array}{c} \square \\ \downarrow \\ \square \\ \downarrow \\ \square \\ \downarrow \\ \square + \square = \square \end{array}$	$\begin{array}{c} \square \\ \downarrow \\ \square \\ \downarrow \\ \square \\ \downarrow \\ \square + \square = \square \end{array}$	<p>12 は \square と \square 。</p> <p>\square ひく \square は 1 。</p> <p>\square と \square で \square 。</p>
---	---	---

$12 - 9 = \square$ 12 ひく 9 は \square 。

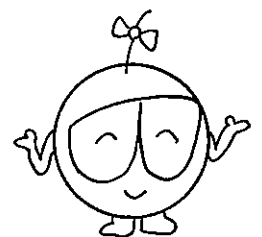


10

$14 - 8$ の けいさんのしかたをいみましょう。

$\begin{array}{c} \square \\ \downarrow \\ \square \\ \downarrow \\ \square \\ \downarrow \\ \square + \square = \square \end{array}$	$\begin{array}{c} \square \\ \downarrow \\ \square \\ \downarrow \\ \square \\ \downarrow \\ \square + \square = \square \end{array}$	<p>14 は \square と \square 。</p> <p>\square ひく \square は \square 。</p> <p>\square と \square で \square 。</p>
---	---	---

$14 - 8 = \square$ 14 ひく 8 は \square 。





指導ポイント&ヒント

13課 おおい すくない

【内容】 求大場面における加法 / 求小場面における減法

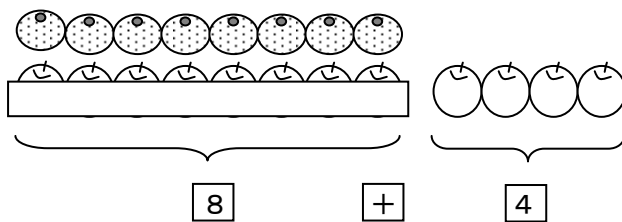
- * 求大場面：Bの個数と、AはBよりN個多いことが分かっている場面で、A（多い方）の数を求める問題。
- * 求小場面：Bの個数と、AはBよりN個少ないことが分かっている場面で、A（少ない方）の数を求める問題。

【表現】 [] は [] より [] 個 多い・少ないです。（6課と同じ）

【指導ポイント&ヒント】

- ・ 6課では、2つの物の数が分かっており、いくつ多いか少ないかを「減法」で求める場面でした。この課では一方の数が不明で、その差が分かっている場面で、不明数を計算で求めようという学習課題です。
- ・ [1]から[3]までは、「みかんが8個あります。りんごはみかんより4個多いです。りんごは何個ありますか。」のように多い方の数が不明な場合に「加法」を使って不明数を求める場面です。前に学習した同じような場面では「減法」を使っていたので子どもは混乱しがちです。以下のように指導するとよいでしょう。

図を使って、まず、みかんとりんごが同じ範囲に同じ個数あることを確認させ、「これより4個多いから？足す？引く？そう、足すですね。」と指導する。



「ここは同じ。だから何個？
そう8個ですね。」

「4個多いから？足す？引く？
そう、足すですね。」と言って
□に+を書き入れる。

- ・ [4]から[6]までは、「みかんが8個あります。りんごはみかんより3個少ないです。りんごは何個ありますか。」のように少ないほうの数が不明な場合に「減法」を使って不明数を求める場面です。今度はまた「減法」を使うのですから、子どもはますます混乱します。
- ・ いずれの場合も、しっかりと図で「場面把握」させることが大事です。図を見れば、加法を使うのか減法を使うのかが一目瞭然なのですが、「言葉」だけで理解しようとするとうと混乱の局地に陥りますので注意してください。



13課
ようごとぶん

Unidad 13
Palabra y Frase

ようご	Palabra
4こ おおい	4(piezas) más
3こ すくない	3(piezas) menos

ぶん	Frase
りんごは みかんより 4こ おおいです。	Hay 4 manzanas más que naranjas.
りんごは みかんより 3こ すくないです。	Hay 3 manzanas menos que naranjas.



13 おおい すくない

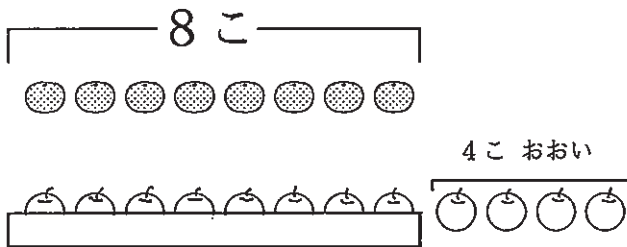
求大場面における加法の適用

1

みかんが 8こ あります。

りんごは みかんより 4こ おおいです。

りんごは なんこ ありますか。



りんごは

みかんより	4こおおい	= 12
8	+ 4	

こたえ 12こ

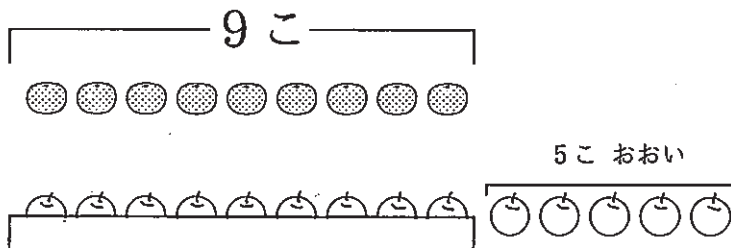


2

みかんが 9こ あります。

りんごは みかんより 5こ おおいです。

りんごは なんこ ありますか。



りんごは

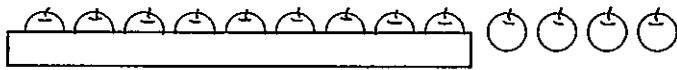
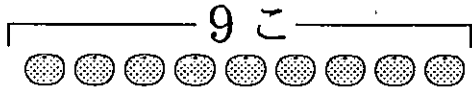
みかんより	5こおおい	=
	+	

こたえ こ

① みかんが 9こ あります。

りんごは みかんより 4こ おおいです。

りんごは なんこ ありますか。



りんごは

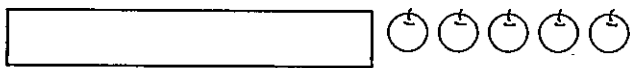
みかんより	4こおおい	+	=

こたえ こ

② みかんが 7こ あります。

りんごは みかんより 5こ おおいです。

りんごは なんこ ありますか。



りんごは

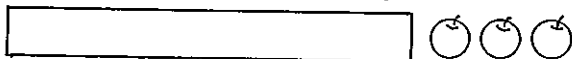
みかんより	5こおおい	+	=

こたえ こ

③ みかんが 8こ あります。

りんごは みかんより 3こ おおいです。

りんごは なんこ ありますか。



しき

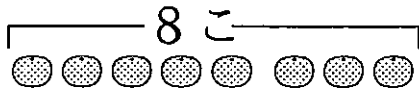
こたえ こ

4

みかんが 8こ あります。

りんごは みかんより 3こ すくないです。

りんごは なんこ ありますか。



りんごは

みかんより	3こすくない
8	- 3

 = 5

こたえ 5こ



5

みかんが 9こ あります。

りんごは みかんより 4こ すくないです。

りんごは なんこ ありますか。



りんごは

みかんより	4こすくない
	-

 =

こたえ こ

① みかんが 7こ あります。

りんごは みかんより 3こ すくないです。

りんごは なんこ ありますか。



りんご	3こすくない
-----	--------

りんごは	みかんより	3こすくない
		—

=

こたえ こ

② みかんが 7こ あります。

りんごは みかんより 4こ すくないです。

りんごは なんこ ありますか。



りんご	4こすくない
-----	--------

りんごは	みかんより	4こすくない

=

こたえ こ

③ みかんが 9こ あります。

りんごは みかんより 3こ すくないです。

りんごは なんこ ありますか。



--	--

--	--

=

こたえ こ



指導ポイント&ヒント

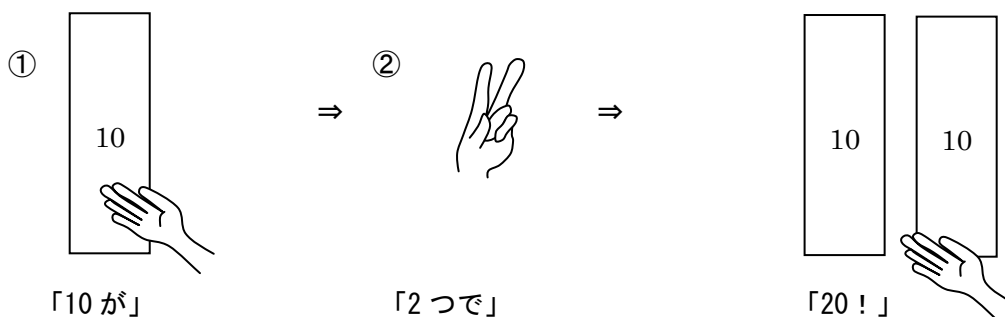
14課 10が2つで20

【内容】100までの数の構成

【表現】[]が[N個]で[]です。

【指導ポイント&ヒント】

- ・ 「10が2つで20」というように「10の固まり」がいくつあるかを表す考え方と「に+じゅう」言い方を学ぶ単元です。
- ・ この言い方を使うためには、「1つ、2つ、3つ…いくつ」という言い方を知っていないといけません。算数の概念としてはさほど難しくありませんが、日本語としては難しいところです。始めのうちは「10が**で20」というように「**」のところが分からずに困ると思います。
- ・ そんなときは、次のように説明するとよいでしょう。
 - ① 「10が」と言って10の塊を手で示す。このとき、手の指は5本ともつけておく。(5の塊と誤解されないようにするため)
 - ② 「2つで」のところで指を2本突き出し、10の塊をもう一つ貼る。
 - ③ 「20！」のところで再び手の平で示す。



- ・ 「1つ、2つ、3つ…いくつ」の言い方は、授業前に指導するか、授業後に指導するようにします。その問題を解くための知識・技能と、そこで使われる言葉とは密接な関係にありますが、だからと言って、言葉だけを採り上げて、途中で文型や文法の練習をするのはやめましょう。算数の概念理解と外国語の文法理解とでは、学習の質が異なります。算数の勉強の中に外国語学習を入れ込むような形で学習を進めるのは混乱の原因となります。



14

10が2つで20

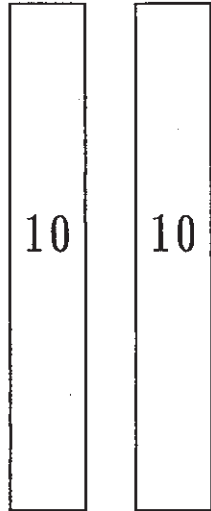
20, 30...80, 90の数の構成と唱え方・書き方

1

10



10が2つで20。



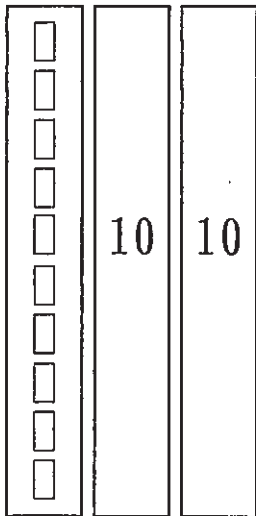
1つ	ひとつ
2つ	ふたつ
3つ	みっつ
4つ	よっつ
5つ	いつつ
6つ	むっつ
7つ	ななつ
8つ	やっつ
9つ	ここのつ
10	とお



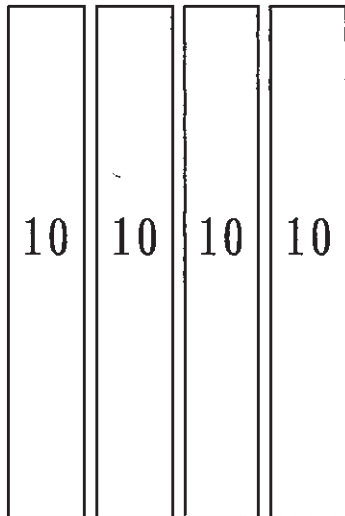
2

いくつですか。⇒ が つで です。

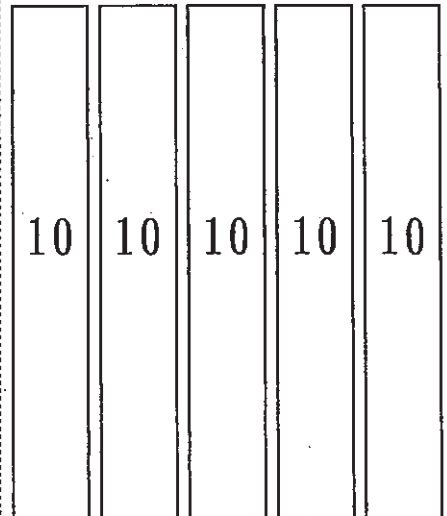
①



②

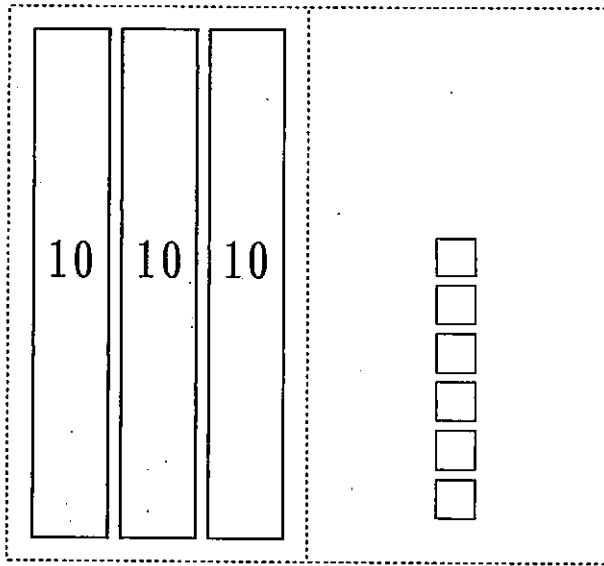


③



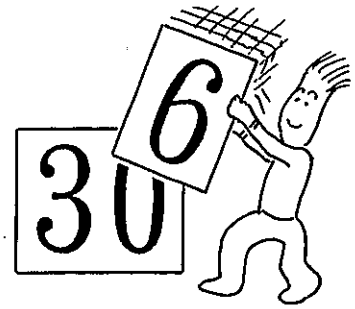
3

いくつですか。⇒ 10が 3つで 30。30と 6 で 36 です。



3

6



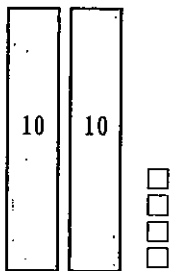
さんじゅうろく



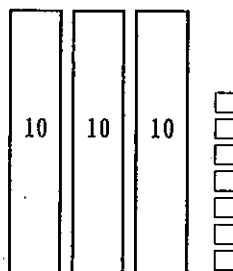
4

10が つで 。 と で です。

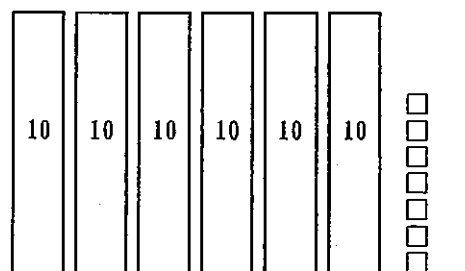
①



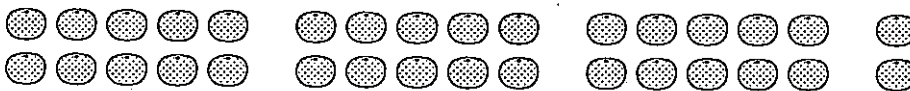
②



③



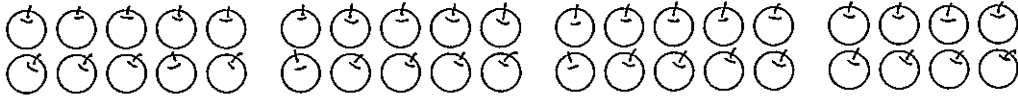
④



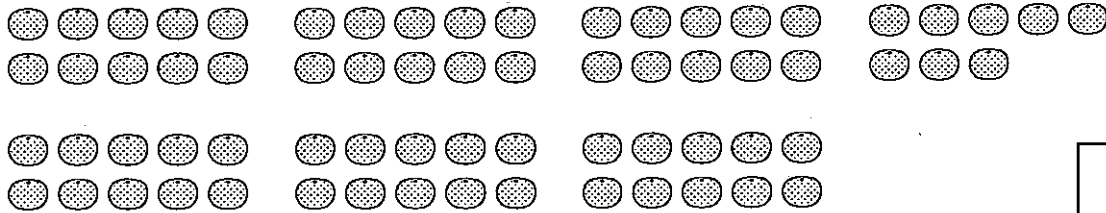
5

いくつですか。

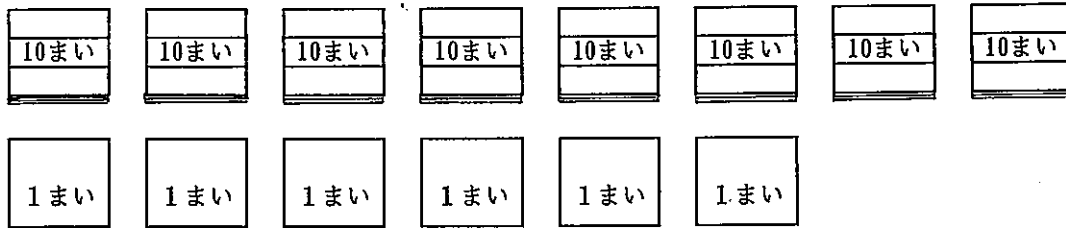
①



②



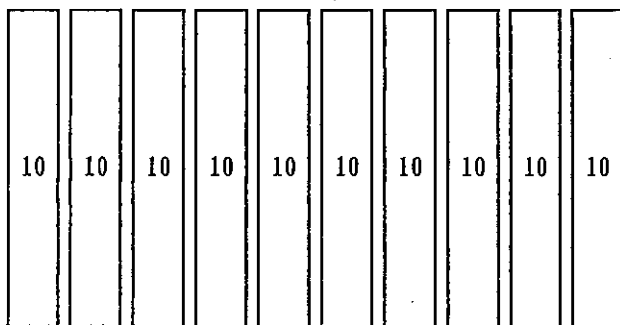
③



100という数の構成と唱え方

6

10が 10で 100。



100
ひゃく



指導ポイント&ヒント

15課 たすと・ひくと

【内容】(2位数) + (1位数) で繰り上がりのない計算
(2位数) - (1位数) で繰り下がりのない計算
(2位数) - (何十) の計算

【表現】[] に [] を足すと / [] から [] を引くと

【指導ポイント&ヒント】

- ・ 繰り上がり・繰り下がりがないので、図を見ながら計算をすれば難しくないと思います。
- ・ この課では、計算を言葉で表すことに重点を置いても混乱することは少ないはずです。

15 たすと ひくと

1

たしざんの ぶん

に を たすと になります。

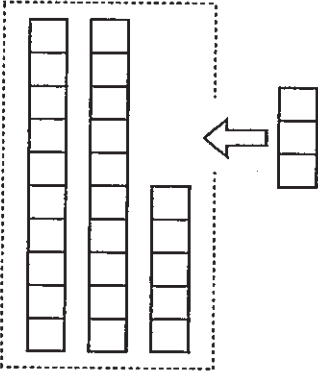


2

(2位数) + (1位数) で繰り上がりのない計算

ぶんと しきを こたえましょう。

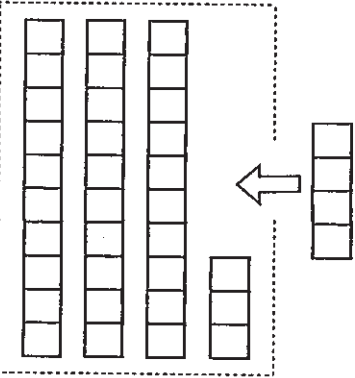
れい



25 に 3 を たすと 28 になります。

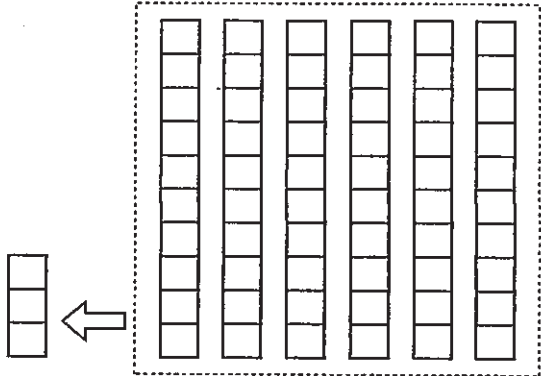
$25 + 3 = 28$

①



+ =

②



+ =

3

ひきざんの ぶん

□ から □ をひくと □ になります。

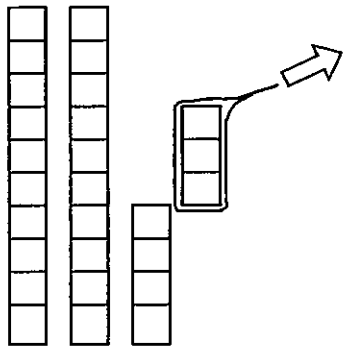


4

(2位数) - (1位数) で繰り下がりのない計算

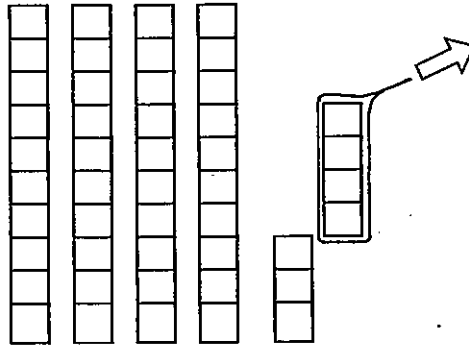
ぶんと しきを こたえましょう。

①



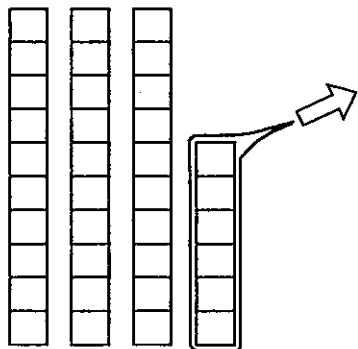
$$\boxed{27} - \boxed{3} = \boxed{24}$$

②



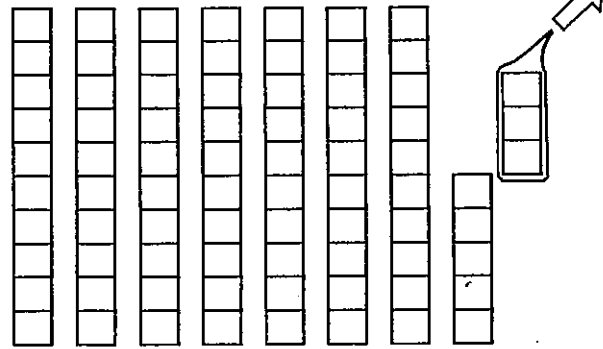
$$\boxed{\quad} - \boxed{\quad} = \boxed{\quad}$$

③



$$\boxed{\quad} - \boxed{\quad} = \boxed{\quad}$$

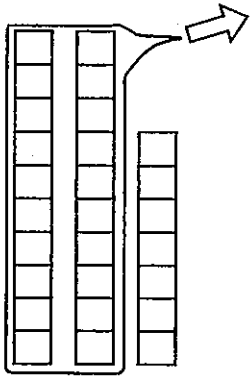
④



$$\boxed{\quad} - \boxed{\quad} = \boxed{\quad}$$

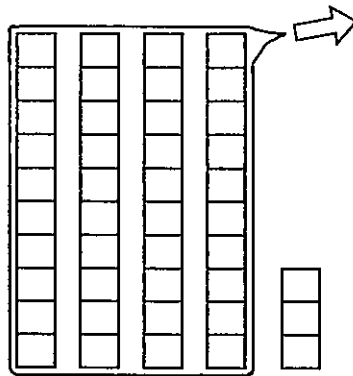
ぶんとしきをこたえましょう。

①



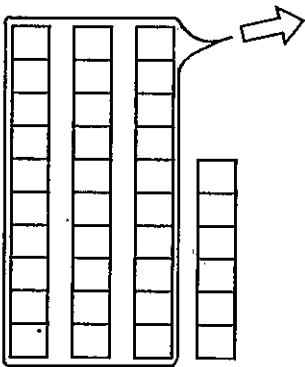
$$\boxed{27} - \boxed{20} = \boxed{7}$$

②



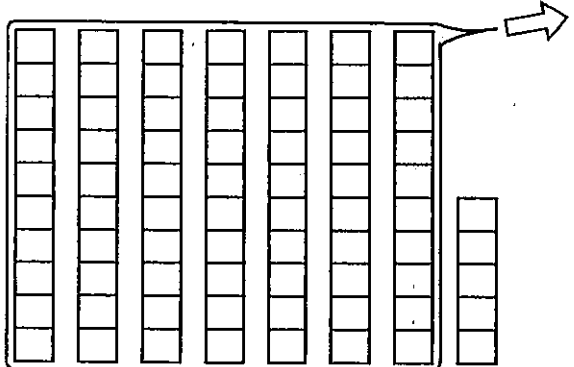
$$\boxed{\quad} - \boxed{\quad} = \boxed{\quad}$$

③



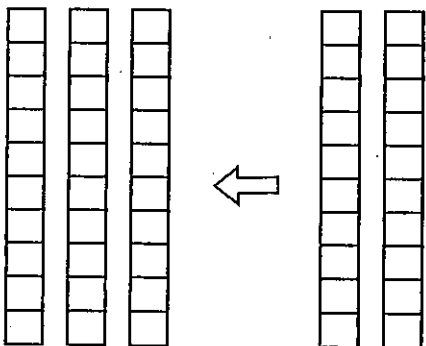
$$\boxed{\quad} - \boxed{\quad} = \boxed{\quad}$$

④



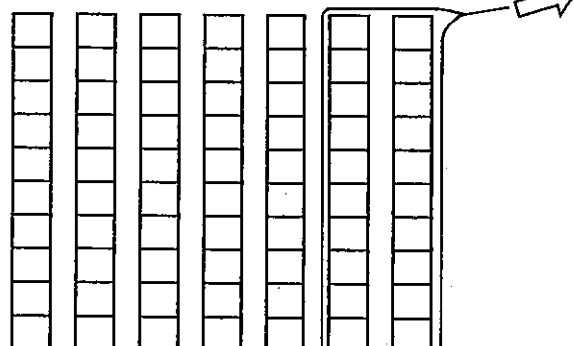
$$\boxed{\quad} - \boxed{\quad} = \boxed{\quad}$$

⑤



$$\boxed{\quad} + \boxed{\quad} = \boxed{\quad}$$

⑥



$$\boxed{\quad} - \boxed{\quad} = \boxed{\quad}$$

6

つぎの ぶんを よんで しきを こたえましょう。

- ① 25に 4を たすと 29になります。
- ② 34に 5を たすと 39になります。
- ③ 28から 4を ひくと 24になります。
- ④ 48から 6を ひくと 42になります。
- ⑤ 5に 40を たすと 45になります。
- ⑥ 78から 70を ひくと 8になります。

7

① 45に 4を たすと いくつになりますか。

しき

② 75から 4を ひくと いくつになりますか。

しき

③ 50に 40を たすと いくつになりますか。

しき



指導ポイント&ヒント

16課 ひっさん

【内容】(2位数) + (2位数) で繰り上がりのない計算

【表現】[] と [] でいくつですか。 / たてに 書く。

【指導ポイント&ヒント】

- ・ 繰り上がりのないでそれぞれの位ごとに足し算をすれば比較的簡単に計算ができます。
- ・ このテキストや学校の教科書ではこの計算方法を図で表していますが、数字だけでも理解は難しくないでしょう。図があることでかえって混乱する子どももいます。数字だけで機械的に計算する方が得意な子どももいますので、あまり図での説明にこだわらなくても構いません。
- ・ 授業では「筆算」という言葉を使うことが多いので、子どもに余裕があれば「ひっさん」という言葉と意味を覚えておきましょう。



16課
ようごとぶん

Unidad 16
Palabra y Frase

ようご	Palabra
ひっさん	Cuenta escrita, hacer la cuenta por escrito
たて	Vertical

ぶん	Frase
42 + 17 の ひっさんを しましょう。	Vamos a hacer la suma por escrito de 42+17.
たてにかく。	Escribe verticalmente.

16 ひっさん

(2位数) + (2位数) で繰り上がりのない計算

1

25 と 34 でいくつですか。

25		
と		と
34	<p>2と3で5。</p>	<p>5と4で9。</p>
で		で
59		

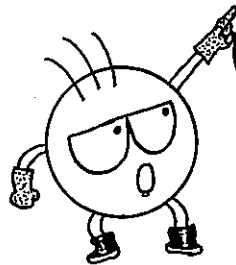
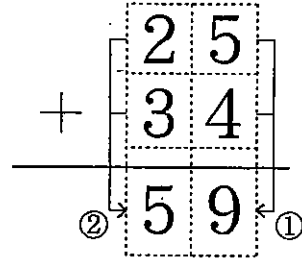
25 と 34 で 59 です。

2

25 + 34 の ひっさん

25 + 34 を たてにかく。

- ① 5 と 4 で 9。
- ② 2 と 3 で 5。
- ③ こたえは 59。
- ④ $25 + 34 = 59$



ひっさんといいます。

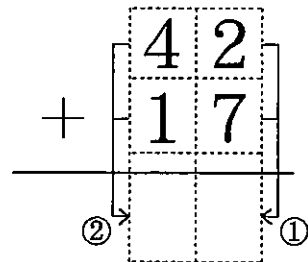


3

42 + 17 の ひっさんをしましょう。

42 + 17 を たてにかく。

- ① と で 。
- ② と で 。
- ③ こたえは 。
- ④ $42 + 17 =$

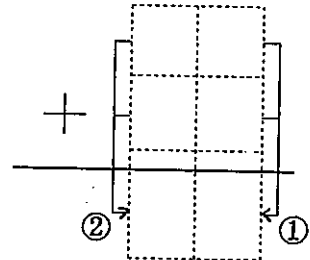


4

(1) $14 + 53$ の ひっさんをしましょう。

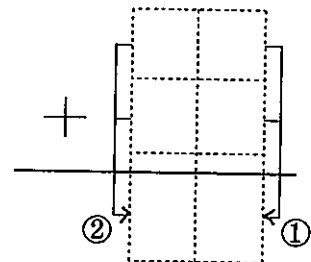
$14 + 53$ を たてにかく。

- ① と で 。
- ② と で 。
- ③ こたえは 。
- ④ $14 + 53 =$



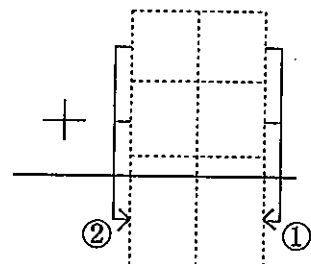
(2) $34 + 21$ の ひっさんをしましょう。

- ① と で 。
- ② と で 。
- ③ こたえは 。
- ④ $34 + 21 =$



(3) $22 + 33$ の ひっさんをしましょう。

- ① と で 。
- ② と で 。
- ③ こたえは 。
- ④ $22 + 33 =$



5

(1) $13 + 43$ の ひっさんをしましょう。

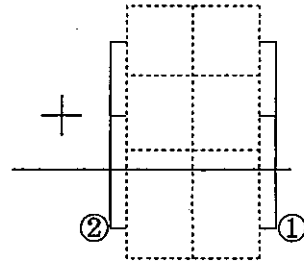
$13 + 43$ を たてにかく。

① と で 。

② と で 。

③ こたえは 。

④ + =



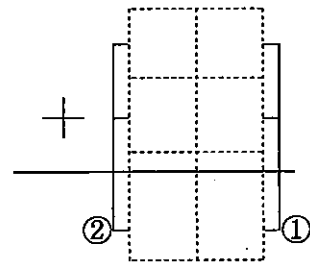
(2) $30 + 50$ の ひっさんをしましょう。

① と で 。

② と で 。

③ こたえは 。

④ + =



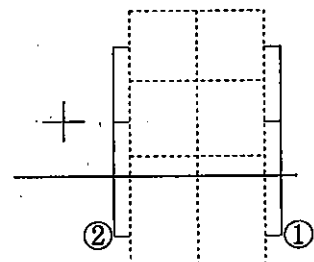
(3) $54 + 32$ の ひっさんをしましょう。

① と で 。

② と で 。

③ こたえは 。

④ + =





指導ポイント&ヒント

17課 1 くりあげて

【内容】(2位数) + (2位数) で繰り上がりのある計算

(2位数) + (1位数) で繰り上がりのある計算

【表現】1繰り上げて [] を書く。

【指導ポイント&ヒント】

- ・ まず、図を使って繰り上がりの概念をしっかりと押さえます。とくに、一の位の数が足したことで10より大きくなったところを指さして強調してください。
- ・ ただ、不思議なことに、図で理解できなくても数字で理解できる子どももいます。
- ・ 繰り上がった「1」をどこに書くかは子どもやりやすい方法で決めてください。テキストでは27+35の一の位「7+5」の和「12」の「1」を、十の位の答えの横に小さく書くように指示しましたが、27の2の上を書く方法も一般的に行われています。
- ・ テキストで十の位の答えの部分に書かせたのは、その方が「10と2」という固まりに見えるという理由のほか、「1」が十の位に移動した、というようにも見せやすいからです。



17課
ようごとぶん

Unidad 17
Palabra y Frase

ようご	Palabra
1 くりあげて	Llevar (uno) a la próxima columna
もんだい	Pregunta, problema

ぶん	Frase
1 くりあげて 2 を かく。	Escribe 2 y lleva 1 para la próxima columna.
もんだいをつくりましょう。	Vamos a escribir un problema matemático.

17

1 くりあげて

(2位数) + (2位数) で繰り上がりのある計算

1

27と35でいくつですか。

27		2	7	
		と	と	
35		3	5	

で で

↓		10になったので	
---	--	----------	--

62		1つこれをくりあげて。	
----	--	-------------	--

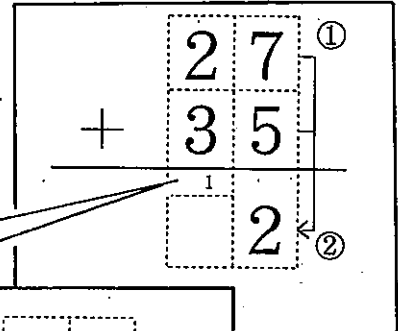
2

27 + 35 の ひっさん

① 7と5で12。

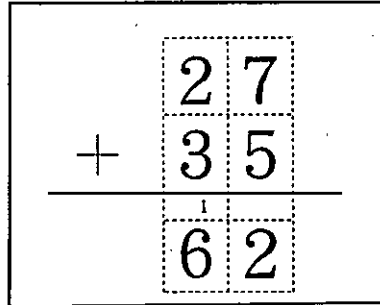
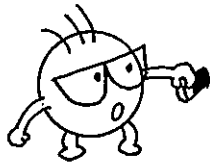
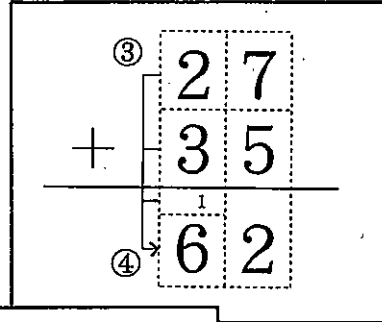
② 1くりあげて 2をかく。

*1はちいさくかく。



③ 2と3と1で6。

④ 6をかく。



3

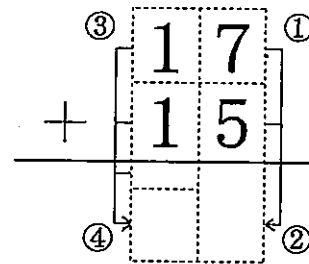
17 + 15 の ひっさんを しましょう。

① □ と □ で □ 。

② 1くりあげて □ をかく。

③ □ と □ と □ で □ 。

④ □ をかく。



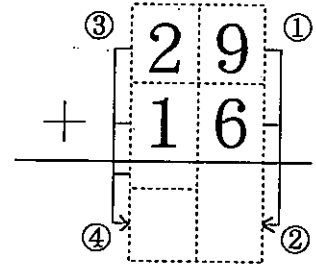
(1) $29 + 16$ のひっさんをしましょう。

① と で 。

② くりあげて をかく。

③ と と で 。

④ をかく。



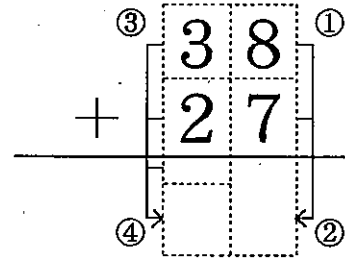
(2) $38 + 27$ のひっさんをしましょう。

① と で 。

② くりあげて をかく。

③ と と で 。

④ をかく。



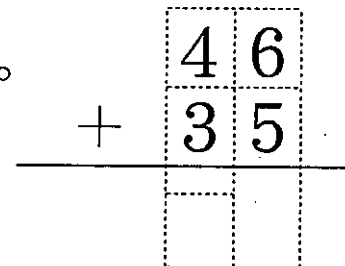
(3) $46 + 35$ のひっさんをしましょう。

① と で 。

② 1 をかく。

③ と と で 。

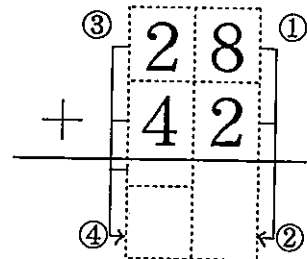
④ をかく。



5

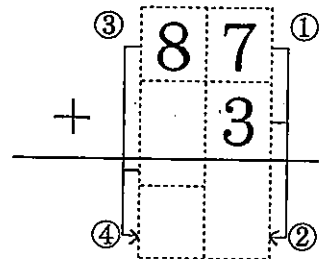
(1) $28 + 42$ の ひっさんを しましょう。

- ① と で .
- ② くりあげて 0 をかく。
- ③ と と で .
- ④ をかく。



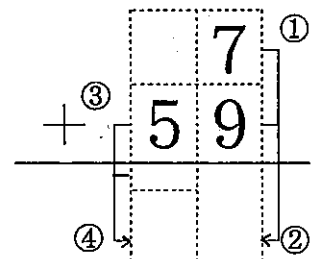
(2) $87 + 3$ の ひっさんを しましょう。

- ① と で .
- ② くりあげて をかく。
- ③ と で .
- ④ をかく。



(3) $7 + 59$ の ひっさんを しましょう。

- ① で .
- ② をかく。
- ③ で .
- ④ をかく。



- ① おとこのこが 25 にん、おんなのこが 19 にん います。みんなでなんにん いますか。

しき

+

こたえ

ひっさん

- ② ノートが 21 さつ あります。あたらしく 39 さつ かい ました。ノートは ぜんぶで なんさつ になり ましたか。

しき

+

こたえ

ひっさん

- ③ き の う い し を 43 こ ひろ いました。きょう 7 こ ひろ いました。あわせて なんこ ひろ いましたか。

しき

+

こたえ

ひっさん

- ④ ゴキブリを トイレで 6 ひき つかま えました。だ い ど こ ろ で 14 ひき つかま えました。ぜんぶで なん ひき つかま えましたか。

しき

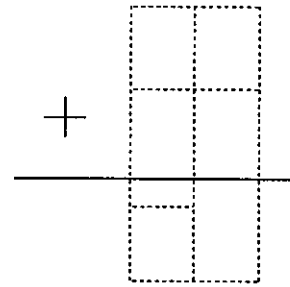
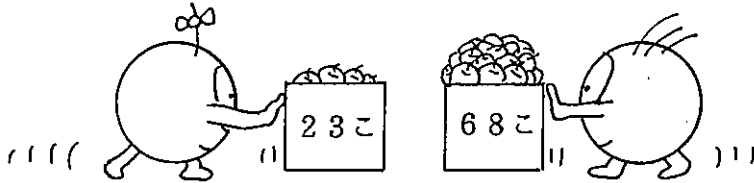
+

こたえ

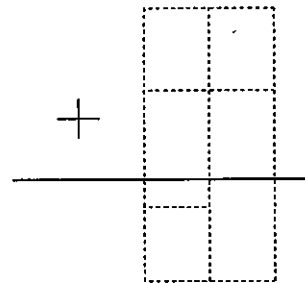
ひっさん

7

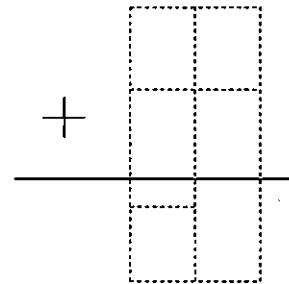
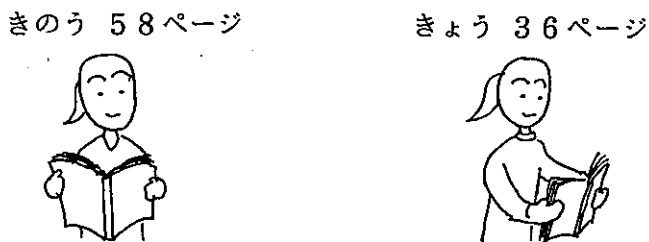
① えをみて、 $23 + 68$ の けいさんになるような
もんだいをつくりましょう。



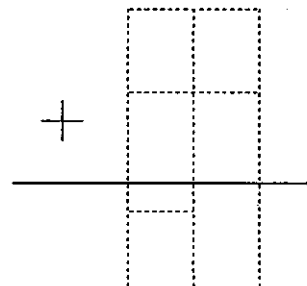
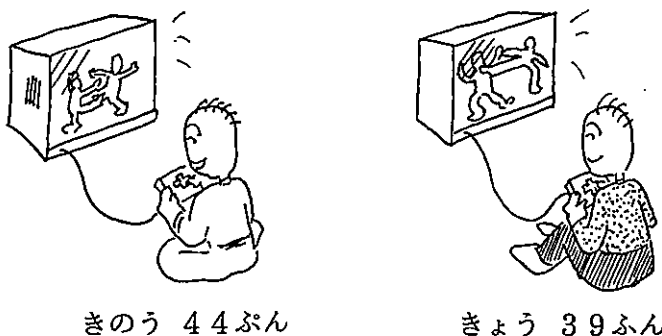
② えをみて、 $47 + 29$ の けいさんになるような
もんだいをつくりましょう。



③ えをみて、 $58 + 36$ の けいさんになるような
もんだいをつくりましょう。



④ えをみて、 $44 + 39$ の けいさんになるような
もんだいをつくりましょう。





指導ポイント&ヒント

18課 1 くりさげて

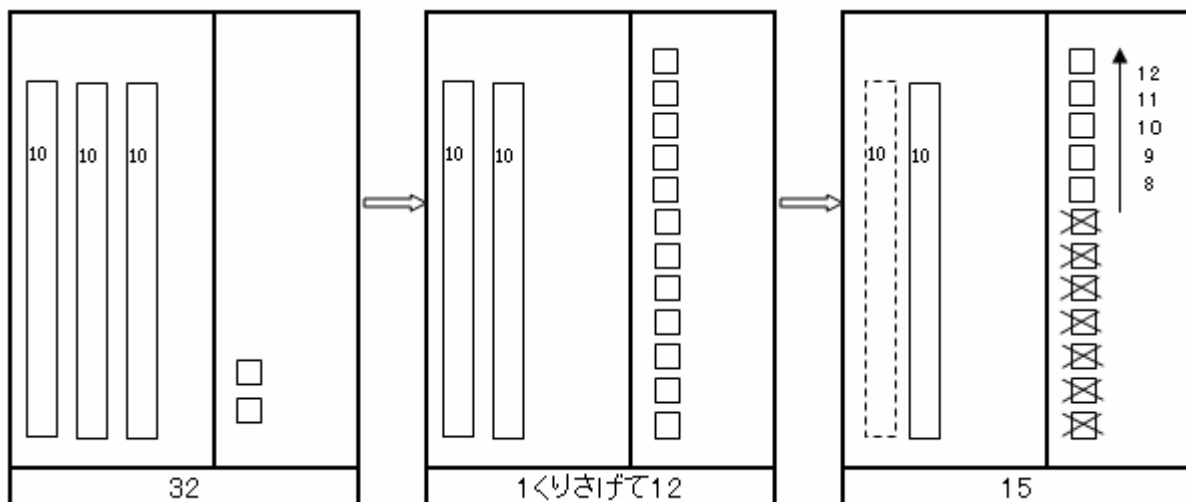
【内容】(2位数) - (2位数) で繰り下がりのない計算

(2位数) - (2位数) で繰り下がりのある計算

【表現】[] から [] は引けないから、1繰り下げて []。

【指導ポイント&ヒント】

- まず、図を使って繰り下がりのない(2位数) - (2位数) の計算を確認します。
- 次に、筆算で(2位数) - (2位数) の計算に慣れるようにします。
- いよいよ繰り下がりのある引き算に挑戦します。4の「2から7は引けない」という事実をしっかりと図で確認します。その上で、十の位から1繰り下げて絵を示します。子どもによってはタイル教材で示してもよいでしょう。
- 12課において、2桁の数を10の位と1の位に分けて計算する方法を学びましたが、この課の4の図も1の位の計算が $10-7=3$, $3+2=5$ のプロセスを踏んで計算することを意識して描かれています。しかし、「10の固まりを繰り下げる」という概念が理解できれば、わざわざ「 $10-7$ 」をする必要はなく、下の図のように「 $12-7$ 」の計算を直接しても構いません。
十の位から1繰り下げて一の位を12にする。次に7から12までいくつあるか、「8, 9, 10, 11, 12」と数えながら5つあることを確認し、一の位の引き算の結果を「5」とする。





18課
ようごとぶん

Unidad 18
Palabra y Frase

ようご	Palabra
くりさげて	Tomar prestado

ぶん	Frase
1くりさげて 12。	Si tomas prestado 1, se vuelve 12.

(2位数) - (2位数) で繰り下がりのない計算

1

38から15をひくといくつですか。

<p>38</p>		
<p>38 - 15</p>	<p>3から 1をひくと</p>	<p>8から 5をひくと</p>
<p>23</p>	<p>2</p>	<p>3</p>

$$38 - 15 = 23$$

38から15をひくと23です。

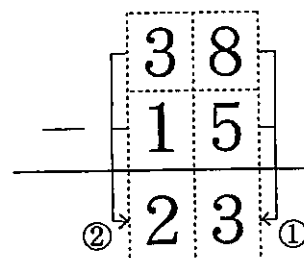
2

38 - 15 の ひっさん

① 8 から 5 を ひくと

② 3 から 1 を ひくと

③ $38 - 15 = 23$



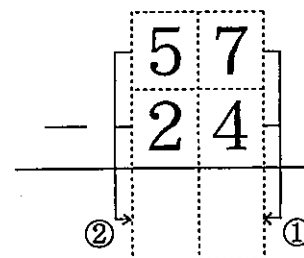
3

(1) $57 - 24$ の ひっさんをしましょう。

① 7 から 4 を ひくと

② 5 から 2 を ひくと

③ $57 - 24 =$

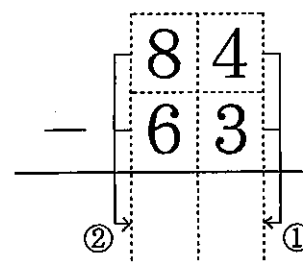


(2) $84 - 63$ の ひっさんをしましょう。

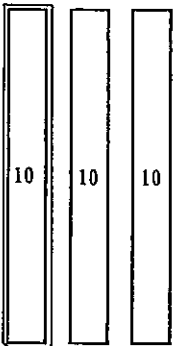

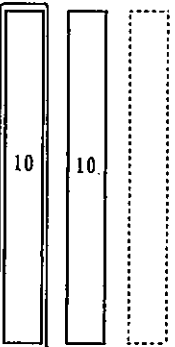

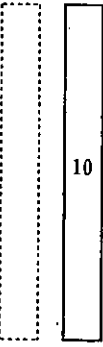
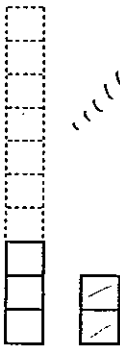
① から を ひくと

② から を ひくと

③ $84 - 63 =$



32から17をひくといくつですか。

32	 <p>3から 1はひける</p>	 <p>2から 7はひけない</p>
32 - 17	 <p>1くりさげて</p>	 <p>12</p>
15		

$$32 - 17 = 15$$

32から17をひくと15です。

5

32 - 17 のひっさん

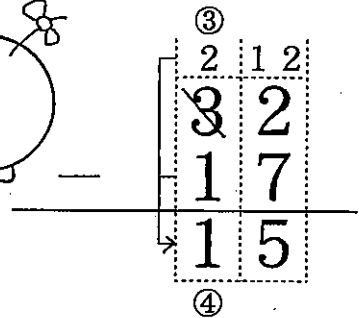
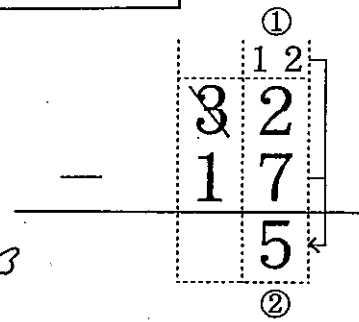
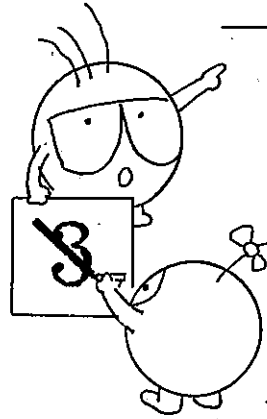
① 2 から 7 は ひけないから

1 くりさげて 12。

② $12 - 7 = 5$

③ 1 くりさげたから 2。

④ $2 - 1 = 1$



6

45 - 18 の ひっさんをしましょう。

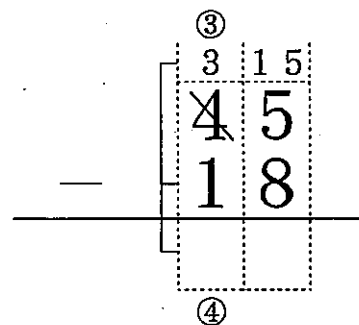
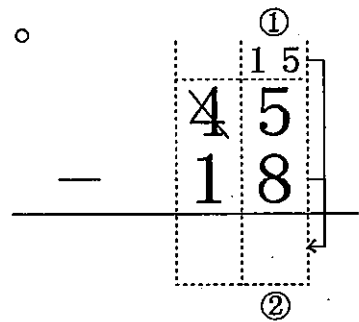
① から 8 は ひけないから

1 くりさげて 。

② - 8 =

③ 1 くりさげたから 3。

④ $3 - 1 = \text{$



(1) $63 - 19$ の ひっさんをしましょう。

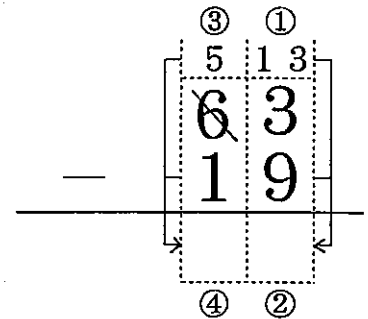
① から は ひけないから

1 くりさげて 。

② - =

③ 1 くりさげたから 5。

④ $5 - 1 = \text{$



(2) $87 - 48$ の ひっさんをしましょう。

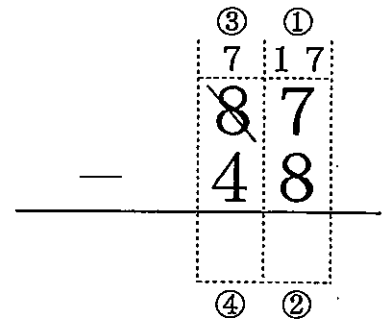
① から は ひけないから

1 くりさげて 。

② - =

③ 1 くりさげたから 。

④ - 4 =



(3) $34 - 8$ の ひっさんをしましょう。

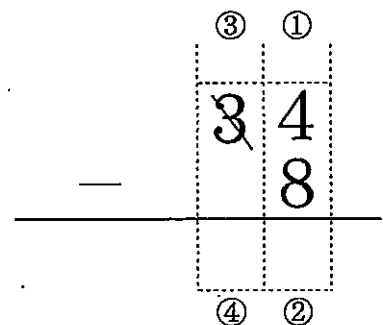
① から は ひけないから

1 くりさげて 。

② - =

③ 1 くりさげたから 。

④ - 0 =





指導ポイント&ヒント
19課 いくつあまりますか

【内容】2つの数量の対応から「あまり」を求める減法

【表現】[] 個ずつ配ると、いくつあまりますか。 / あまる

【指導ポイント&ヒント】

- ・ 図で表すと2つのものの差を求める問題であることがよく分かります。
- ・ 差を求める 6 課・7 課と基本的には同じ計算ですが、N個ずつ配った結果、いくつ余るかという場面設定が異なります。
- ・ 「N個ずつくばる」という操作と言い方をしっかり覚えさせるようにしてください。



19課
ようごとぶん

Unidad 19
Palabra y Frase

ようご	Palabra
1にずつくばる	Repartir uno a cada uno
あまる	Sobrar, quedar

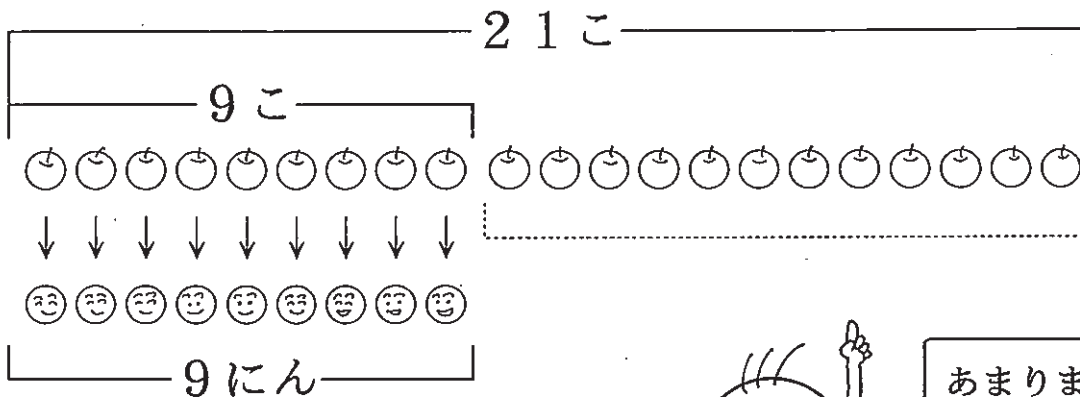
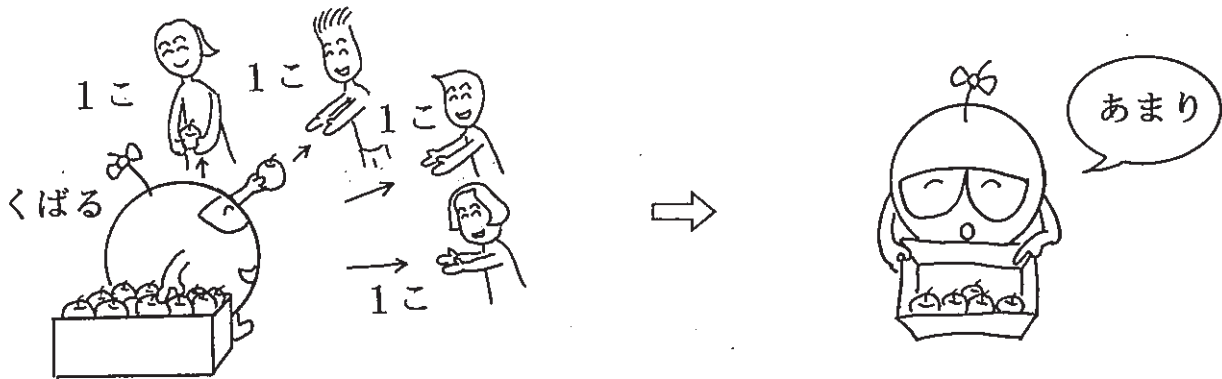
ぶん	Frase
(りんごを) 1にずつくばると、 なんこあまりますか。	Si le damos una manzana a cada uno, ¿cuántas manzanas quedan?

19 いくつ あまりますか。

2つの数量の対応から「余り」を求める減法

1

りんごが 21 個あります。こどもは 9 にんいます。
1 個ずつくばると、りんごはなんこあまりますか。



しき $21 - 9 = 12$

ひっさん

$$\begin{array}{r}
 \boxed{2} \ \boxed{1} \\
 - \quad \boxed{9} \\
 \hline
 \boxed{1} \ \boxed{2}
 \end{array}$$

こたえ 12こ



2

(1) えんぴつが 23 ぽん あります。こどもは 16 にん います。1 ぽんずつ くばると、えんぴつは なんぽん ありますか。

23 ぽん

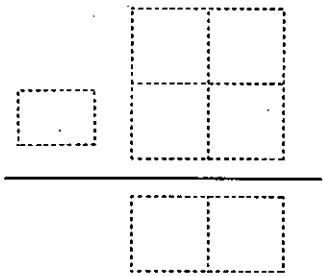
_____ ぽん _____

あまります。

しき

ひっさん

こたえ



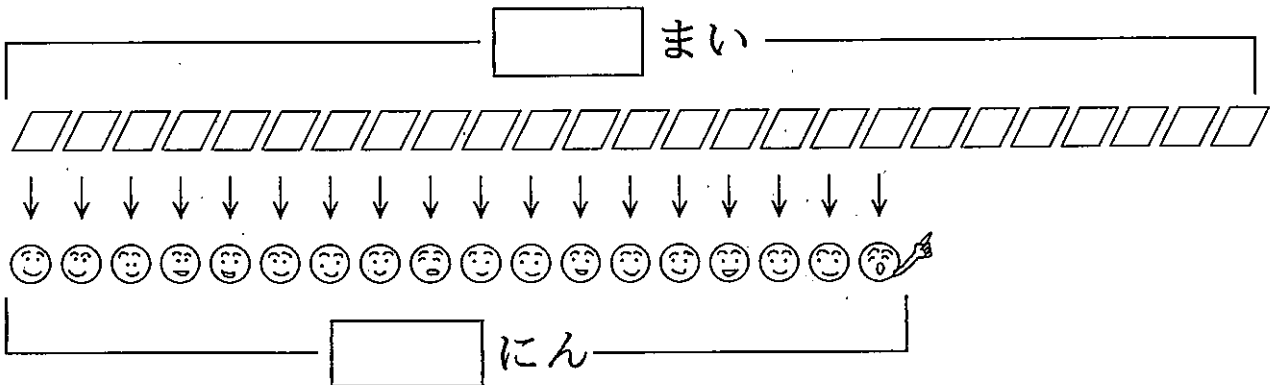
(2) みかんが 25 こ あります。こどもは 17 にん います。1 こずつ くばると、みかんは いくつ ありますか。

_____ こ _____

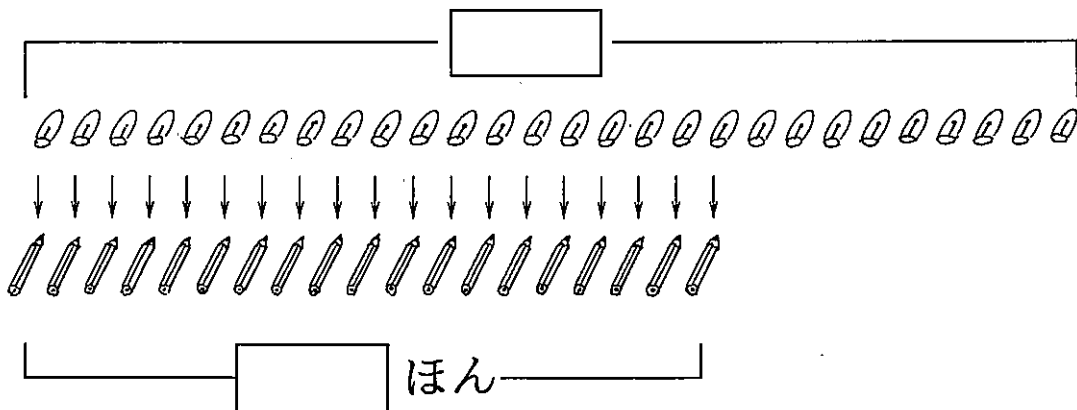
あまります。

3

- (1) はがきが 25まいあります。ともだちは 18にん
います。1まいずつはがきをだすと、
はがきはなんまいあまりますか。



- (2) キャップが 28 あります。えんぴつは 19ほん
あります。ひとつずつキャップをつけると、
キャップはいくつあまりますか。



- (3) いすが 58 あります。こどもが 43にんいます。
ひとりずつすわると、いすはいくつあまりますか。



指導ポイント&ヒント
20課 いくつたりませんか

【内容】2つの数量の対応から「不足」を求める減法

【表現】[]個 足りません。

【指導ポイント&ヒント】

- ・ 今度は「足りなくなる」場面で減法を使う方法を学びます。
- ・ この場合も「多い方」から「少ない方」を引けばよいことを図を使って理解させます。



20課
ようごとぶん

Unidad 20
Palabra y Frase

ようご	Palabra
たりません	Faltar, no ser suficiente

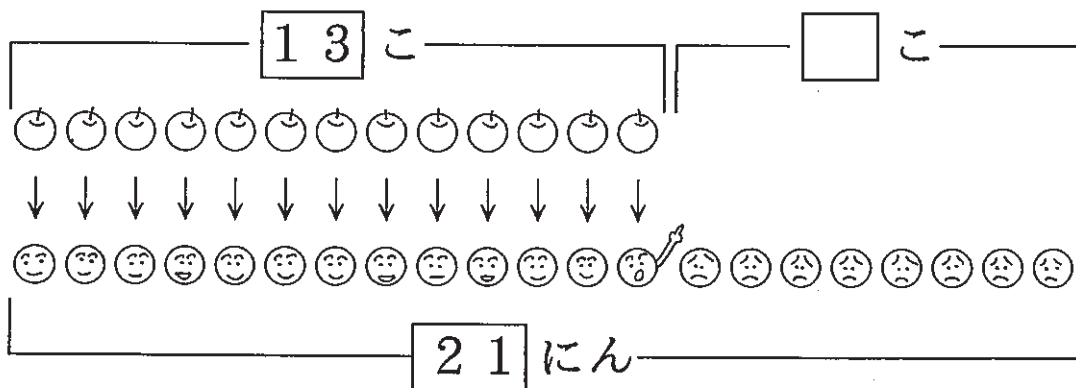
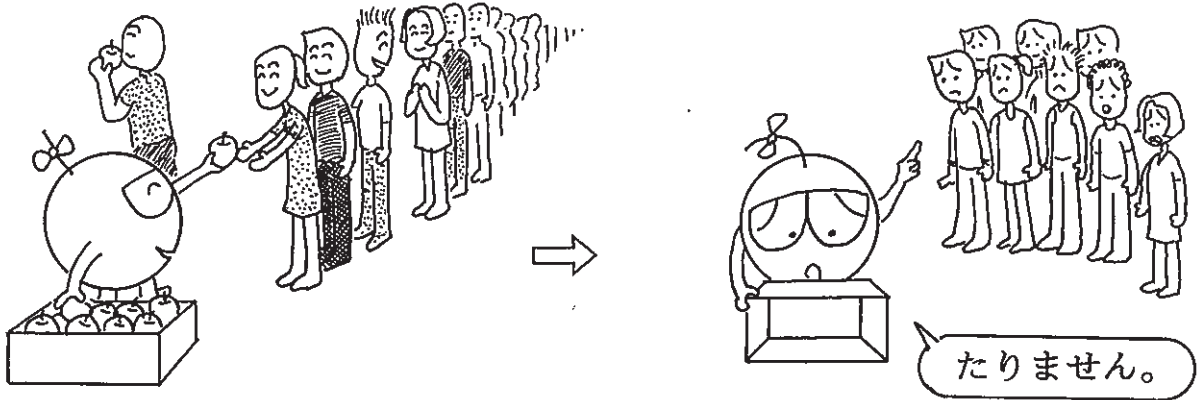
ぶん	Frase
(りんごは) なんこ たりませんか。	¿Cuántas manzanas faltan?

20 いくつ たりませんか。

2つの数量の対応から「不足」を求める減法

1

りんごが 13 個あります。こどもは 21 人います。
1 個ずつくばると、りんごは なんこ たりませんか。



しき $21 - 13 = 8$

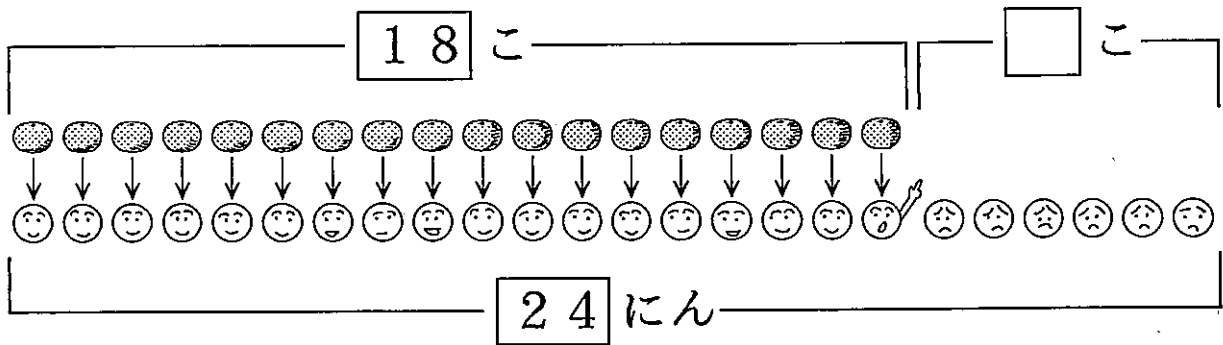
ひっさん

	2	1
—	1	3
	8	

こたえ 8 こ



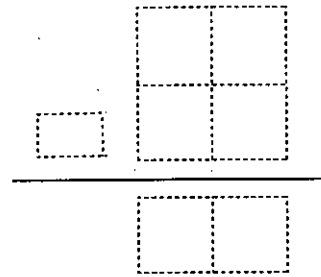
- (1) みかんが 18 こあります。こどもは 24 にんいます。1 こずつくばると、みかんは なんこたりませんか。



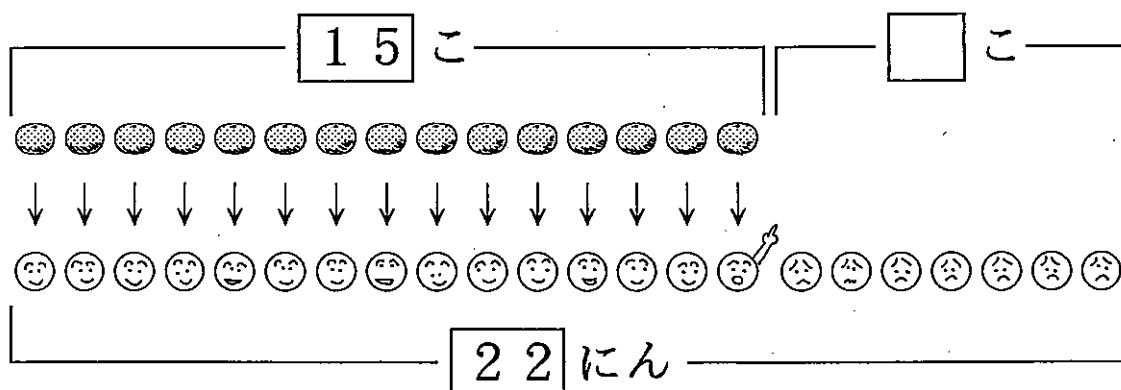
しき

ひっさん

こたえ

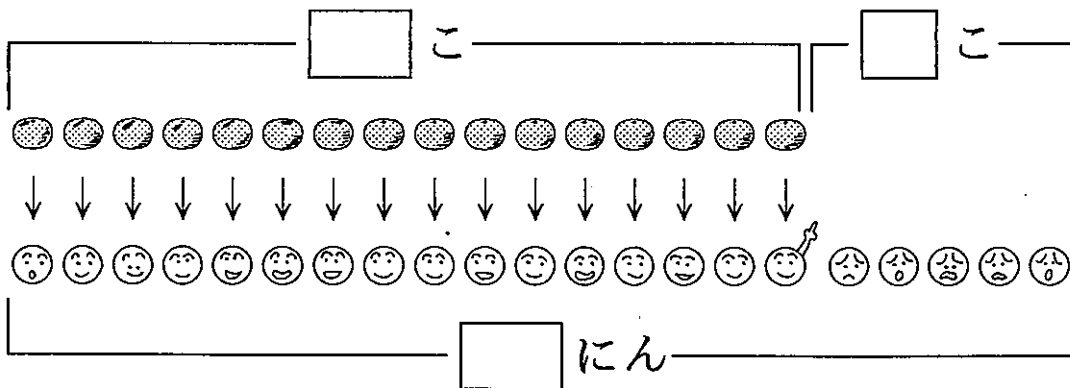


- (2) みかんが 15 こあります。こどもは 22 にんいます。1 こずつくばると、みかんは なんこたりませんか。

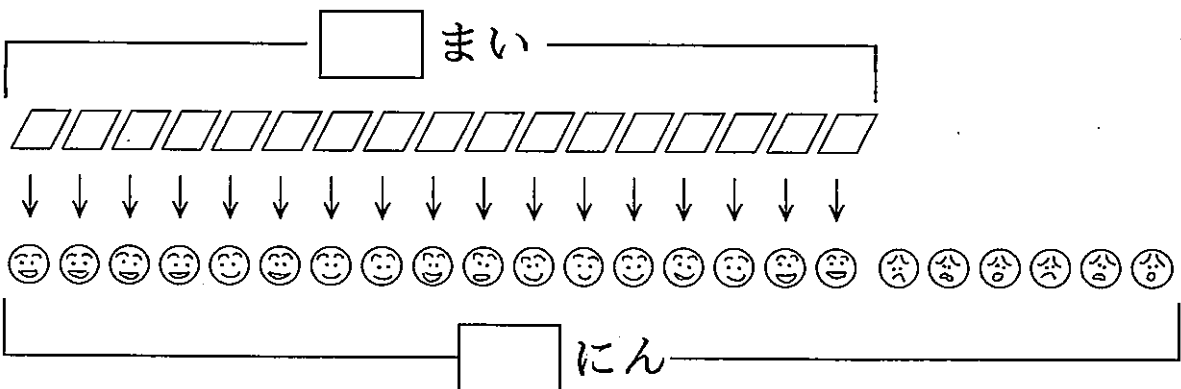


3

(1) みかんが 16 こあります。こどもは 21 にんいます。1 こずつくばると、みかんはなんこたりませんか。



(2) いろがみが 17 まいあります。こどもは 23 にんいます。1 まいずつくばると、いろがみはなんまいたりませんか。



(3) いすが 23 あります。こどもは 31 にんいます。ひとりずつすわると、いすはいくつたりませんか。



指導ポイント&ヒント

21課 200 300 400 … 1000

【内容】1000未満の数の構成とその読み方 / 1000の意味と読み方

【表現】() が () で () 。

【指導ポイント&ヒント】

- ・ 1000未満の数の構成とその読み方、および1000の意味とその読み方を学ぶ単元です。
- ・ 日本語は「100が2つで200。」⇒「(単位となる数)が(いくつ分)で(合計いくつ)」という言い方を重要表現として採り上げました。
- ・ 100を「いちひゃく」と言う子どもがいますが、百円硬貨を見せて「いくら？」と聞けば、ほとんどの子は「ひゃくえん」と答えます。そこで、「いちひゃくえんではないよね。」と言ってあげると納得するはずです。300は「さんびゃく」、600は「ろっぴゃく」、800は「はっぴゃく」と不規則に読み方が変化をしますが、理屈を説明せず、何度も唱えて丸暗記させるようにしましょう。
- ・ 1000は「せん」とも「いっせん」とも読みます。
- ・ 101のように「0」を含む数の唱え方は意外と難しいようです。「いちひゃくれいいち」のような規則で読む言語(中国語)もあります。



21課
ようごとぶん

Unidad 21
Palabra y Frase

ようご	Palabra
かず	Número, cantidad

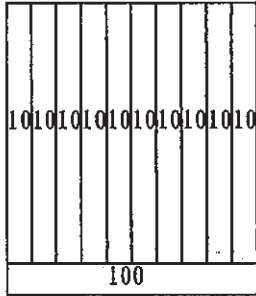
ぶん	Frase
つぎの かずを よみましょう。	Vamos a leer los siguientes números.

21

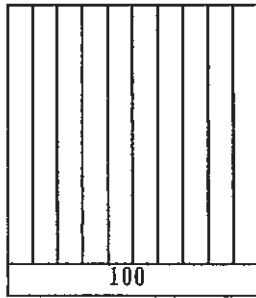
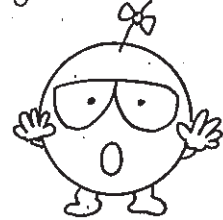
200 300 400 ... 1000

1000未満の数の構成と唱え方

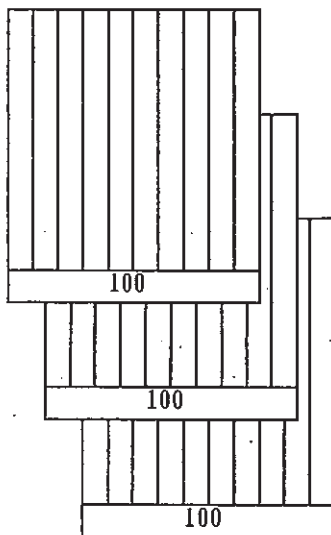
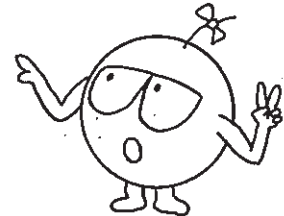
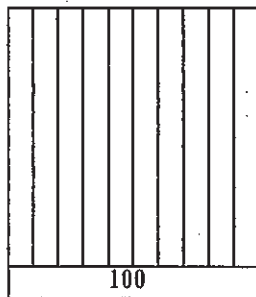
1



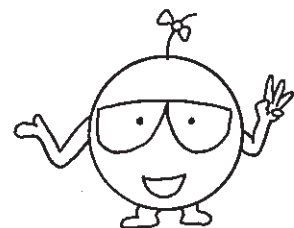
10が10で100。



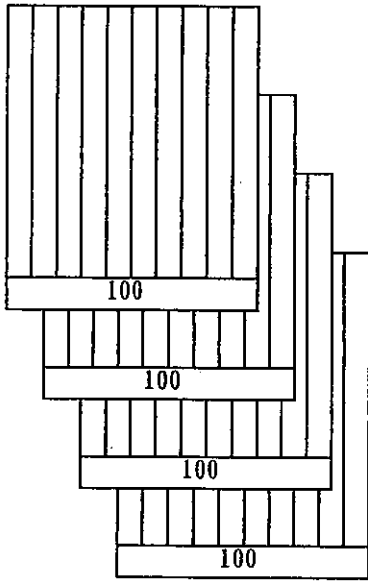
100が2つで200。



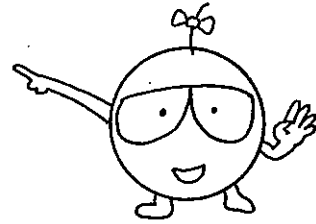
100が3つで300。



2



100が4つでいくつですか。



3

つぎのかずをよみましょう。

① 100
ひゃく

② 200
にひゃく

③ 300
さんびゃく

④ 400
よんひゃく

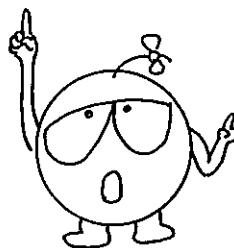
⑤ 500
ごひゃく

⑥ 600
ろっぴゃく

⑦ 700
ななひゃく

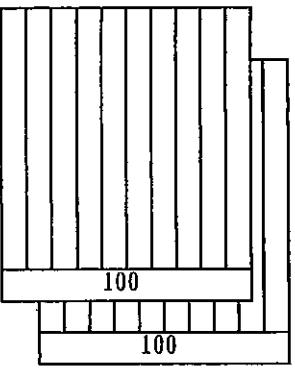
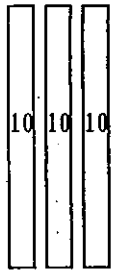

⑧ 800
はっぴゃく

⑨ 900
きゅうひゃく



ひらがなをかくして
もういちど
よみましょう。

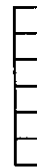
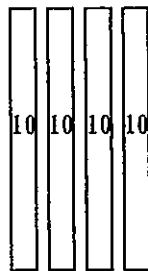
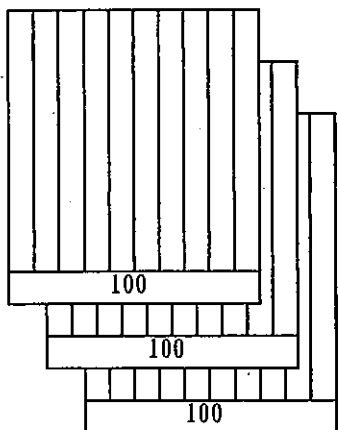
4

		
<p>100が <input type="text" value="2"/> つで</p>	<p>10が <input type="text" value="3"/> つで</p>	<p>1が <input type="text" value="4"/> つで</p>
<p>にひゃく</p>	<p>さんじゅう</p>	<p>よん</p>
<p>2</p>	<p>3</p>	<p>4</p>



5

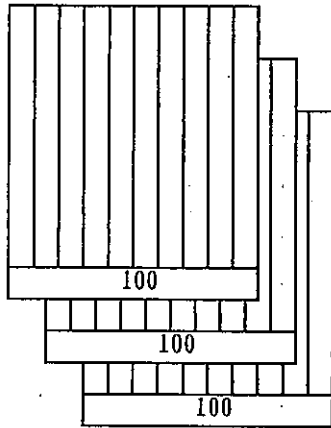
いくつですか。



6

①

いくつですか。



100が つで

10が つで

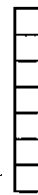
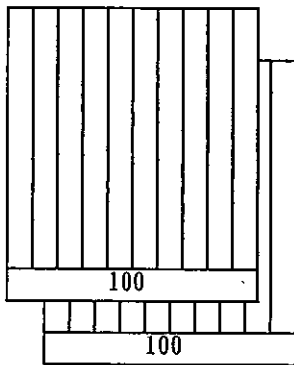
1はないから

びゃく

じゅう

0

②



100が つで

10はないから

1が つで

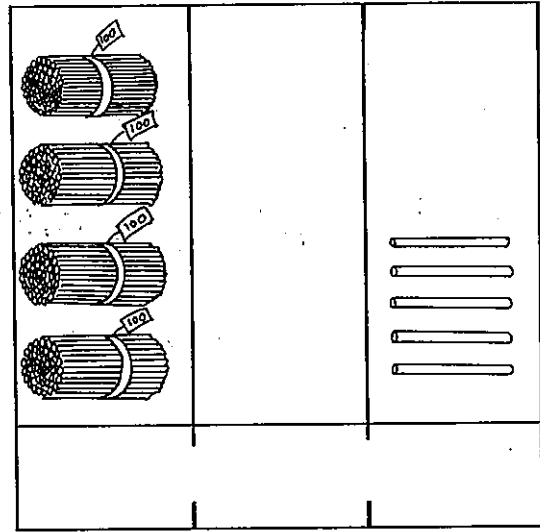
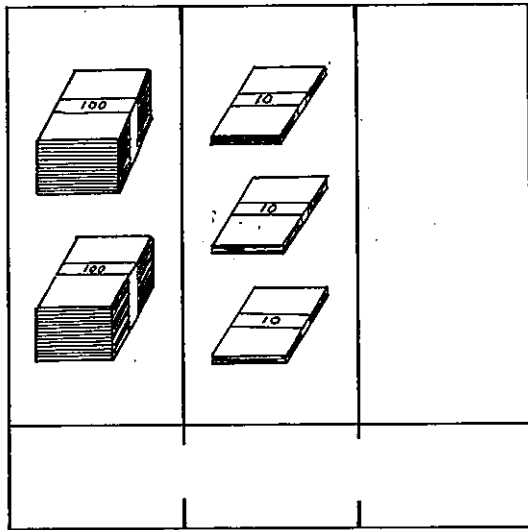
ひゃく

なな

0

7

(1) なんまい ありますか。 (2) なんぼん ありますか。



8

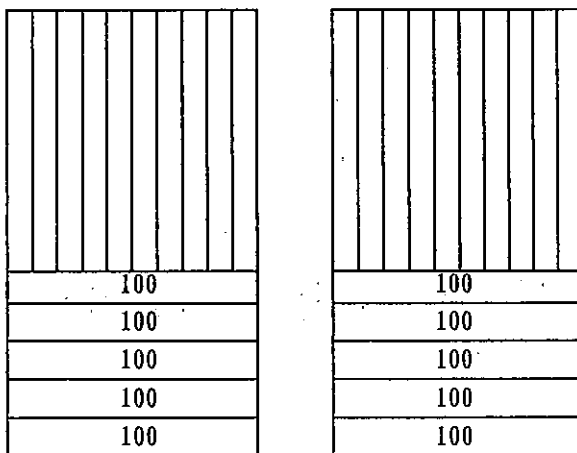
つぎのかずをよみましょう。

① 164 ② 604 ③ 780 ④ 800 ⑤ 999

1000という数の構成と唱え方・書き方

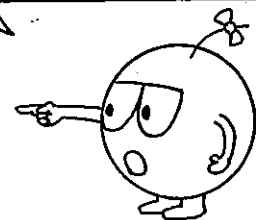
9

100が10で1000。



1000

せん





指導ポイント&ヒント

22課 あわせて いくら。のこりは いくら。

【内容】10 や 100 を単位とする数の構成に着目した加法・減法

【表現】あわせて いくら。 / のこりは いくら。

【指導ポイント&ヒント】

- ・ $50+70=$ や $500+40=$ など、10 や 100 を単位とした加法・減法の計算方法を学ぶ単元です。十円硬貨や百円硬貨を使うと分かりやすいので、お金の計算に場面を特定して練習するようにしてあります。
- ・ 原理が分かったら筆算で答えを出させても構いません。原理が分からなくても、筆算で答えが出せる子も少なくないからです。「理屈」が分からないと計算ができないというのは誤解です。私たち大人だって、「0」の意味を正確に説明できる人はほとんどいません。でも、ちゃんと生活場面での計算は支障なくこなしています。
- ・ 第2課の「あわせると～になります。」第5課の「のこりは～になります。」と似た表現なので、その違いが気になる子いるかもしれません（現実にはほとんど気にしませんが）。そこで、「～と」は結果として当然そうなるときに使うんだよ…などと説明しても分かりませんので、「あわせると」と「あわせて」は同じ意味だと説明してしまってもよいでしょう。また、「あわせていくらになりますか。」と言うと長いので「あわせていくら？」と聞いたり「あわせるといくら？」と聞いたりするんだよと補足してもよいかもしれません。そのほか、お金のときは「いくら」を使うけれど、物の時は「あわせていくつ」と言うんだよと付け足してもよいでしょう。ただし、それは尋ねられたら答える程度にしておき、聞かれてもいないのに余計なことを教えると混乱の元ですので注意してください。



22課
ようごとぶん

Unidad 22
Palabra y Frase

ようご	Palabra
とりました	Tomó de—

ぶん	Frase
120えんから50えんとりました。	Tomé 50 yenes de los 120 yenes que tenía.



22 あわせていくら。のこりはいくら。

1

10を単位とする数の構成に着目した加法

50えんと70えん。あわせていくらですか。



$$\begin{array}{r} 50 + 70 = 120 \\ \hline \end{array}$$

5 + 7 = 12

(1) 70えんと60えん。あわせていくらですか。



$$\begin{array}{r} 70 + 60 = \square\square 0 \\ \hline \end{array}$$

(2) 30えんと80えん。あわせていくらですか。



$$\begin{array}{r} 30 + 80 = \square\square\square \\ \hline \end{array}$$

(3) 50えんと90えん。あわせていくらですか。



$$50 + 90 =$$

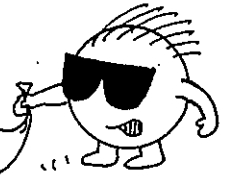
2

120えんから50えんとりました。
のこりはいくらですか。



$$\begin{array}{r} 120 - 50 = 70 \\ \hline \end{array}$$

$$12 - 5 = 7$$



(1) 110えんから40えんとりました。
のこりはいくらですか。



$$\begin{array}{r} 110 - 40 = \square\square \\ \hline \end{array}$$



(2) 150えんから80えんとりました。
のこりはいくらですか。



$$150 - 80 =$$



(3) 170えんから90えんとりました。
のこりはいくらですか。



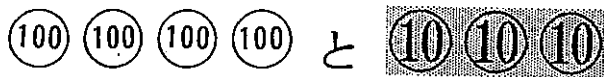
$$170 - 90 =$$



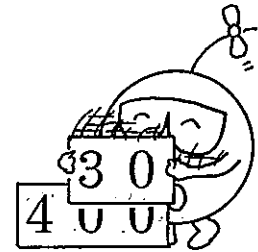
3

100, 10を単位とする数の構成に着目した加法

あわせていくらですか。


 (100) (100) (100) (100) と (10) (10) (10)

$$400 + 30 = 430$$



(1) (100) (100) (100) (100) (100) と (10) (10) (10) (10)

$$500 + 40 =$$

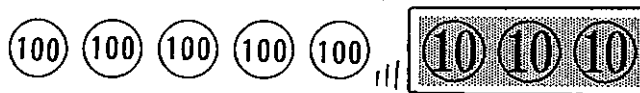
(2) (100) (100) (100) (100) (100) (100) と (10) (10) (10) (10) (10)

$$600 + 50 =$$

4

100, 10を単位とする数の構成に着目した減法

のこりはいくらですか。


 (100) (100) (100) (100) (100) (10) (10) (10)

$$530 - 30 = 500$$

(1) (100) (100) (100) (10) (10) (10) (10) (10)

$$350 - 50 =$$

(2) (100) (100) (100) (100) (10) (10) (10) (10) (10) (10)

$$460 - 60 =$$



指導ポイント&ヒント

23課 いくつ あつめましたか。

【内容】(2位数) + (2位数) で繰り上がりが2回ある計算

【表現】 あつめました

【指導ポイント&ヒント】

- ・ 十の位で繰り上がりのある計算⇒一の位でも十の位でも繰り上がりのある計算⇒繰り上がったときに十の位が0になる計算という順で指導します。混乱しやすい單元なので、ゆっくり何度も計算練習をさせたいところです。
- ・ 算数の内容が難しいので、日本語は比較的易しい「いくつ あつめましたか。」と「なんまい あつめましたか。」の2パターンにしました。



23課
ようごとぶん

Unidad 23
Palabra y Frase

ようご	Palabra
あつめました	Recolectado, juntado

ぶん	Frase
64まいあつめました。	Se juntaron 64 tarjetas.

23 いくつ あつめましたか。

(2位数) + (2位数) で十の位で繰り上がりがある計算

1

わたしはテレホンカードを あつめています。きょうねん 73まい、ことし 64まい あつめました。あわせてなんまい あつめましたか。



しき $73 + 64 = 137$ ことえ 137 まい



2

つぎの けいさんを しましょう。

①

$$\begin{array}{r} 93 \\ + 24 \\ \hline \end{array}$$

↑ ↑
9 + 2 3 + 4

②

$$\begin{array}{r} 87 \\ + 42 \\ \hline \end{array}$$

③

$$\begin{array}{r} 85 \\ + 63 \\ \hline \end{array}$$

3

(2位数) + (2位数) で一の位でも十の位でも繰り上がりがある計算

おとうともテレホンカードをあつめています。きょねん 48まい、ことし 87まいあつめました。あわせてなんまいあつめましたか。

しき $48 + 87 = 135$

こたえ 135まい



4

つぎのけいさんをしましょう。

①

$$\begin{array}{r} 53 \\ + 79 \\ \hline \end{array}$$

↑ ↑
 $5 + 7 + 1$ $3 + 9$

②

$$\begin{array}{r} 35 \\ + 87 \\ \hline \end{array}$$

③

$$\begin{array}{r} 97 \\ + 48 \\ \hline \end{array}$$

④

$$\begin{array}{r} 57 \\ + 88 \\ \hline \end{array}$$

⑤

$$\begin{array}{r} 99 \\ + 33 \\ \hline \end{array}$$

⑥

$$\begin{array}{r} 84 \\ + 46 \\ \hline \end{array}$$

5

おとうさんはふるいコインをあつめています。
 にほんのコインを26、がいこく
 コインを78 あつめました。あわせ
 ていくつあつめましたか。



Diagram illustrating the addition process for 26 + 78:

$$\begin{array}{r}
 26 \\
 + 78 \\
 \hline
 \end{array}
 \Rightarrow
 \begin{array}{r}
 26 \\
 + 78 \\
 \hline
 4 \\
 \uparrow \\
 6+8=14
 \end{array}
 \Rightarrow
 \begin{array}{r}
 26 \\
 + 78 \\
 \hline
 104 \\
 \uparrow \\
 2+7+1=10
 \end{array}$$

しき $26 + 78 = 104$

こたえ 104



6

つぎのけいさんをしましょう。

①

$$\begin{array}{r}
 25 \\
 + 79 \\
 \hline
 \end{array}$$

↑ ↑
2+7+1 5+9

②

$$\begin{array}{r}
 45 \\
 + 57 \\
 \hline
 \end{array}$$

③

$$\begin{array}{r}
 67 \\
 + 36 \\
 \hline
 \end{array}$$

④

$$\begin{array}{r}
 57 \\
 + 43 \\
 \hline
 \end{array}$$

⑤

$$\begin{array}{r}
 99 \\
 + \quad 6 \\
 \hline
 \end{array}$$

⑥

$$\begin{array}{r}
 \quad 4 \\
 + 96 \\
 \hline
 \end{array}$$



指導ポイント&ヒント 24課 ひゃくのくらい

【内容】「[] の位」の意味

(3位数) + (3位数) で繰り上がりのない計算・繰り上がりのある計算

【表現】一の位・十の位・百の位

【指導ポイント&ヒント】

- ・ 計算する数が大きくなってくると、授業では「一の位」や「十の位」といった言葉が多用されます。生活用語ではないのでふだんの生活場面で耳にすることのないこれらの言葉に慣れさせるためには、指導中に「とにかくたくさん耳に入れる」ことです。
- ・ この課から「計算方法」を言葉で表す場面が出てきます。これは先生が授業中に説明のために使う表現に慣れるという意味があります。また、黒板に筆算を書いて、その計算方法を言わせる場面が出てくるので、言えるようにしておくという意味もあります。



24課
ようごとぶん

Unidad 24
Palabra y Frase

ようご	Palabra
ひゃくのくらい	Columna de las centenas
じゅうのくらい	Columna de las decenas
いちのくらい	Columna de las unidades
たしざん	Adición, suma
まず	Primero, en primer lugar
つぎに	Siguiente, a continuación
さいごに	Por último, finalmente
2かい	Dos veces

ぶん	Frase
さいごに、ひゃくのくらいのたしざんをする。	Finalmente, sumar los números de la columna de las centenas.
つぎに、じゅうのくらいのたしざんをする。	Luego, sumar los números de la columna de las decenas.
まず、いちのくらいのたしざんをする。	Primero, sumar los números de la columna de las unidades.
つぎに、じゅうのくらいのたしざんをする。	Luego, sumar los números de la columna de las decenas.
さいごに、ひゃくのくらいのたしざんをする。	Finalmente, sumar los números de la columna de las centenas.
2かいくりあげるので、ちゅういしましょう。	Como llevamos números de una columna a otra dos veces, revisa cuidadosamente.

「～の位」の意味と言い方

1

1	1	1
ひゃく の くらい	じゅう の くらい	いち の くらい

2	3	5
ひゃく の くらい	じゅう の くらい	いち の くらい

ここは
ひゃくの くらい



ここは
じゅうの くらい



ここは
いちの くらい



3	6	4
4	7	8
6	4	5
8	2	0

3	6	4
4	7	8
6	4	5
8	2	0

3	6	4
4	7	8
6	4	5
8	2	0



2

つぎのかずの「ひゃくのくらい」「じゅうのくらい」「いちのくらい」はなんですか。

① 249

② 587

③ 850

④ 903

3

315 + 234 の けいさんの しかた

- ① まず、^{いち}一のくらいのたしざんをする。
- ② つぎに、^{じゅう}十のくらいのたしざんをする。
- ③ さいごに、^{ひゃく}百のくらいのたしざんをする。

①
$$\begin{array}{r} 315 \\ + 234 \\ \hline \end{array}$$
 ⇒
$$\begin{array}{r} 315 \\ + 234 \\ \hline 49 \end{array}$$
 ⇒
$$\begin{array}{r} 315 \\ + 234 \\ \hline 549 \end{array}$$



4

135 + 324 の けいさんの しかたを いいましょう。

- ① まず、 の たしざんをする。
- ② つぎに、 の たしざんをする。
- ③ さいごに、 の たしざんをする。

①
$$\begin{array}{r} 135 \\ + 324 \\ \hline \end{array}$$
 ⇒
$$\begin{array}{r} 135 \\ + 324 \\ \hline \end{array}$$
 ⇒
$$\begin{array}{r} 135 \\ + 324 \\ \hline \end{array}$$

5

537 + 138 の けいさんの しかた

- ① まず、^{いち}一のくらいのたしざんをする。
- ② つぎに、^{じゅう}十のくらいのたしざんをする。
- ③ さいごに、^{ひゃく}百のくらいのたしざんをする。

①
$$\begin{array}{r} 537 \\ + 138 \\ \hline \end{array}$$
 \Rightarrow
$$\begin{array}{r} 537 \\ + 138 \\ \hline 75 \end{array}$$
 \Rightarrow
$$\begin{array}{r} 537 \\ + 138 \\ \hline 675 \end{array}$$

1くりあげる $\uparrow 7+8=15$ $\uparrow 3+3+1=7$ $\uparrow 5+1=6$



6

248 + 436 の たしざんの しかたを いいましょう。

①

②

③

ひっさんで けいさん しましょう。

$$\begin{array}{r} 248 \\ + 436 \\ \hline \end{array}$$

7

つぎのけいさんをしましょう。

①	$\begin{array}{r} \boxed{7} \boxed{5} \boxed{6} \\ + \boxed{2} \boxed{0} \boxed{8} \\ \hline \end{array}$	②	$\begin{array}{r} \boxed{4} \boxed{0} \boxed{7} \\ + \boxed{5} \boxed{4} \boxed{9} \\ \hline \end{array}$	③	$\begin{array}{r} \boxed{5} \boxed{1} \boxed{8} \\ + \quad \boxed{6} \boxed{5} \\ \hline \end{array}$	④	$\begin{array}{r} \quad \boxed{6} \boxed{5} \\ + \boxed{4} \boxed{2} \boxed{7} \\ \hline \end{array}$
	↑ 1くりあげる						

⑤	$\begin{array}{r} \boxed{2} \boxed{9} \boxed{4} \\ + \boxed{4} \boxed{6} \boxed{3} \\ \hline \end{array}$	⑥	$\begin{array}{r} \boxed{4} \boxed{6} \boxed{5} \\ + \boxed{3} \boxed{5} \boxed{2} \\ \hline \end{array}$	⑦	$\begin{array}{r} \boxed{5} \boxed{7} \boxed{8} \\ + \quad \boxed{6} \boxed{1} \\ \hline \end{array}$	⑧	$\begin{array}{r} \quad \boxed{6} \boxed{4} \\ + \boxed{4} \boxed{4} \boxed{3} \\ \hline \end{array}$
	↑ 1くりあげる						



8

2かいくりあげるので、ちゅういしましょう。

$\begin{array}{r} \boxed{2} \boxed{8} \boxed{5} \\ + \boxed{3} \boxed{7} \boxed{9} \\ \hline \end{array}$	⇒	$\begin{array}{r} \boxed{2} \boxed{8} \boxed{5} \\ + \boxed{3} \boxed{7} \boxed{9} \\ \hline \end{array}$	⇒	$\begin{array}{r} \boxed{2} \boxed{8} \boxed{5} \\ + \boxed{3} \boxed{7} \boxed{9} \\ \hline \end{array}$
$\boxed{4}$		$\boxed{6} \boxed{4}$		$\boxed{6} \boxed{6} \boxed{4}$
↑ 5 + 9 = 14 1くりあげる		↑ 8 + 7 + 1 = 16 1くりあげる		↑ 2 + 3 + 1 = 6

①	$\begin{array}{r} \boxed{2} \boxed{4} \boxed{6} \\ + \boxed{2} \boxed{7} \boxed{7} \\ \hline \end{array}$	②	$\begin{array}{r} \boxed{4} \boxed{6} \boxed{7} \\ + \boxed{2} \boxed{6} \boxed{9} \\ \hline \end{array}$	③	$\begin{array}{r} \boxed{5} \boxed{7} \boxed{6} \\ + \boxed{3} \boxed{6} \boxed{5} \\ \hline \end{array}$	④	$\begin{array}{r} \boxed{6} \boxed{4} \boxed{5} \\ + \boxed{2} \boxed{5} \boxed{8} \\ \hline \end{array}$
	↑ ↑ 1くりあげる						



指導ポイント&ヒント

25課 まず、() のなかを

【内容】加法の結合法則と () の使い方

$3 + 5 + 2$ のような足し算の場合、 $3 + 5$ の答えに 2 を足しても、 $3 + 2$ の答えに 5 をたしても、また、 $5 + 2$ の答えに 3 を足しても答えは変わりません。式にすると、 $(3 + 5)$ のように結合させてから 2 を足す $(3 + 5) + 2$ でも、 3 に $(5 + 2)$ を足す $3 + (5 + 2)$ でも答えは同じというきまりがあります。

【表現】まず、～。 次に～。 カッコ 順序

【指導ポイント&ヒント】

- ・ 「 $3 + 5 + 2 =$ 」など、いくつも足す場面では、「 $3 + 5$ 」を結合させて「 8 」にしてから「 $8 + 2$ 」の計算をしても答えを出すことができます。これのきまりを学ぶ単元です。
- ・ 結合して計算する場合、まず始めに計算をする箇所を () でくくります。
- ・ 計算の手順を示す表現が重要ですので、ここでは「まず」「次に」という言葉を重点的に採り上げました。
- ・ できれば「順序」という言葉も教えたい場面ですが、子どもの余力しだいです。無理をする必要はありません。
- ・ 「 $6 + 8 + 2$ 」のような場合、 $(6 + 8)$ を先に計算するより、 $(8 + 2)$ を先に計算した方が「 $6 + 10$ 」となって、2 番目の計算が楽です。3以降の「計算の工夫」では、最初にどれとどれを足すと、 10 や 20 の固まりになって、後の計算が楽になるかを考えさせます。日本の学校では小学校 1 年生で「 10 の数の合成・分解」について時間をかけて指導しますが、その理由はこのような場面にも現れています。



25課
ようごとぶん

Unidad 25
Palabra y Frase

ようご	Palabra
() / カッコ	Paréntesis
じゅんじょ	Orden, secuencia
どっちのほう	Cuál de los dos
かんたん	Fácil

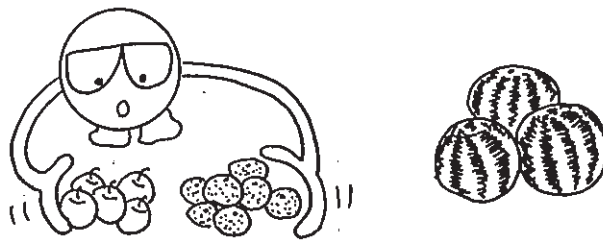
ぶん	Frase
まず、かっこのなかをけいさんします。	Primero, realizar la operación de los números entre paréntesis.
けいさんのじゅんじょをいしましょう。	Explicemos los pasos que seguimos para hacer esta cuenta.
どっちのほうがかんたんですか。	¿Cuál de los dos es más fácil?

25 まず、()のなかを

加法の結合法則と () の意味

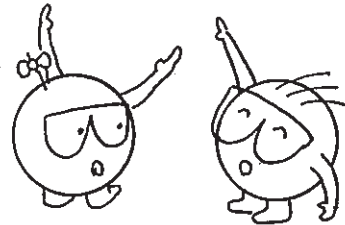
1

まず、りんごとみかんをたします。
つぎに、すいかをたします。



$$(5 + 7) + 3$$

これは なんですか。



これは かっこ です。

① まず、かっこのなかをけいさんします。

$$5 + 7 = \underline{12}$$

② つぎに、 $12 + 3$ をけいさんします。

$$\begin{array}{r} \text{-----} \\ \downarrow \\ 12 + 3 = \underline{15} \end{array}$$

③ こたえは 15 です。

これも おなじです。



$$5 + (7 + 3)$$

① まず、かっこのなかをけいさんします。

$$7 + 3 = \underline{10}$$

② つぎに、 $5 + 10$ をけいさんします。

$$\begin{array}{r} \text{-----} \\ \downarrow \\ 5 + \underline{10} = 15 \end{array}$$

③ こたえは 15 です。

けいさんの じゅんじょ をいみましょう。

まず、なにを しますか。つぎに なにを、しますか。

(1) $(8 + 9) + 4$

- ① まず、() のなかを けいさんします。
- ② つぎに、 + を けいさんします。
- ③ こたえは です。

(2) $8 + (9 + 4)$

- ① まず、 を けいさんします。
- ② つぎに、 + を けいさんします。
- ③ こたえは です。

(3) $(6 + 9) + 2$

- ① まず、 を けいさんします。
- ② つぎに、 + を けいさんします。
- ③ こたえは です。

(4) $6 + (9 + 2)$

- ①
- ②
- ③ こたえは です。

3

どっちのほうがかんたんですか。

$$\boxed{(6 + 8) + 2} \Leftrightarrow \boxed{6 + (8 + 2)}$$

\downarrow \downarrow
 14 + 2
 \downarrow
 16

\downarrow \downarrow
 6 + 10
 \downarrow
 16



こっこのほうがかんたんです。



4

どっちのほうがかんたんですか。

① $(8 + 3) + 7 \Leftrightarrow 8 + (3 + 7)$

② $(5 + 5) + 9 \Leftrightarrow 5 + (5 + 9)$

③ $(9 + 4) + 6 \Leftrightarrow 9 + (4 + 6)$

④ $(6 + 4) + 8 \Leftrightarrow 6 + (4 + 8)$

⑤ $(7 + 8) + 12 \Leftrightarrow 7 + (8 + 12)$

⑥ $(6 + 14) + 18 \Leftrightarrow 6 + (14 + 18)$

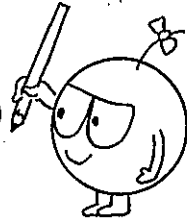
5

どこに () をつけると かんたんですか。

$$4 + 9 + 1$$



$$4 + (9 + 1)$$



ここに () をつけると
かんたんです。



6

どこに () をつけると かんたんですか。

① $8 + 8 + 2$

② $4 + 9 + 1$

③ $5 + 15 + 7$

④ $9 + 14 + 6$

⑤ $14 + 18 + 12$

⑥ $14 + 16 + 19$



7

あかいかみが 14まい、しろいかみが 22まい、
くろいかみが 18まい あります。ぜんぶで なんまい
ありますか。



指導ポイント&ヒント

26課 100えんを10えんに

【内容】(3位数)－(2位数)で百の位で繰り下がりのある計算

【表現】[]を[]にかえる。／ ～したらいい。／ ひけないから

【指導ポイント&ヒント】

- ・ 引き算の「最難関」場面、(3位数)－(2位数)で百の位で繰り下がりのある計算を学ぶ単元です。すでに(2位数)－(1位数)で繰り下がりのある計算を学習していますが、それができても多くの子どもがここでつまづきます。
- ・ そこで、子ども達が理解しやすい「お金」の場面で説明を貫くことにしました。
- ・ 教科内容が難しいので日本語を易しくしたいところですが、そうはいかないのがこの単元の難しいところです。それは「他の易しい言葉」に置き換えられないからです。教科内容と日本語がダブルで難しいときにどうするか…先生の腕の見せ所です。
- ・ ここで頼りになるのが「図解」と「操作」です。テキストにあるような図で説明する。さらに、実際に百円・十円・一円硬貨を使って説明する。硬貨を子どもにも操作させて体で実感させる…といった手法を使い、じっくりゆっくり教えてください。
- ・ 操作をしながら・させながら、「～から～をとる。」「どうしたらいい?」「百円を十円10個にしたらいい。」という表現を繰り返し子どもの耳に入れるようにします。
- ・ 「□から□は引けないから、百の位から1繰り下げて」の文は分解せず、「ひとまとまりの表現」として覚えさせましょう。



26課
ようごとぶん

Unidad 26
Palabra y Frase

ようご	Palabra
とる	Tomar
ひけない	No es posible restar

ぶん	Frase
138えんから75えんをとる。	A 138 yenes le quito 75.
2から5はひけない。	No se le puede restar 5 a 2.

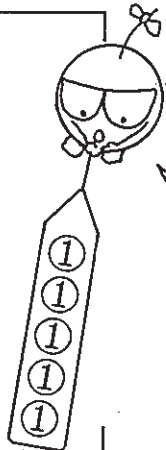
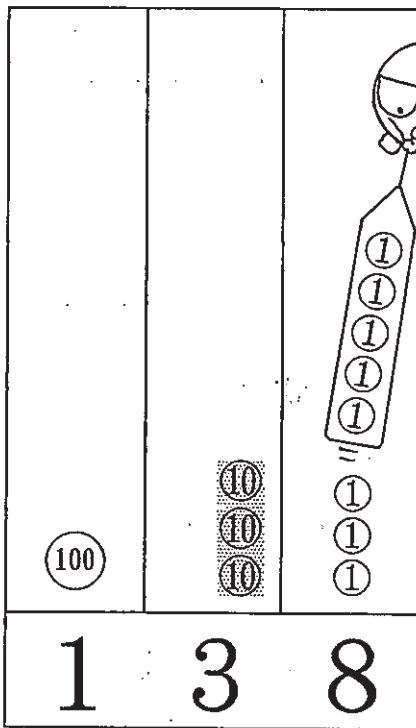
26

100えんを10えんに

(3位数) - (2位数) で百の位で繰り下がりがある減法の筆算

1

138えんから75えんをとると、いくらですか。



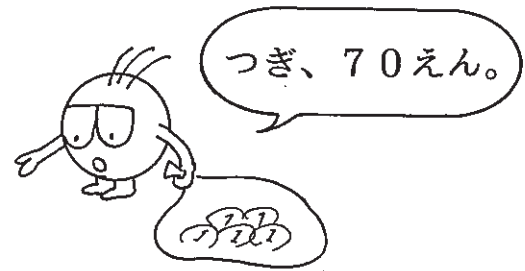
まず、8えんから
5えんをとる。



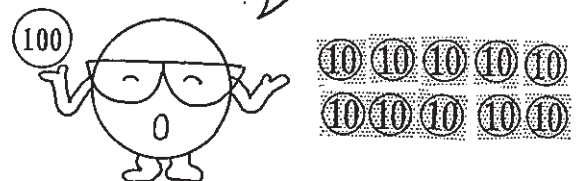
$$\begin{array}{r} 138 \\ - 75 \\ \hline 3 \end{array}$$

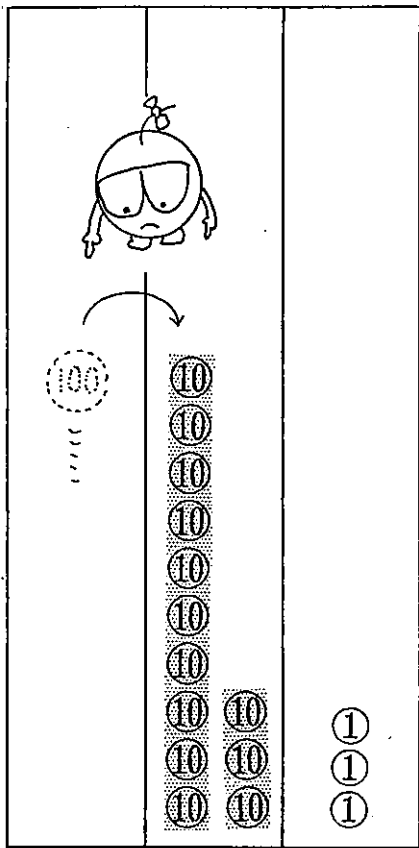


10えんは3こ。
どうしたらいいですか。

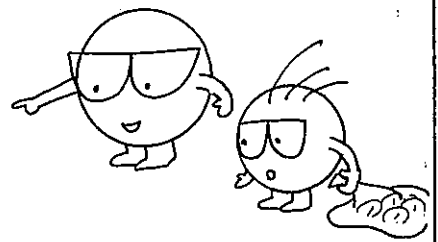


100えんを
10えん 10こに
かえたらいいよ。

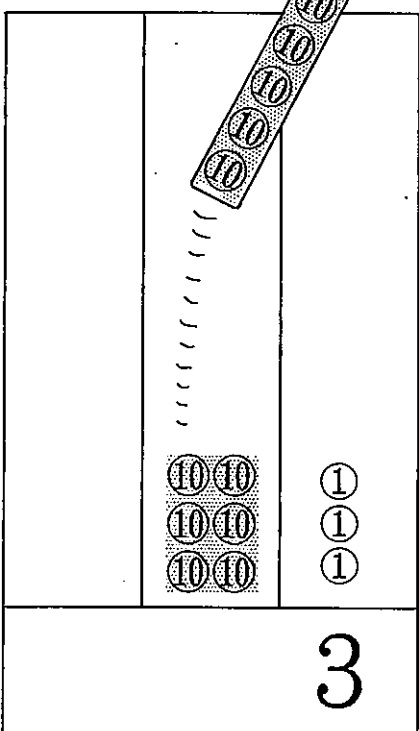




100えんを 10えん 10こに かえました。
10えんは せんぶで なんこ ですか。



$$\begin{array}{r} \square \\ \cancel{1}38 \\ - \quad 75 \\ \hline 3 \end{array}$$



13から 7をひくと いくつですか。

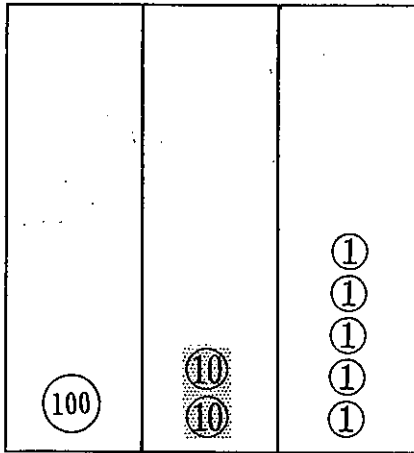


$$\begin{array}{r} 13 \\ \cancel{1}38 \\ - \quad 75 \\ \hline 3 \end{array}$$

138えんから 75えんをとると、63えんです。

2

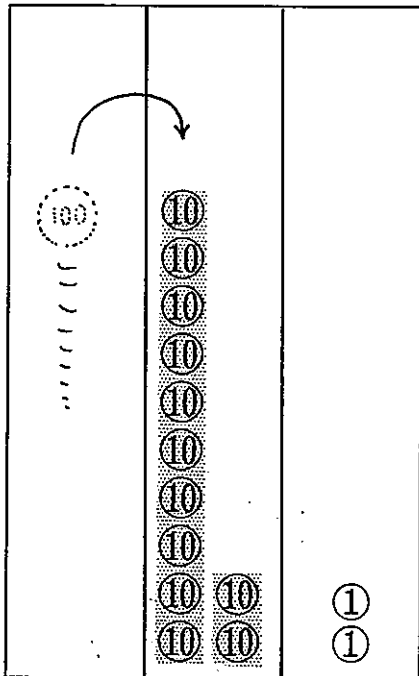
125 - 53 の けいさんをしましょう。



① 一のくらのけいさん

$$\square - \square = \square$$

$$\begin{array}{r} 125 \\ - 53 \\ \hline \end{array}$$

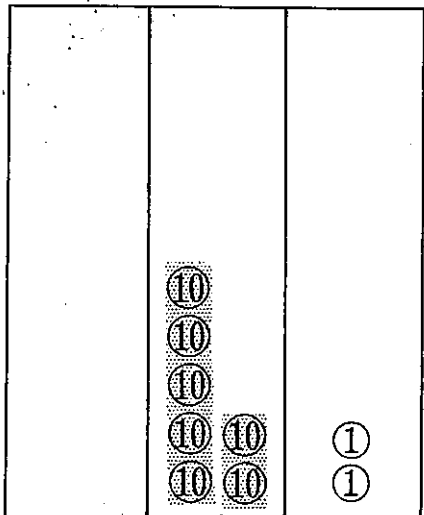


② 十のくらのけいさん

\square から \square はひけないから
百のくらいから

1くりさげて \square

$$\begin{array}{r} \cancel{1}25 \\ - 53 \\ \hline 2 \end{array}$$



③ $12 - \square = \square$

$$\begin{array}{r} \cancel{1}25 \\ - 53 \\ \hline 2 \end{array}$$

$$125 - 53 = \square$$

3

149 - 86 の けいさんをしましょう。

① 一のくらいの けいさん

$$\square - \square = \square$$

$$\begin{array}{r} 149 \\ - 86 \\ \hline \end{array}$$

② 十のくらいの けいさん

\square から \square はひけないから

百のくらいから 1 くりさげて \square

$$\begin{array}{r} 149 \\ - 86 \\ \hline 3 \end{array}$$

③ $\square - \square = \square$



4

つぎの けいさんをしましょう。

①
$$\begin{array}{r} 153 \\ - 72 \\ \hline \end{array}$$

②
$$\begin{array}{r} 125 \\ - 82 \\ \hline \end{array}$$

③
$$\begin{array}{r} 118 \\ - 61 \\ \hline \end{array}$$



指導ポイント&ヒント

27課 十のくらははいまいくつ

【内容】(3位数) — (2位数) で十の位でも百の位でも繰り下がりのある計算

【表現】[] の位から1繰り下げて

【指導ポイント&ヒント】

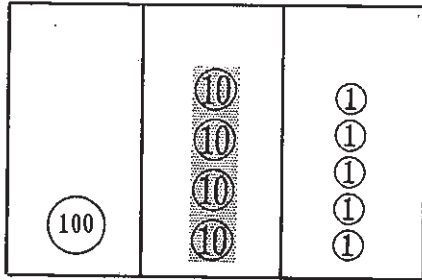
- ・ 十の位でも百の位でも繰り下げをしなくてはいけない場面の引き算です。まだまだ難路は続きます。ここでも説明に「お金」を利用して分かりやすくしました。
- ・ 2回繰り下がりがある場合は、1回引き算をしたときに、今、十の位がいくつなのかに注意を向けさせることが大切です。十の位から1繰り下げて一の位の計算をしたあと、十の位が今いくつになっているのかを意識できない子は、次の十の位の引き算の場面で、十の位が1小さくなっていることを忘れて計算をしてしまいます。口をすっぱくして「十の位は今いくつ？」と尋ねるようにしましょう。

27 十のくらはいはいまいくつ

(3位数) - (2位数) で十の位でも百の位でも繰り下がりがある計算

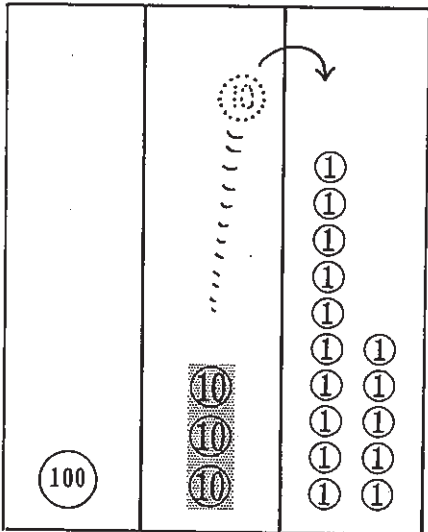
1

145 - 86 の けいさんをしましょう。



① 一のくらのけいさん

から はひけないから、



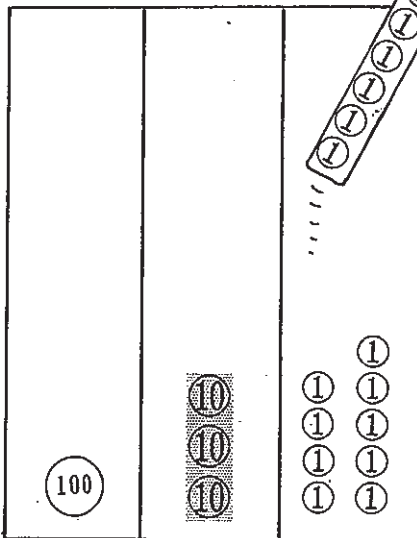
十のくらいから

1くりさげて 。

$$\begin{array}{r} 145 \\ - 86 \\ \hline \end{array}$$

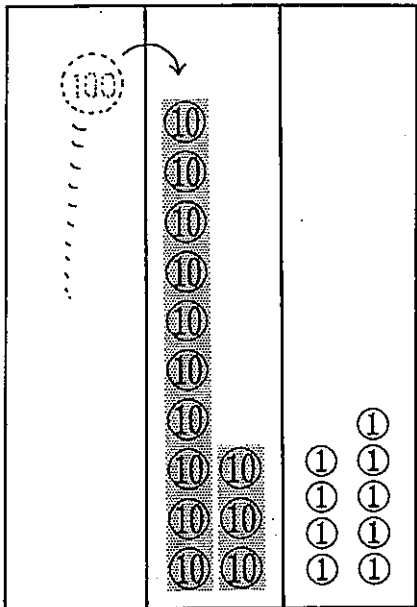
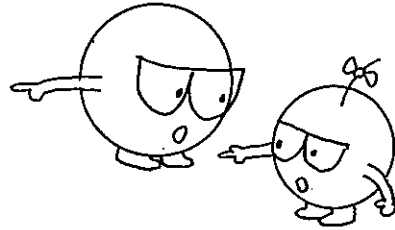
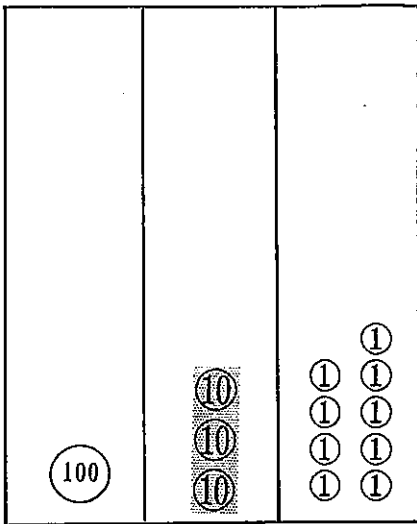


- =



② 十のくらのけいさん

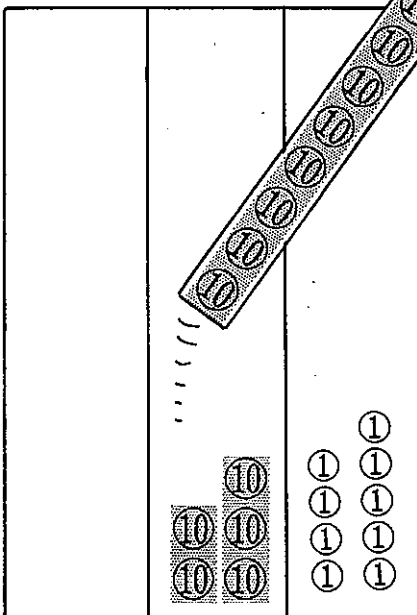
十のくらは いま いくつですか。



□ から □ は ひけないから、
百のくらいから
1 くりさげて □。



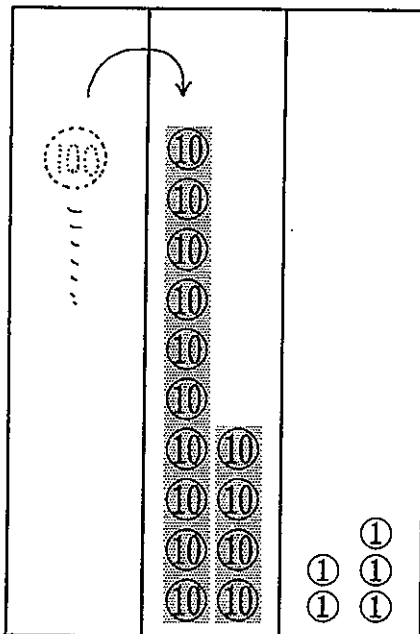
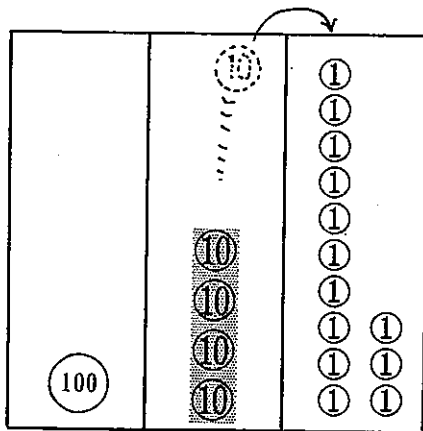
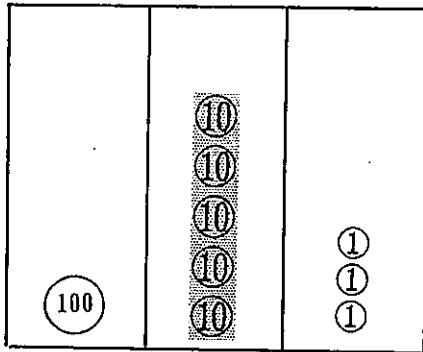
$$\begin{array}{r} \cancel{1}45 \\ - 86 \\ \hline 59 \end{array}$$



$$\square - \square = \square$$

$$145 - 86 = 59$$

153 - 78 の けいさんをしましょう。



① 一のくらのけいさん

□ から □ はひけないから、
十のくから

1くりさげて □。

$$\begin{array}{r} 153 \\ - 78 \\ \hline \end{array}$$

$$\square - \square = \square$$

② 十のくらのけいさん

十のくらはいま □。

□ から □ はひけないから、
百のくから

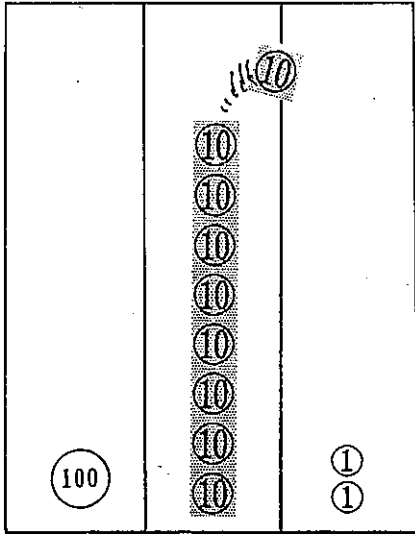
1くりさげて □。

$$\begin{array}{r} 153 \\ - 78 \\ \hline \end{array}$$

$$\square - \square = \square$$

$$153 - 78 = \square$$

192 - 97 の けいさんをしましょう。

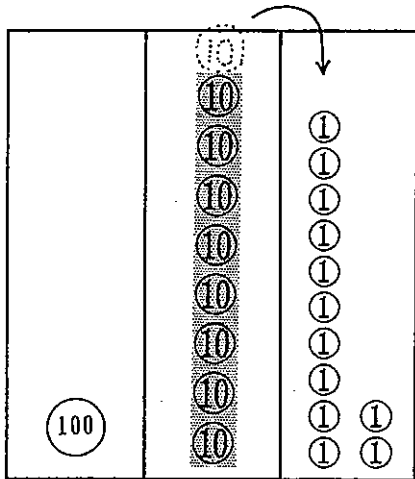


① 一のくらいのけいさん

□ から □ はひけないから、
十のくらいから
1くりさげて □ 。

$$\begin{array}{r} 192 \\ - 97 \\ \hline \end{array}$$

□ - □ = □



② 十のくらいのけいさん

十のくらいは いま □ 。

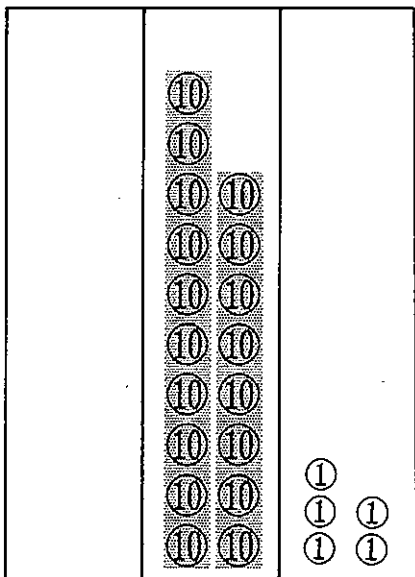
□ から □ はひけないから、

百のくらいから
1くりさげて □ 。

$$\begin{array}{r} 192 \\ - 97 \\ \hline 5 \end{array}$$

□ - □ = □

192 - 97 = □





指導ポイント&ヒント

28課 3けたのひきざん

【内容】(3位数) — (3位数) で繰り下がりのない計算・繰り下がりのある計算

【表現】あと [] すると 終わりますか。

【指導ポイント&ヒント】

- ・ 第27課が習得できていれば、引く数が3桁になっても計算方法自体は難しくありません。
- ・ しかし、場面設定とその場面に引き算を使うということを理解するのは少し難しいので、場面の理解と引き算の適用説明は丁寧に行いましょう。
- ・ 場面理解にはやはり図での説明が一番です。3桁の引き算場面では難しいと思われる子どもには、次のような予備学習を踏まえておきます。

10個の積み木を用意する。

6個並べてから「6個並べました。あと何個並べると終わりますか。」と尋ねます。見ただけで分かる子もいます。暗算でできる子もいるでしょう。

次に、見ただけでは、ちょっと暗算ではできない場面(たとえば15個の積み木で8個並べた場面)で尋ねます。

- ・ この課では3桁の筆算の方法に慣れさせることを第一にしています。そのため1から9の問題では、「しき」と「こたえ」を書かせていません。筆算の方法に慣れたころの10の問題でようやく「しき」と「こたえ」を書かせるようにしています。



28課
ようごとぶん

Unidad 28
Palabra y Frase

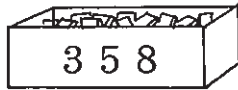
ようご	Palabra
3けた	Número de tres cifras (dígitos)

ぶん	Frase
3けたのひきざん	Sustracción de números de 3 dígitos

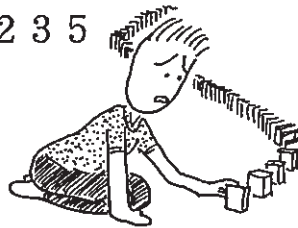
(3位数) - (3位数) で繰り下がりのない計算

1

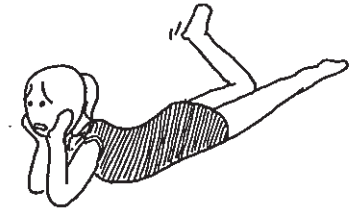
つみきを 358 こ ならべます。いままでに 235 こ ならべました。あと なんこ ならべると おわりますか。



- 235



あと なんこ?



358 - 235 の けいさんの しかた

● 一のくらい

● 十のくらい

● 百のくらい

$$\begin{array}{r} 35\boxed{8} \\ - 23\boxed{5} \\ \hline \quad \quad \boxed{3} \end{array}$$

8 - 5 ↑

⇒

$$\begin{array}{r} \boxed{3}58 \\ - 2\boxed{3}5 \\ \hline \quad \boxed{2}3 \end{array}$$

5 - 3 ↑

⇒

$$\begin{array}{r} \boxed{3}58 \\ - 2\boxed{3}5 \\ \hline \boxed{1}23 \end{array}$$

3 - 2 ↑



2

①

$$\begin{array}{r} 549 \\ - 326 \\ \hline \end{array}$$

②

$$\begin{array}{r} 983 \\ - 762 \\ \hline \end{array}$$

③

$$\begin{array}{r} 778 \\ - 543 \\ \hline \end{array}$$

3

673 - 438 の けいさんをしましょう。

● 一の位からのけいさん

- ① 3から8はひけないので、十の位から1くりさげて 。

$$\begin{array}{r} \textcircled{1} \\ \\ 6 \ 7 \ 3 \\ - 4 \ 3 \ 8 \\ \hline \ 5 \\ \textcircled{2} \end{array}$$

② - =

● 十の位からのけいさん

- ③ 1くりさげたので、十の位は 。

$$\begin{array}{r} \textcircled{3} \\ \\ 6 \ 7 \ 3 \\ - 4 \ 3 \ 8 \\ \hline \ 3 \ 5 \\ \textcircled{4} \end{array}$$

④ - =

● 百の位からのけいさん

⑤ - =

$$\begin{array}{r} \\ 6 \ 7 \ 3 \\ - 4 \ 3 \ 8 \\ \hline 2 \ 3 \ 5 \\ \textcircled{5} \end{array}$$



4

①

$$\begin{array}{r} 842 \\ - 427 \\ \hline \end{array}$$

②

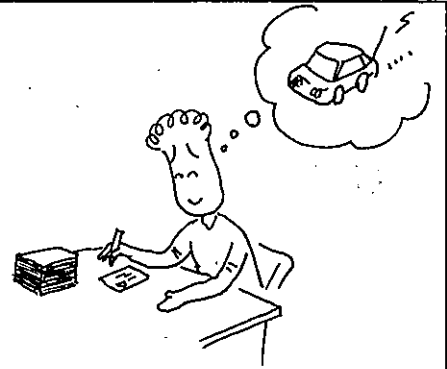
$$\begin{array}{r} 665 \\ - 148 \\ \hline \end{array}$$

③

$$\begin{array}{r} 754 \\ - 326 \\ \hline \end{array}$$

5

はがきを 746まい かきます。
いままでに 385まい かきました。
あとなんまい かくとおわりますか。



● 一のくらいのけいさん

① $\square - \square = \square$

● 十のくらいのけいさん

② \square から \square はひけない、
ので、百のくらいから
1くりさげて \square 。

③ $\square - \square = \square$

● 百のくらいのけいさん

④ 1くりさげたので、
百のくらいは \square 。

⑤ $\square - \square = \square$

$$\begin{array}{r} 746 \\ - 385 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 14 \\ \cancel{7}46 \\ - 385 \\ \hline 61 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 614 \\ \cancel{7}46 \\ - 385 \\ \hline 361 \end{array}$$



6

①

$$\begin{array}{r} 947 \\ - 385 \\ \hline \end{array}$$

②

$$\begin{array}{r} 825 \\ - 342 \\ \hline \end{array}$$

③

$$\begin{array}{r} 786 \\ - 496 \\ \hline \end{array}$$

7

337 - 188 の けいさんをしましょう。

● 一のくらいのけいさん

- ① から はひけないので、十のくらいから1くりさげて 。

$$\begin{array}{r}
 \textcircled{1} \\
 337 \\
 - 188 \\
 \hline
 9
 \end{array}$$

② - =

● 十のくらいのけいさん

- ③ 1くりさげたので、十のくらいは 。
- ④ から はひけないので、百のくらいから1くりさげて 。

$$\begin{array}{r}
 \textcircled{3} \\
 2 \quad 17 \\
 337 \\
 - 188 \\
 \hline
 9
 \end{array}$$

⑤ - =

$$\begin{array}{r}
 \textcircled{4} \\
 12 \quad 17 \\
 2 \quad 17 \\
 337 \\
 - 188 \\
 \hline
 49
 \end{array}$$

● 百のくらいのけいさん

- ⑥ 1くりさげたので、百のくらいは 。
- ⑦ - =

$$\begin{array}{r}
 \textcircled{6} \\
 12 \quad 17 \\
 2 \quad 17 \\
 337 \\
 - 188 \\
 \hline
 149
 \end{array}$$



8

①

$$\begin{array}{r} 937 \\ -489 \\ \hline \end{array}$$

②

$$\begin{array}{r} 822 \\ -347 \\ \hline \end{array}$$

③

$$\begin{array}{r} 736 \\ -468 \\ \hline \end{array}$$

④

$$\begin{array}{r} 836 \\ -568 \\ \hline \end{array}$$

⑤

$$\begin{array}{r} 587 \\ -398 \\ \hline \end{array}$$

⑥

$$\begin{array}{r} 614 \\ -346 \\ \hline \end{array}$$

9

(1) 百のくらいのひきざんのこたえが0になる もんだい

①

$$\begin{array}{r} 257 \\ -169 \\ \hline \end{array}$$

②

$$\begin{array}{r} 854 \\ -777 \\ \hline \end{array}$$

③

$$\begin{array}{r} 536 \\ -438 \\ \hline \end{array}$$

(2) 百のくらいのひきざんがない もんだい

①

$$\begin{array}{r} 682 \\ -97 \\ \hline \end{array}$$

②

$$\begin{array}{r} 333 \\ -34 \\ \hline \end{array}$$

③

$$\begin{array}{r} 154 \\ -58 \\ \hline \end{array}$$

10

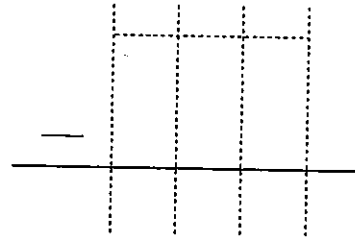
① かみが 467まい あります。

341まい つかいました。

のこりは なんまい ですか。

しき

こたえ



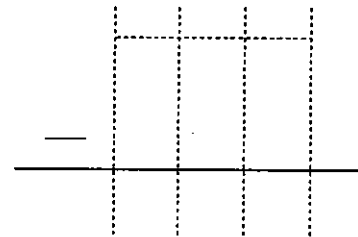
② 523ページの ほんが あります。

242ページ よみました。

のこりは なんページ ですか。

しき

こたえ



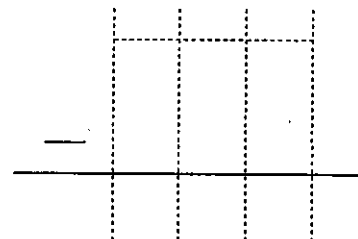
③ 836えん もっています。

568えん つかいました。

のこりは いくら ですか。

しき

こたえ





指導ポイント&ヒント

29課 0だからくり下げられない①

【内容】(3位数) — (2位数) で繰り下がりが波及する計算①

【表現】十の位は0だから繰り下げられない。

【指導ポイント&ヒント】

- ・ 十の位から繰り下げようとしたら、十の位が0のために繰り下げられず、百の位から繰り下げなければならない「 $405-38$ 」のようなケース。
- ・ ここでも「お金」に例え、図解するのがポイント。
- ・ 計算方法に慣れてきたら、「十の位は0だから繰り下げられない。」と「百の位から十の位に1繰り下げて」とを唱えながら計算させるようにする。ただし、あくまでも「計算に慣れてきて」から。



29課
ようごとぶん

Unidad 29
Palabra y Frase

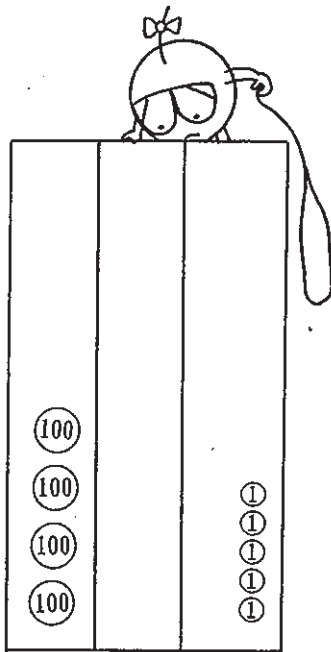
ようご	Palabra
0 だから	Porque es 0
まんが	Cómic, historieta
ものがたり	Historia, cuento

ぶん	Frase
十のくらいは 0 だから くりさげられない。	No se puede tomar prestado porque el valor de la columna de decenas es cero.
まんが	Cómic, historieta
ものがたり	Historia, cuento

(3位数) - (2位数) で繰り下がりが波及する計算

1

405えんから38えんとるといくらのこりですか。

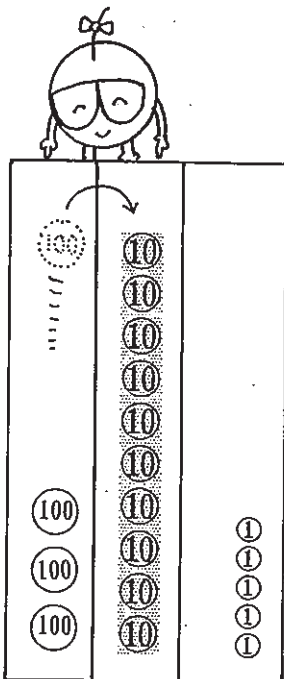


$$\begin{array}{r} 405 \\ - 38 \\ \hline \end{array}$$

① 一のくらいのけいさん

から はひけない。

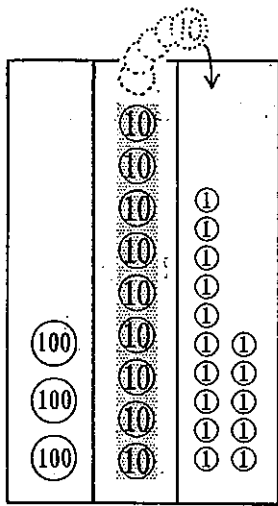
でも、十のくらいは0だから
くりさげられない。



② 百のくらいから十のくらいに

1くりさげて 。

$$\begin{array}{r} 10 \\ \swarrow \\ 405 \\ - 38 \\ \hline \end{array}$$



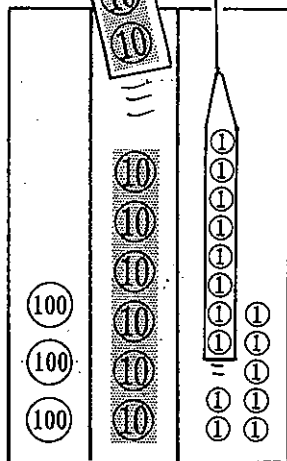
③ 十のくらいから一のくらいに
1くりさげて 。

$$\begin{array}{r} 3 \quad 10 \quad 15 \\ \cancel{4} \quad \cancel{0} \quad \cancel{5} \\ - \quad 3 \quad 8 \\ \hline \end{array}$$



④ 一のくらいのけいさん

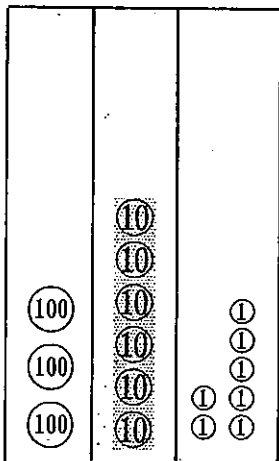
$$\square - \square = \square$$



$$\begin{array}{r} 9 \\ 3 \quad 10 \quad 15 \\ \cancel{4} \quad \cancel{0} \quad \cancel{5} \\ - \quad 3 \quad 8 \\ \hline \quad \quad 7 \end{array}$$

⑤ 十のくらいのけいさん

$$\square - \square = \square$$



$$\begin{array}{r} 9 \\ 3 \quad 10 \quad 15 \\ \cancel{4} \quad \cancel{0} \quad \cancel{5} \\ - \quad 3 \quad 8 \\ \hline \quad 6 \quad 7 \end{array}$$

⑥ 百のくらいの3をおろす。

$$\begin{array}{r} 9 \\ \textcircled{3} \quad 10 \quad 15 \\ \cancel{4} \quad \cancel{0} \quad \cancel{5} \\ - \quad \downarrow \quad 3 \quad 8 \\ \hline 3 \quad 6 \quad 7 \end{array}$$

2

405 - 38 の けいさんのしかたをいみましょう。

① から はひけない。

② でも、十のくらはいは 0 だから
くりさげられない。

$$\begin{array}{r} \textcircled{2} \textcircled{1} \\ 405 \\ - 38 \\ \hline \end{array}$$

③ 百のくらしから 十のくらしに
1 くりさげると

百のくらしは 。

④ 十のくらしは 。

$$\begin{array}{r} \textcircled{3} \textcircled{4} \\ 310 \\ \cancel{4}05 \\ - 38 \\ \hline \end{array}$$

⑤ 十のくらしから 一のくらしに
1 くりさげると

十のくらしは 。

⑥ 一のくらしは 。

$$\begin{array}{r} \textcircled{5} \textcircled{6} \\ 31015 \\ \cancel{4}05 \\ - 38 \\ \hline \end{array}$$

⑦ 一のくらしのけいさん。

$$\square - \square = \square$$

⑧ 十のくらしのけいさん。

$$\square - \square = \square$$

$$\begin{array}{r} \textcircled{9} \\ 31015 \\ \cancel{4}05 \\ - 38 \\ \hline 67 \\ \textcircled{8} \textcircled{7} \end{array}$$

⑨ 百のくらしには 3 が
のこっているので
3 をおろす。

$$\begin{array}{r} \textcircled{9} \\ 31015 \\ \cancel{4}05 \\ - 38 \\ \hline 367 \\ \textcircled{9} \end{array}$$

205 - 67 の けいさんのしかたをいみましょう。

① から はひけない。

② でも、十のくらはいは 0 だから
くりさげられない。

$$\begin{array}{r} \textcircled{2} \textcircled{1} \\ 205 \\ - 67 \\ \hline \end{array}$$

③ 百のくらいから 十のくらいに
1 くりさげると
百のくらいは 。

④ 十のくらいは

$$\begin{array}{r} \textcircled{3} \textcircled{4} \\ 110 \\ \cancel{2}05 \\ - 67 \\ \hline \end{array}$$

⑤ 十のくらいから 一のくらいに
1 くりさげると

十のくらいは 。

⑥ 一のくらいは 。

$$\begin{array}{r} \textcircled{5} \textcircled{6} \\ 9 \\ 11015 \\ \cancel{2}05 \\ - 67 \\ \hline \end{array}$$

⑦ 一のくらいのけいさん。

$$\square - \square = \square$$

⑧ 十のくらいのけいさん。

$$\square - \square = \square$$

$$\begin{array}{r} 9 \\ 11015 \\ \cancel{2}05 \\ - 67 \\ \hline 38 \\ \textcircled{8} \textcircled{7} \end{array}$$

⑨ 百のくらいには が

のこっているので

をかく。

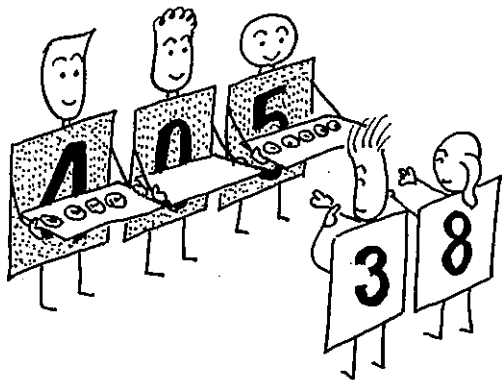
$$\begin{array}{r} 9 \\ 11015 \\ \cancel{2}05 \\ - 67 \\ \hline 138 \\ \textcircled{9} \end{array}$$

まんが くりさげものがたり

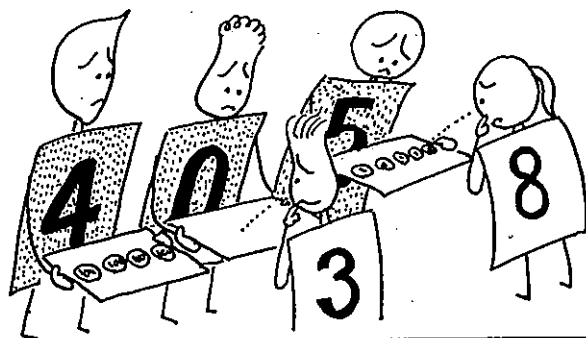
(3位数) - (2位数) で繰り下がりが波及する計算の言い方

6

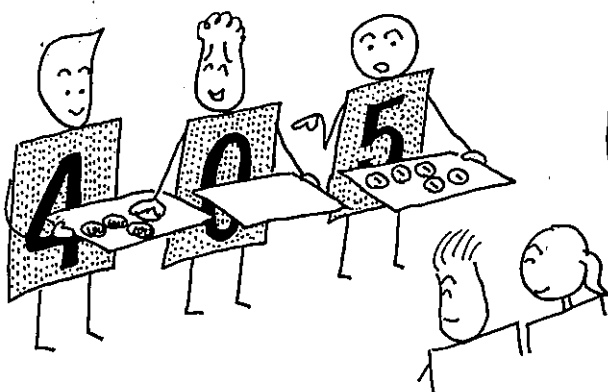
$$405 - 38$$



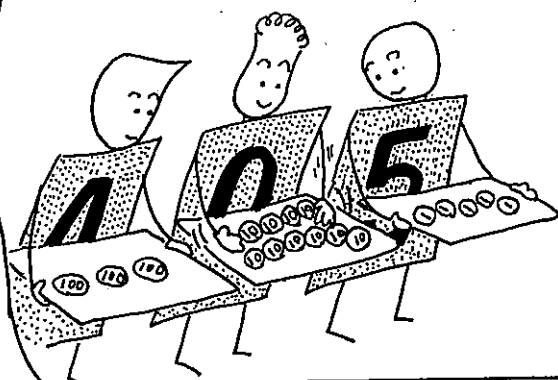
- ① 5は8よりちいさい。
0は3よりちいさい。



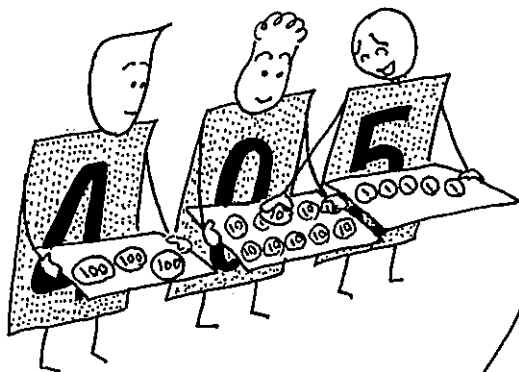
- ② 十のくらはいは0だから
百のくらいからかりる。



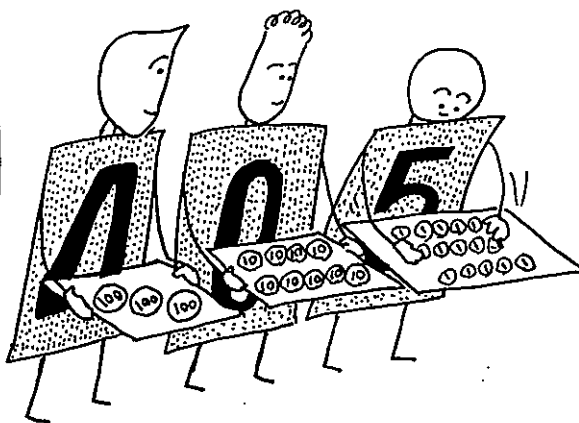
- ③ 100えんを
10えんにかえる。



- ④ 十のくらいから
1こかりる。

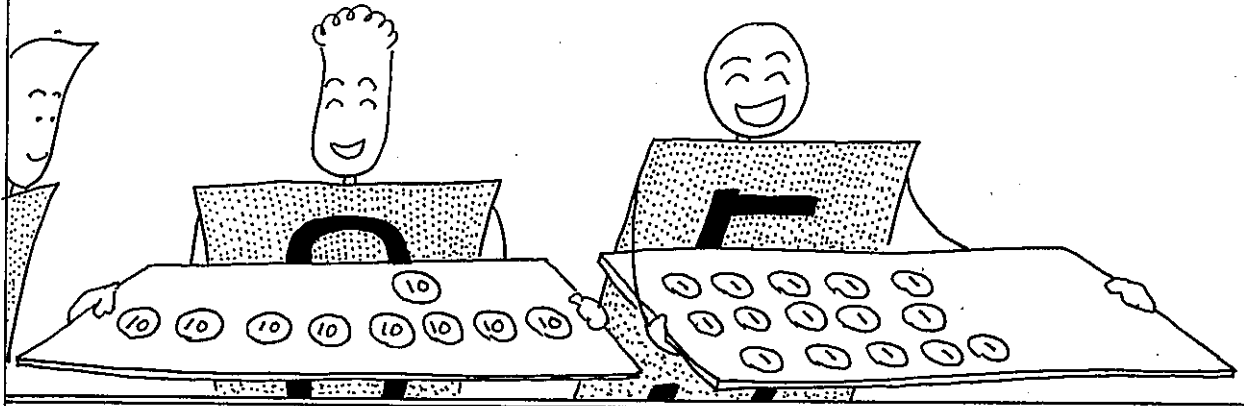


- ⑤ 10えんを
1えんにかえる。



⑥ 十のくらはいは 9。

一のくらはいは 15。

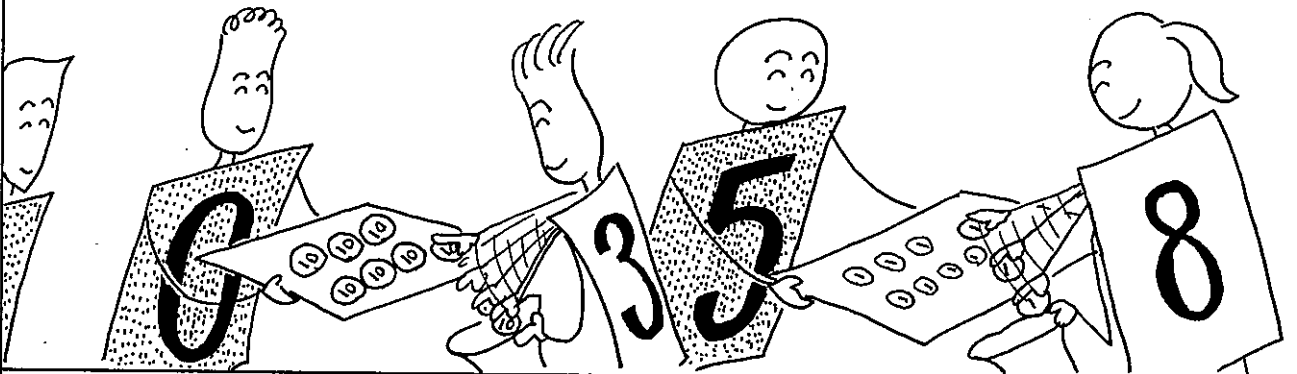


⑦ 十のくらのいのけいさん

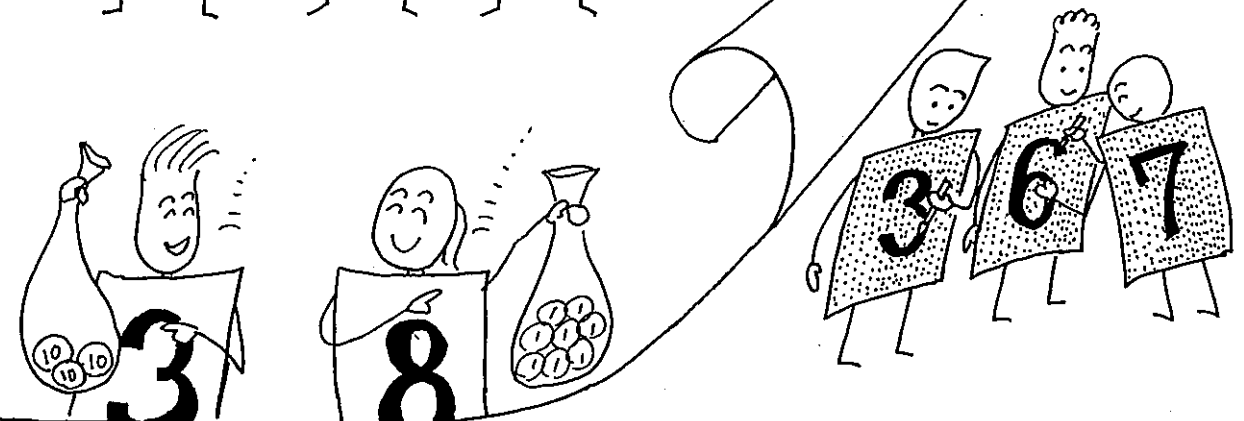
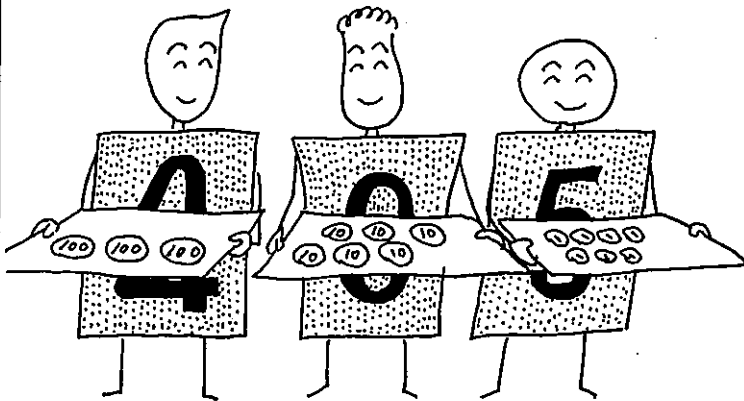
一のくらのいのけいさん

9 - 3

15 - 8



⑧ のこりは 3 6 7。





指導ポイント&ヒント

30課 0だからくり上げられない②

【内容】(3位数) — (2位数) で繰り下がりが波及する計算②

【表現】[] の位から [] の位に1繰り下げると、[] の位は []。

【指導ポイント&ヒント】

- ・ 百の位から繰り下げたら、百の位が0になった場合、引く数も引かれる数も0の場合の計算、何百から3位数を引く計算(700-189のようなケース)を採り上げました。
- ・ 理屈(計算方法)は第29課と同じですが、残念ながら1つの理屈が分かれば次の理屈も分かるとはいかないところが「子どもの学習」の大変なところ。これは日本語学習で「文型積み上げ」式指導がしにくいと同じです。1つずつ学習していくと、あるとき、今まで学習してきたことが突然つながりだすようです。
- ・ この課ぐらい計算が複雑になってくると、日本語も複雑になってきます。しかし、何度も繰り返し練習をしていると、ひとつのリズム、または「絵描き歌」ならぬ「数解き歌」に聞こえるようになってきます。そうなればしめたもの。計算力がぐんと伸びてきます。



30課
ようごとぶん

Unidad 30
Palabra y Frase

ようご	Palabra
これでおわり	Así termina

ぶん	Frase
これでおわり	Así termina

百の位が0になる場合

1

103 - 47のけいさんのしかたをいみましょう。

① から はひけない。

② でも、十のくらはいは0だから
くりさげられない。

③ 百のくらいから 十のくらいに
1くりさげると
百のくらはい 。

④ 十のくらはい 。

⑤ 十のくらいから 一のくらいに
1くりさげると
十のくらはい 。

⑥ 一のくらはい 。

⑦ 一のくらのけいさん。

$$\square - \square = \square$$

⑧ 十のくらのけいさん。

$$\square - \square = \square$$

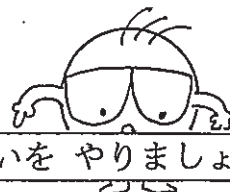
⑨ 百のくらはい0なので
これでおわり。

$$\begin{array}{r} \textcircled{2} \textcircled{1} \\ 103 \\ - 47 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} \textcircled{3} \textcircled{4} \\ 010 \\ \cancel{1}03 \\ - 47 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} \textcircled{5} \textcircled{6} \\ 01013 \\ \cancel{1}03 \\ - 47 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 9 \\ 01013 \\ \cancel{1}03 \\ - 47 \\ \hline 56 \\ \textcircled{8} \textcircled{7} \end{array}$$



④ の もんだいを やりましょう。

806 - 609 の けいさんのしかたをいみましょう。

① から はひけない。

② でも、十のくらはいは0だから
くりさげられない。

③ 百のくらいから 十のくらいに
1くりさげると

百のくらはいは 。

④ 十のくらはいは 。

⑤ 十のくらいから 一のくらいに
1くりさげると

十のくらはいは 。

⑥ 一のくらはいは 。

⑦ 一のくらのけいさん。

$$\square - \square = \square$$

⑧ 十のくらのけいさん。

$$\square - \square = \square$$

⑨ 百のくらのけいさん。

$$\square - \square = \square$$

$$\begin{array}{r} \textcircled{2} \textcircled{1} \\ 806 \\ - 609 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} \textcircled{3} \textcircled{4} \\ 7 \textcircled{1} 0 \\ 8 \textcircled{0} 6 \\ - 609 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} \textcircled{5} \textcircled{6} \\ 7 \textcircled{9} \textcircled{1} 6 \\ 8 \textcircled{0} 6 \\ - 609 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} \textcircled{9} \\ 7 \textcircled{1} \textcircled{9} \textcircled{1} 6 \\ 8 \textcircled{0} 6 \\ - 609 \\ \hline 197 \\ \textcircled{9} \textcircled{8} \textcircled{7} \end{array}$$



⑤ の もんだいを
やりましょう。

3

700 - 567 の けいさんのしかたをいみましょう。

① から はひけない。

② でも、十のくらはいは0だから
くりさげられない。

$$\begin{array}{r} \textcircled{2} \textcircled{1} \\ 700 \\ - 567 \\ \hline \end{array}$$

③ 百のくらいから 十のくらいに
1くりさげると

百のくらいは 。

④ 十のくらいは 。

$$\begin{array}{r} \textcircled{3} \textcircled{4} \\ 610 \\ 700 \\ - 567 \\ \hline \end{array}$$

⑤ 十のくらいから 一のくらいに
1くりさげると

十のくらいは 。

⑥ 一のくらいは 。

$$\begin{array}{r} \textcircled{5} \textcircled{6} \\ 910 \\ 610 \\ 700 \\ - 567 \\ \hline \end{array}$$

⑦ 一のくらいのけいさん。

$$\square - \square = \square$$

⑧ 十のくらいのけいさん。

$$\square - \square = \square$$

⑨ 百のくらいのけいさん。

$$\square - \square = \square$$

$$\begin{array}{r} \textcircled{9} \\ 610 \\ 700 \\ - 567 \\ \hline 133 \\ \textcircled{9} \textcircled{8} \textcircled{7} \end{array}$$



⑥ ⑦ の もんだいを やりましょう。

4

①

$$\begin{array}{r}
 \begin{array}{c} 9 \\ 0 \ 10 \ 12 \end{array} \\
 \begin{array}{r} 102 \\ - 47 \\ \hline 5 \end{array} \\
 \begin{array}{c} \uparrow \quad \uparrow \\ 9-4 \quad 12-7 \end{array}
 \end{array}$$

②

$$\begin{array}{r}
 \begin{array}{c} 9 \\ 0 \ 10 \ 17 \end{array} \\
 \begin{array}{r} 107 \\ - 78 \\ \hline \end{array}
 \end{array}$$

③

$$\begin{array}{r}
 \begin{array}{c} 9 \\ 101 \end{array} \\
 \begin{array}{r} 101 \\ - 92 \\ \hline \end{array}
 \end{array}$$

5

①

$$\begin{array}{r}
 \begin{array}{c} 9 \\ 6 \ 10 \ 14 \end{array} \\
 \begin{array}{r} 704 \\ - 306 \\ \hline \end{array} \\
 \begin{array}{c} 6-3 \rightarrow \quad \quad \quad \leftarrow 14-6 \\ \uparrow 9-0 \end{array}
 \end{array}$$

②

$$\begin{array}{r}
 \begin{array}{c} 9 \\ 5 \ 10 \ 17 \end{array} \\
 \begin{array}{r} 607 \\ - 208 \\ \hline \end{array}
 \end{array}$$

③

$$\begin{array}{r}
 \begin{array}{c} 9 \\ 808 \end{array} \\
 \begin{array}{r} 808 \\ - 609 \\ \hline \end{array}
 \end{array}$$

6

①

$$\begin{array}{r}
 \begin{array}{c} 9 \\ 3 \ 10 \ 10 \end{array} \\
 \begin{array}{r} 400 \\ - 276 \\ \hline \end{array} \\
 \begin{array}{c} 3-2 \rightarrow \quad \quad \quad \leftarrow 10-6 \\ \uparrow 9-7 \end{array}
 \end{array}$$

②

$$\begin{array}{r}
 \begin{array}{c} 9 \\ 4 \ 10 \ 10 \end{array} \\
 \begin{array}{r} 500 \\ - 308 \\ \hline \end{array}
 \end{array}$$

③

$$\begin{array}{r}
 \begin{array}{c} 9 \\ 600 \end{array} \\
 \begin{array}{r} 600 \\ - 58 \\ \hline \end{array}
 \end{array}$$

7

100えんもっています。7えんつかいました。
 いくらのこっていますか。



指導ポイント&ヒント

3 1 課 4 けたのたしざん・ひきざん

【内容】(3 位数) + (3 位数) で和が 4 位数になる計算
(4 位数) - (3 位数) で繰り下がりのある計算

【表現】[] から [] は引けないから、[] の位から 1 繰り下げて [] の位は []。

【指導ポイント&ヒント】

- ・ (3 位数) + (3 位数) で和が 4 位数になる計算ですが、繰り上がりのないケース (それぞれの位で足し算をすればよい) なのでさほど難しくありません。(1、2)
- ・ 次の繰り下がりのある計算は複雑なのでゆっくり取り組ませましょう。まず、千の位だけで繰り下がりが発生する簡単な引き算から始めます。この段階でしっかり繰り下がりの復習をさせます。(3、4)
- ・ 次に、千の位と十の位の 2 箇所でも繰り下がりが発生する引き算をします。百の位でも繰り下がらないようにしたのは、2 回続けて繰り下がりがあると難しいからです。(5、6)
- ・ 最後に、千・百・十、全ての位でも繰り下がりが発生する計算に挑戦させる仕組みになっています。(7、8)
- ・ この課も、声に出しながら計算をするようにします。
- ・ このテキストでは練習問題が少ないので学校の教科書を使って補充してください。



31課
ようごとぶん

Unidad 31
Palabra y Frase

ようご	Palabra
4けた	Número de cuatro cifras (dígitos)

ぶん	Frase
4けたのたしざん・ひきざん	Adición y sustracción con números de 4 cifras (dígitos)



31

4けたの たしざん・ひきざん

(3位数) + (3位数) で和が4位数になる計算

1

745 + 423 の けいさんの しかたを いいましょう。

① 一のくらの けいさん

$$\square + \square = \square$$

$$\begin{array}{r} \textcircled{1} \\ 745 \\ + 423 \\ \hline 8 \end{array}$$

② 十のくらの けいさん

$$\square + \square = \square$$

$$\begin{array}{r} \textcircled{2} \\ 745 \\ + 423 \\ \hline 68 \end{array}$$

③ 百のくらの けいさん

$$\square + \square = \square$$

$$\begin{array}{r} \textcircled{3} \\ 745 \\ + 423 \\ \hline 1168 \end{array}$$

2

つぎの けいさんを しましょう。

①

$$\begin{array}{r} 537 \\ + 642 \\ \hline \end{array}$$

②

$$\begin{array}{r} 426 \\ + 843 \\ \hline \end{array}$$

③

$$\begin{array}{r} 638 \\ + 741 \\ \hline \end{array}$$

3

1376 - 734 のけいさんのしかたをいみましょう。

① 一のくらいのけいさん

$$\square - \square = \square$$

$$\begin{array}{r} 1376 \\ - 734 \\ \hline 42 \end{array}$$

② ①

② 十のくらいのけいさん

$$\square - \square = \square$$

$$\begin{array}{r} 013 \\ 1376 \\ - 734 \\ \hline 42 \end{array}$$

③ 百のくらいのけいさん

\square から \square はひけないから
千のくらいから 1 くりさげて
百のくらいは \square 。

$$\begin{array}{r} 013 \\ 1376 \\ - 734 \\ \hline 642 \end{array}$$

④

④ $\square - \square = \square$

4

つぎのけいさんをしましょう。

①

$$\begin{array}{r} 014 \\ 1487 \\ - 635 \\ \hline \end{array}$$

②

$$\begin{array}{r} 1756 \\ - 843 \\ \hline \end{array}$$

③

$$\begin{array}{r} 1352 \\ - 531 \\ \hline \end{array}$$

5

1654 - 735 のけいさんのしかたをいみましょう。

① 一のくらいのけいさん

□ から □ はひけないから
十のくらいから 1 くりさげて
一のくらいは □。

$$\begin{array}{r} \textcircled{1} \\ 16\cancel{5}4 \\ - 735 \\ \hline 9 \end{array}$$

② □ - □ = □

$$\begin{array}{r} 16\cancel{5}4 \\ - 735 \\ \hline 19 \end{array} \textcircled{2}$$

③ 十のくらいのけいさん

□ - □ = □
↑ 5 ではありません。

$$\begin{array}{r} \textcircled{3} \\ 016\cancel{4}14 \\ \times 1\cancel{6}54 \\ - 735 \\ \hline 19 \end{array}$$

④ 百のくらいのけいさん

□ から □ はひけないから
千のくらいから 1 くりさげて
百のくらいは □。

$$\begin{array}{r} \textcircled{4} \\ 016\cancel{4}14 \\ \times 1\cancel{6}54 \\ - 735 \\ \hline 919 \end{array} \textcircled{5}$$

⑤ □ - □ = □

6

つぎのけいさんをしましょう。

①

$$\begin{array}{r} 017215 \\ \times 1735 \\ - 817 \\ \hline \end{array}$$

②

$$\begin{array}{r} 1562 \\ - 843 \\ \hline \end{array}$$

③

$$\begin{array}{r} 1652 \\ - 934 \\ \hline \end{array}$$

1563 - 678 のけいさんのしかたをいみましょう。

① 一のくらのけいさん

から はひけないから

十のくらから 1 くりさげて

一のくらは 。

$$\begin{array}{r} \textcircled{1} \\ 15\cancel{6}3 \\ - \quad 678 \\ \hline 5 \end{array}$$

② - =

③ 十のくらのけいさん

から はひけないから

↑ 6 ではありません。

百のくらから 1 くりさげて

十のくらは 。

④ - =

$$\begin{array}{r} \textcircled{3} \\ 15\cancel{6}3 \\ - \quad 678 \\ \hline 85 \end{array}$$

⑤ 百のくらのけいさん

から はひけないから

↑ 5 ではありません。

千のくらから 1 くりさげて

百のくらは 。

⑥ - =

$$\begin{array}{r} \textcircled{4} \\ 15\cancel{6}3 \\ - \quad 678 \\ \hline 85 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} \textcircled{5} \\ 014\cancel{5}13 \\ 1\cancel{5}\cancel{6}3 \\ - \quad 678 \\ \hline 85 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} \textcircled{6} \\ 014\cancel{5}13 \\ 1\cancel{5}\cancel{6}3 \\ - \quad 678 \\ \hline 885 \end{array}$$

1374 - 578 のけいさんのしかたをいみましょう。

① 一のくらのけいさん

□ から □ はひけないから
十のくから 1 くりさげて
一のくらは □。

$$\begin{array}{r} \textcircled{1} \\ 13\cancel{7}4 \\ - 578 \\ \hline 6 \end{array}$$

② □ - □ = □

③ 十のくらのけいさん

□ から □ はひけないから
百のくから 1 くりさげて
十のくらは □。

$$\begin{array}{r} \textcircled{3} \\ 1\cancel{3}74 \\ - 578 \\ \hline 6 \end{array}$$

④ □ - □ = □

⑤ 百のくらのけいさん

□ から □ はひけないから
千のくから 1 くりさげて
百のくらは □。

$$\begin{array}{r} \textcircled{4} \\ 1\cancel{3}74 \\ - 578 \\ \hline 96 \end{array}$$

⑥ □ - □ = □

$$\begin{array}{r} \textcircled{5} \\ 0\cancel{1}374 \\ - 578 \\ \hline 96 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} \textcircled{6} \\ 0\cancel{1}2\cancel{1}6 \\ - 578 \\ \hline 796 \end{array}$$



指導ポイント&ヒント

32課 まちがしやすい ひきざん ①

【内容】1000 から 3 位数を引く計算で 3 回連続繰り下がりが発生する引き算

【表現】千の位から 1 繰り下げると、千の位は [] で、百の位は []。

【指導ポイント&ヒント】

- ・ 1 つ上の位から繰り下げようとしても、そこが 0 のため繰り下げられず、さらにもう 1 つ上の位から繰り下げなくてはならないケースの計算です。

(例 1000-435)

一の位から計算を始めなくてはいけないのに、千の位から百の位へ、さらに百の位から十の位へと繰り下げなくてはならないところが複雑な点です。そこで、お金にたとえて図解することで理解を容易にしました。図で分からない子どもには実際にお金を使って説明するとよいでしょう。

- ・ 位を間違えないように、それぞれの位に縦線を引いておくとよいでしょう。
- ・ 繰り下げてきた 1 が、下の位では 10 となり、その 10 がさらに 1 繰り下げられると 9 になるという場面がポイントです。その場面ではゆっくりはっきり話しながら計算の仕方を見せましょう。
- ・ 日本語としては、「～すると、～。」の文型ですが、後半の「～。」の部分が「～で～。」という形になるので、子どもには覚えにくいようです。(例：1 繰り下げると、千の位は 0 で百の位は 10) この場合、「1 繰り下げると、」を子どもに言わせ、後半部分は「千の位は？」「で、百の位は？」と先生の方から問いかけ、子どもに「1」「10」のように答えさせて慣れさせるとよいでしょう。

$$\begin{array}{r} 1000 \\ - 435 \\ \hline \end{array}$$



32課
ようごとぶん

Unidad 32
Palabra y Frase

ようご	Palabra
まちがいやすい	Fácil de confundir (equivocarse)
ひきざん	Resta, sustracción

ぶん	Frase
まちがいやすい ひきざん	Errores comunes en la sustracción

32 まちがいやすいひきざん ①

1000から3位数を引く3連続繰り下りの減法

1

1000 - 435 のけいさんのしかたをいみましょう。

① 一のくらのけいさん

□ から □ はひけない。

② でも、十のくらは 0 だから

くりさげられない。

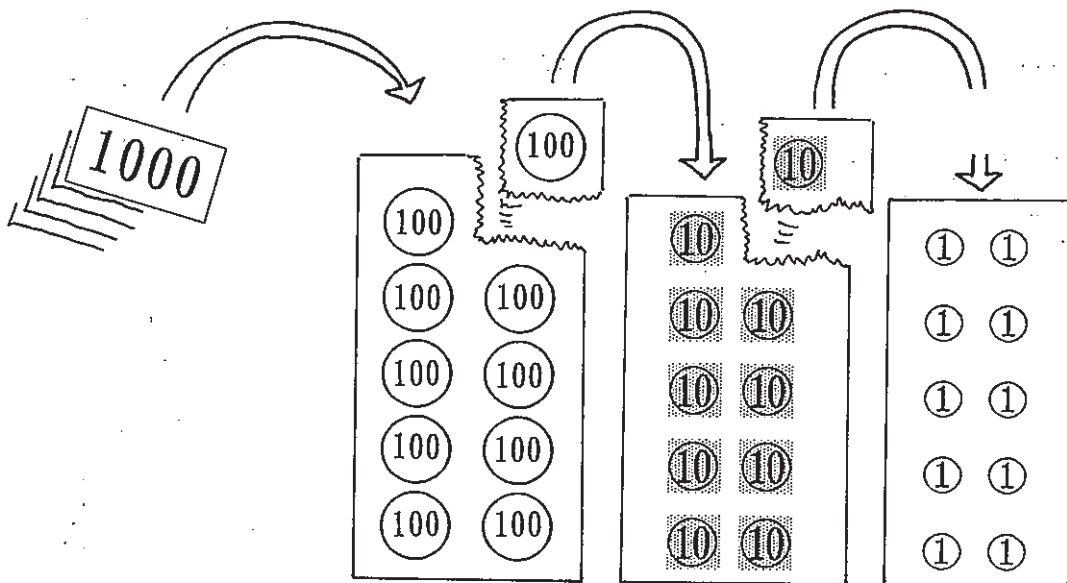
④	③	②	①
1	0	0	0
-	4	3	5

③ 百のくらしも 0 だから

くりさげられない。

④ 千のくらは □ だから

くりさげられる。



⑤ 千のくらいから 1 くりさげると

千のくらいは で、

百のくらいは 。

$$\begin{array}{r} \textcircled{5} \\ 0 \quad 10 \\ \cancel{1}000 \\ - \quad 435 \\ \hline \end{array}$$

⑥ 百のくらいから 1 くりさげると

百のくらいは で、

十のくらいは 。

$$\begin{array}{r} \textcircled{6} \\ 0 \quad 9 \quad 10 \\ \cancel{1}000 \\ - \quad 435 \\ \hline \end{array}$$

⑦ 十のくらいから 1 くりさげると

十のくらいは で、

一のくらいは 。

$$\begin{array}{r} \textcircled{7} \\ 0 \quad 9 \quad 10 \\ \cancel{1}000 \\ - \quad 435 \\ \hline \end{array}$$

⑧ 一のくらいの けいさん

$$\square - \square = \square$$

⑨ 十のくらいの けいさん

$$\square - \square = \square$$

⑩ 百のくらいの けいさん

$$\square - \square = \square$$

$$\begin{array}{r} \textcircled{8} \\ 0 \quad 9 \quad 10 \\ \cancel{1}000 \\ - \quad 435 \\ \hline 565 \\ \textcircled{8} \quad \textcircled{9} \quad \textcircled{8} \end{array}$$



もういちど $1000 - 863$ でれんしゅうしましょう。

① 一のくらのけいさん

から はひけない。

② でも、十のくらは 0 だから

くりさげられない。

$$\begin{array}{r} \textcircled{4} \quad \textcircled{3} \quad \textcircled{2} \quad \textcircled{1} \\ 1000 \\ - \quad 863 \\ \hline \end{array}$$

③ 百のくらしも 0 だから

くりさげられない。

④ 千のくらは だから

くりさげられる。

⑤ 千のくらしから 1 くりさげると

千のくらしは で、

百のくらしは 。

$$\begin{array}{r} \textcircled{5} \\ 0 \quad 10 \\ \cancel{1}000 \\ - \quad 863 \\ \hline \end{array}$$

⑥ 百のくらしから 1 くりさげると

百のくらしは で、

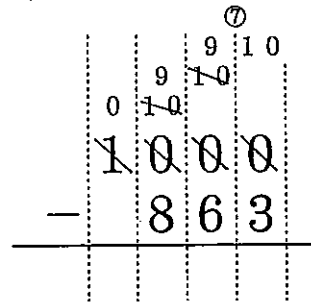
十のくらしは 。

$$\begin{array}{r} \textcircled{6} \\ 0 \quad 9 \quad 10 \\ \cancel{1}000 \\ - \quad 863 \\ \hline \end{array}$$

⑦ 十のくらいから 1 くりさげると

十のくらいは で、

一のくらいは 。



⑧ 一のくらいのけいさん

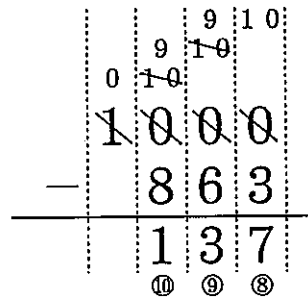
$$\square - \square = \square$$

⑨ 十のくらいのけいさん

$$\square - \square = \square$$

⑩ 百のくらいのけいさん

$$\square - \square = \square$$



3

つぎのけいさんをしましょう。

①

$$\begin{array}{r} 1000 \\ - 652 \\ \hline \end{array}$$

②

$$\begin{array}{r} 1000 \\ - 524 \\ \hline \end{array}$$

③

$$\begin{array}{r} 1000 \\ - 497 \\ \hline \end{array}$$

④

$$\begin{array}{r} 1000 \\ - 738 \\ \hline \end{array}$$

⑤

$$\begin{array}{r} 1000 \\ - 586 \\ \hline \end{array}$$

⑥

$$\begin{array}{r} 1000 \\ - 999 \\ \hline \end{array}$$



指導ポイント&ヒント

33課 まちがいやすい ひきざん ②

【内容】繰り下げたあとが0になり、さらに繰り下げなくてはいけない引き算

【表現】[]の位から1繰り下げると、[]の位は[]で、[]の位は[]。

【指導ポイント&ヒント】

- ・ 1010－115のように、十の位を繰り下げたら十の位が0になってしまうケースの引き算です。十の位が0になったことを忘れて計算を続ける子どもがいるので注意してください。
- ・ 十の位が0になったことを忘れさせないためにも、しっかり「十の位は0で一の位は10と唱えさせましょう。声に出して確認させることが大切です。



33 まちがいやすいひきざん ②

繰り下げたあと数が0になり、さらに上位数より繰り下げなければならない場合

1

1010 - 115 の けいさんの しかたを いいましょう。

① 一のくらいの けいさん

□ から □ は ひけない。

$$\begin{array}{r} 1010 \\ - 115 \\ \hline \end{array}$$

② 十のくらいから 1 くりさげると

十のくらいは □ で、

一のくらいは □ 。

$$\begin{array}{r} 1010 \\ - 115 \\ \hline 5 \\ \textcircled{2} \end{array}$$

③ 一のくらいの けいさんをする。

$$\square - \square = \square$$

④ 十のくらいの けいさん

□ から □ は ひけない。

↑ 1 ではありません

$$\begin{array}{r} 1010 \\ - 115 \\ \hline 5 \\ \textcircled{4} \end{array}$$

でも、百のくらいは 0 だから

くりさげられない。

⑤ 千のくらいから 1 くりさげると

千のくらいは □ で、

百のくらいは □ 。

$$\begin{array}{r} 010010 \\ 1010 \\ - 115 \\ \hline 5 \\ \textcircled{5} \end{array}$$

⑥ 百のくらいから 1 くりさげると

百のくらいは で、

十のくらいは 。

$$\begin{array}{r}
 \textcircled{6} \\
 \begin{array}{r}
 0 \quad 9 \quad 10 \\
 \cancel{10} \quad \cancel{0} \quad 10 \\
 \hline
 1 \quad 1 \quad 5 \\
 \hline
 5
 \end{array}
 \end{array}$$

⑦ 十のくらいの けいさん

$$\square - \square = \square$$

$$\begin{array}{r}
 \begin{array}{r}
 0 \quad 9 \quad 10 \\
 \cancel{10} \quad \cancel{0} \quad 10 \\
 \hline
 1 \quad 1 \quad 5 \\
 \hline
 8 \quad 9 \quad 5 \\
 \textcircled{8} \quad \textcircled{9}
 \end{array}
 \end{array}$$

⑧ 百のくらいの けいさん

$$\square - \square = \square$$

2

ぶんをよみながら、つぎの けいさんをしましょう。

① 一のくらいの けいさん。0 から 7 は ひけない。

② 十のくらいから 1 くりさげると
十のくらいは 0 で、一のくらいは 10。

③ 一のくらいの けいさんをする。 $10 - 7 = 3$

④ 十のくらいの けいさん 0 から 1 はひけない。
でも、百のくらいは 0 だから くりさげられない。

⑤ 千のくらいから 1 くりさげると
千のくらいは 0 で、百のくらいは 10。

$$\begin{array}{r}
 \begin{array}{r}
 1 \quad 0 \quad 1 \quad 0 \\
 \hline
 1 \quad 1 \quad 7 \\
 \hline
 \textcircled{8} \quad \textcircled{7} \quad \textcircled{3}
 \end{array}
 \end{array}$$

⑥ 百のくらいから 1 くりさげると
百のくらいは 9 で、十のくらいは 10。

⑦ 十のくらいの けいさんをする。 $10 - 1 = 9$

⑧ 百のくらいの けいさんをする。 $9 - 1 = 8$

⑨ けいさんの こたえは 。

1101 - 115 のけいさんのしかたをいみましょう。

① 一のくらのけいさん

□ から □ はひけない。

② でも、十のくらは 0 だから

くりさげられない。

$$\begin{array}{r} \textcircled{2} \textcircled{1} \\ 1101 \\ - 115 \\ \hline \end{array}$$

③ 百のくらは □ だから

くりさげられる。

百のくらいから 1 くりさげると

百のくらは □ で、

十のくらは □。

$$\begin{array}{r} \textcircled{3} \\ 1101 \\ - 115 \\ \hline \end{array}$$

④ 十のくらいから 1 くりさげると

十のくらは □ で、

一のくらは □。

$$\begin{array}{r} \textcircled{4} \\ 1101 \\ - 115 \\ \hline \end{array}$$

⑤ 一のくらのけいさんをする。

$$\square - \square = \square$$

⑥ 十のくらのけいさんをする。

$$\square - \square = \square$$

$$\begin{array}{r} \textcircled{7} \textcircled{9} \textcircled{11} \\ 1101 \\ - 115 \\ \hline 86 \\ \textcircled{6} \textcircled{5} \end{array}$$

⑦ 百のくらは 1 くりさげたので 0。

0 から 1 はひけない。

⑧ 千のくらいから 1 くりさげると

千のくらいは で、

百のくらいは 。

⑨ 百のくらいの けいさんをする。

$$\square - \square = \square$$

$$\begin{array}{r} \textcircled{8} \\ \begin{array}{r} 0 \quad 10 \quad 9 \quad 11 \\ \quad 0 \quad 10 \\ \hline 1101 \\ - \quad 115 \\ \hline 986 \\ \textcircled{9} \end{array} \end{array}$$

4

ぶんをよみながら、つぎの けいさんをしましょう。

① 一のくらいの けいさん。

1 から 7 は ひけない。

② でも、十のくらいは 0 だから

くりさげられない。

③ 百のくらいは 1 だから

くりさげられる。

百のくらいから 1 くりさげると

百のくらいは 0 で、十のくらいは 10。

④ 十のくらいから 1 くりさげると

十のくらいは 9 で、一のくらいは 11。

⑤ 一のくらいの けいさんをする。 $11 - 7 = 4$

⑥ 十のくらいの けいさんをする。 $9 - 1 = 8$

⑦ 百のくらいは 1 くりさげたので 0。0 から 1 は ひけない。

⑧ 千のくらいから 1 くりさげると

千のくらいは 0 で、百のくらいは 10。

⑨ 百のくらいの けいさんをする。 $10 - 1 = 9$

⑩ けいさんの こたえは 。

$$\begin{array}{r} \begin{array}{r} 1 \quad 1 \quad 0 \quad 1 \\ \hline 1 \quad 1 \quad 7 \\ \hline \end{array} \\ \textcircled{9} \quad \textcircled{6} \quad \textcircled{5} \end{array}$$



指導ポイント&ヒント

34課 たしざん・ひきざんとず ①

【内容】合算場面を表すテープ図と加法 / 減少場面を表すテープ図と減法

【表現】[] を [] にしました。

【指導ポイント&ヒント】

- ・ 算数の時間では計算場面をテープ図にして考えることがよくあります。簡単な計算では図は必要ありませんが、複雑な問題は図に表すと分かりやすくなります。
- ・ この課では簡単な場面ですが、テープ図で考えることに慣れさせるためですので、「テープなんかなくても分かる」などと言わせないで、時間をかけて教えましょう。
- ・ テキストの図だけでなく、実際にテープを使って（テープを動かして）教えると効果的です。（例 「女の子が7人います。」と言って7の大きさを表すテープを黒板に貼り、「男の子が5人います。」と言って5の大きさを表すテープを7のテープにつなげる。）このように、図を見せるだけでなく、テープを操作する場面を見せることが大切です。
- ・ 「～を～にしました。」という言い方は、「この文を」と言って文を指さし、「図に」と言って図を指さしながら「しました。」と言うと分かります。ほかには、文と図を⇒で結ぶ方法もあります。



34課
ようごとぶん

Unidad 34
Palabra y Frase

ようご	Palabra
ず	Gráfico, figura

ぶん	Frase
このぶんをずにしました。	Representamos esta expresión con un diagrama.

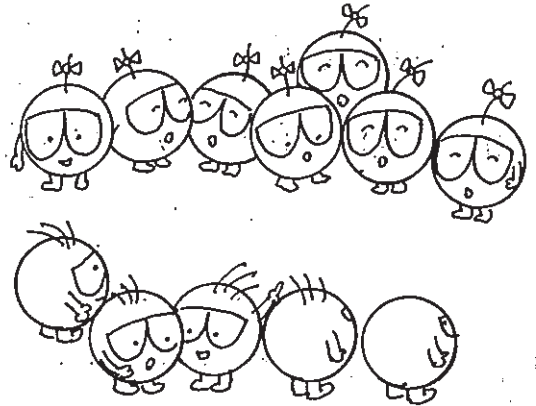
34

たしざん・ひきざんとず ①

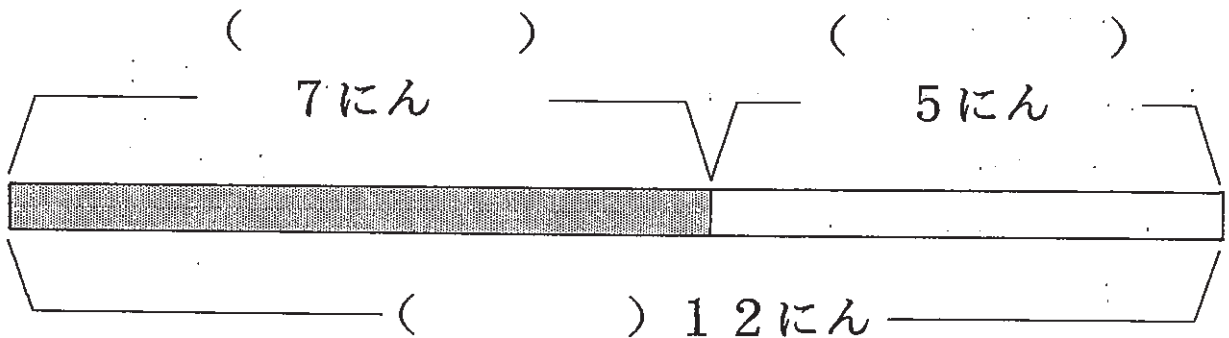
合算場面を表すテープ図の理解

1

おんなのこが 7 にん います。
 おとこのこが 5 にん います。
 ぜんぶで 12 にん います。



このぶんをず に しました。



① () に はいる ことばは どれですか。

おんなのこ

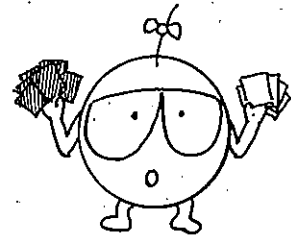
おとこのこ

ぜんぶで

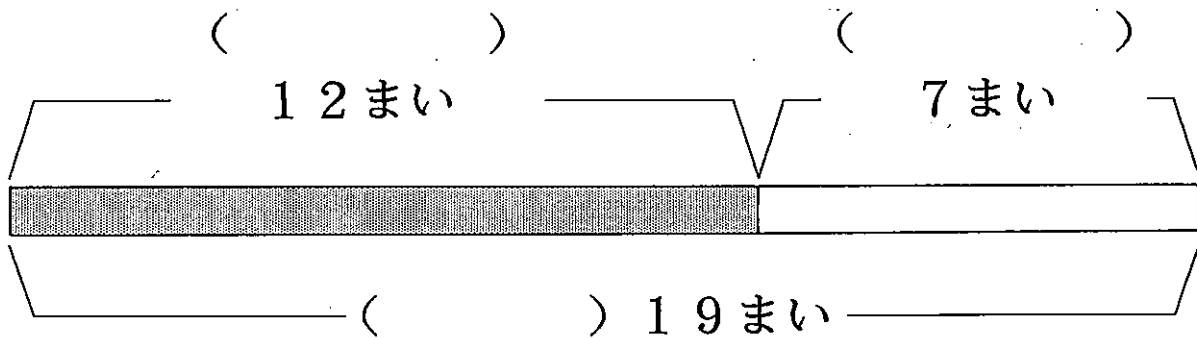
② このぶんを しきに しました。

$$7 + 5 = 12$$

くろいかみが 12まいあります。
 しろいかみが 7まいあります。
 ぜんぶで 19まいあります。



このぶんを ずに しました。

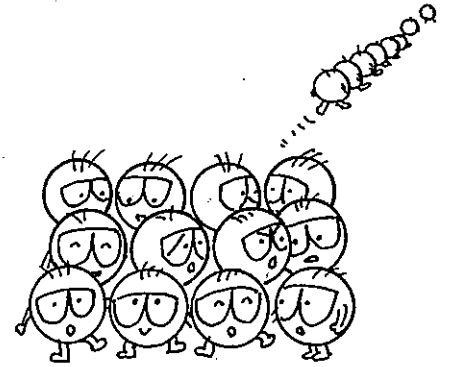


① () にはいる ことばをかきましょう。

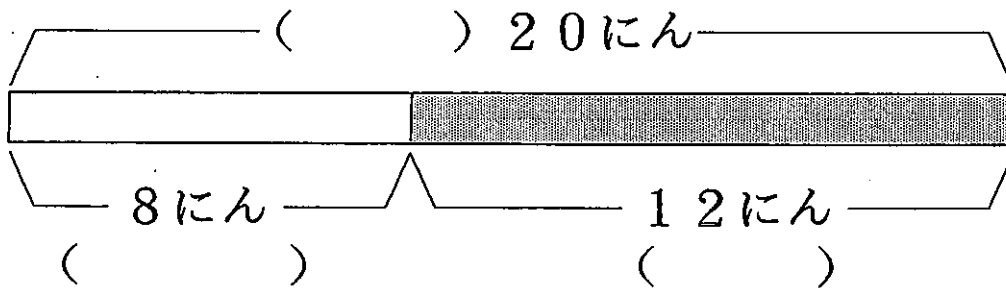
② このぶんをしきにしましょう。

3

はじめ、20にんいました。
8にんかえたので、
のこりは12にんになりました。



このぶんをずにしました。



① () にはいることばは どれですか。

はじめ

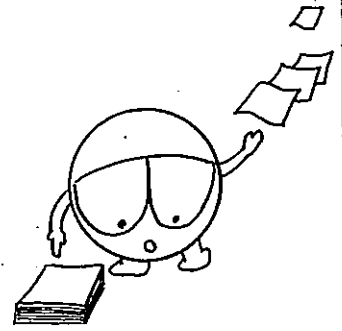
かえた

のこり

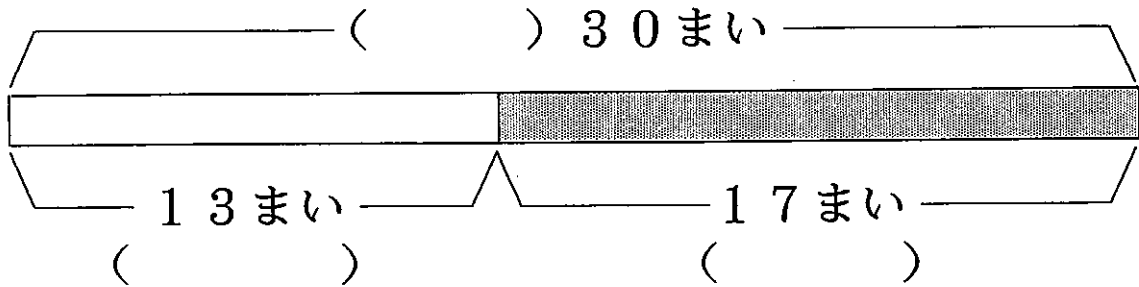
② このぶんをしきにしました。

はじめ	かえた	のこり	
20	-	8	=
		12	

はじめ、かみが 30まいありました。
 13まいつかったので
 のこりは 17まいになりました。



このぶんをずにしました。



① () にはいることばをかきましょう。

② このぶんをしきにしましょう。



指導ポイント&ヒント

35課 たしざん・ひきざんとず ②

【内容】(現在数) - (増加数) により元の数を求める計算

(現在数) + (減少数) により元の数を求める計算

【表現】何人かいる 何枚かある 何個かある

【指導ポイント&ヒント】

- ・ 初めに何人いたか分からないが、そこに5人来たので20人になったという事実から、初めにいた人数を求めるような場面を図で表して解く問題です。例えば、以下のような場面が想定されますが、日常生活ではあまりないので、考え方に慣れるのが大変です。
(例) 校庭に何人かの生徒と一人の先生がいて、そこに遠くの方から別の生徒が5人走ってやってきた。先生が数えてみたら生徒は全部で20人だった、という場面。
- ・ これこそテープ図の出番。「何人かいます。」と言って始めにいた人数を表すテープを貼ります。そして、「でも何人いるか分かりません。」と付け加えます。「そこに5人来ました。」と言って5人を表すテープを貼り、「そうしたら全部で20人になりました。」と言いながら2つのテープの合計に「20人」と書きます。このようにして、この問題の意味を理解させてからテキストの文章を読ませるとよいでしょう。
- ・ テキストの①と②では、順を追って問題場面を把握していかせるために「何人かいます。」という現在形で書き始めています。しかし、次に「5人来ました。」という完了形で書かれているので文法にこだわる外国籍の大人の場合は「何人かいる」のが「5人来た」結果なのかと混乱することがありますが、子どもの場合はあまりそのようなことにはこだわりません。
- ・ もし、こだわるような子がいたら、「子どもがいます。でも遠くて何人か分かりません。」と言い、そのあと間を置いて、「5人来ました。」と言うとよいでしょう。「何人かいる」という現在から、時がしばらくたったという演出をします。間を置いてから次の文章を読み始めるようにすると場面が区切られるので、現在形と過去形(厳密には完了形)が入り混じっているという感じがなくなるようです。
- ・ ③と④では、「りんごが何個もありました。」というように過去形で始め、「10個食べたので、のこりは20個になりました。」というように完了形で続け、「始めにりんごは何個あったのでしょうか。」という過去形で締めくくっています。文法的にはこちらの方がすっきりしていますが、「何個もありました」という過去の未知数をイメージするのは子どもには難しいようなので、このテキストでは「何個かあります。」という言い方で導入してあります。

(現在数) - (増えた数) により元の数を算出する減法

1

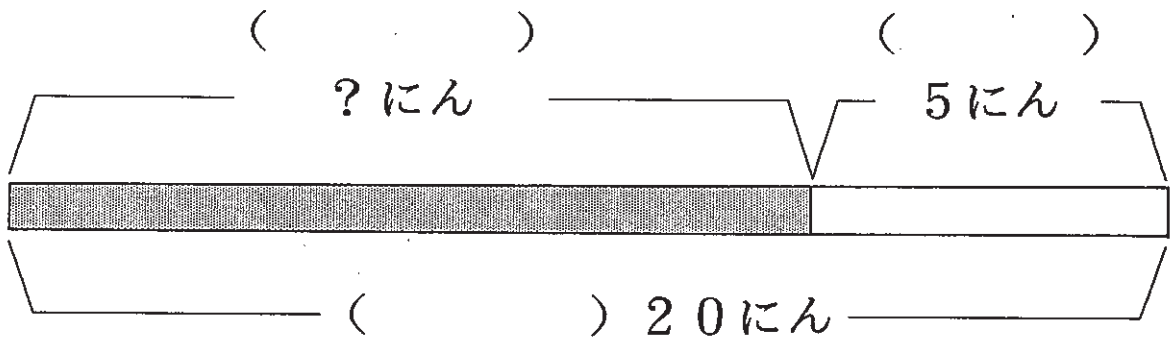
こどもがなんにんかいます。

*こどもがいます。でも、なんにんか わかりません。

5にんきたので、ぜんぶで20にんになりました。

はじめ、こどもはなんにんいたのでしょうか。

このぶんをずにしました。



① () にはいることばは どれですか。

はじめ

きた

ぜんぶで

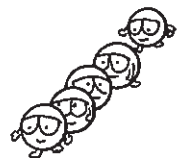
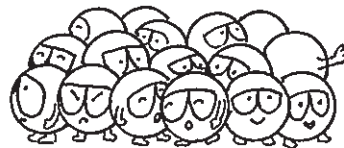
② にはいるかずを かきましょう。

ぜんぶで

きた

はじめ

$$\square - \square = \square$$



③ はじめ、こどもはなんにんいましたか。

かみがなんまいかあります。

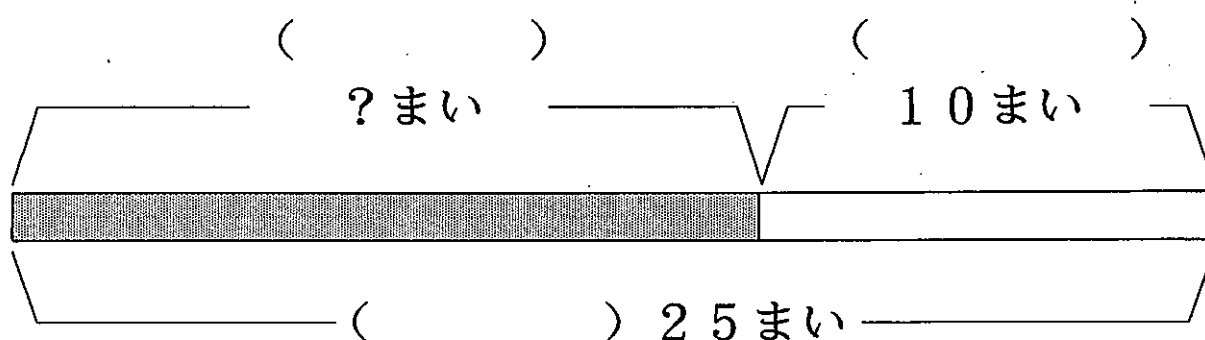
*かみがあります。でも、なんまいかわかりません。

あとで 10まい もらったので、

ぜんぶで 25まい になりました。

はじめ、かみはなんまい あったのでしょうか。

このぶんを ず に しました。



① () にはいることばは どれですか。

はじめ

もらった

ぜんぶで

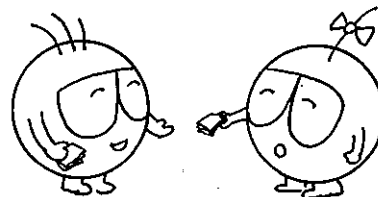
② にはいるかずを かきましょう。

ぜんぶで

もらった

はじめ

$$\boxed{} - \boxed{} = \boxed{}$$



③ はじめ、かみはなんまい あったのでしょうか。

3

りんごがなんこかありました。

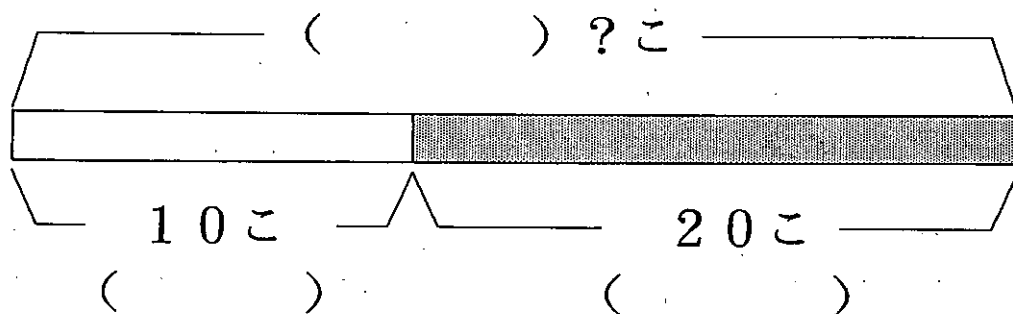
*りんごがありました。でも、なんこか わかりません。

10こ たべたので、

のこりは 20こ になりました。

はじめ、りんごはなんこ あったのでしょうか。

このぶんを ず に しました。



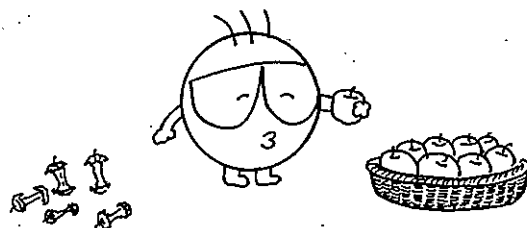
① () にはいる ことばは どれですか。

はじめ たべた のこり

② にはいる かずを かきましょう。

のこり たべた はじめ

$$\boxed{} + \boxed{} = \boxed{}$$



③ はじめ、りんごはなんこ あったのでしょうか。

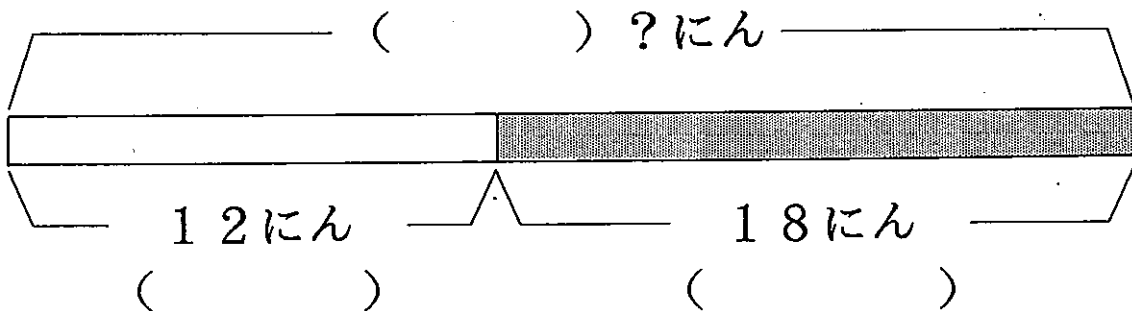
こどもがなんにんかいました。

12にんかえたので、

のこりは18にんになりました。

はじめ、こどもはなんにんいたのでしょうか。

このぶんをずいしました。



① () にはいることばをかきましょう。

② にはいるかずをかきましょう。

$$\begin{array}{ccccc}
 \text{のこり} & & \text{かえた} & & \text{はじめ} \\
 \square & + & \square & = & \square
 \end{array}$$

③ はじめ、こどもはなんにんいたのでしょうか。



指導ポイント&ヒント

36課 なんばんめ

【内容】 集合数 順序数

【表現】 [] から [] 人 / [] から [] 人目・番目・枚目

【指導ポイント&ヒント】

- ・ 「前から3人」というのは1番目の人から3番目の人までの3人の集合を指します。一方「前から3番目」というのは3番目の人だけで、順序を表す言い方です。
- ・ このように数は言い方によって集合を表したり、順序を表したりするということを学ぶ課です。足し算・引き算とは直接関係ありませんが、数を使って順序を表すのは生活場面で欠かせない知識です。
- ・ この課では「指でさす」ことで子どもの理解度を測るようになっています。「前から3人を指でさしてごらん」と言って3番目の人だけをさすか、1番目から3番目までの人をまとめてさすか確かめてください。
- ・ 順序を表す言い方では「N人目」を先に提示し、「N番目」を後から提示しています。それは「N人」と「N人目」の違いを「め」という言葉の違いで際立たせたかったからです。「人」の列で慣れたら動物で「番目」を扱い、次に紙で「枚目」を扱うようにしてあります。ほかにも「個目」や「台目」などの言い方もありますが、助数詞は子どもが苦手とする内容の一つなので、あまり多く扱わない方が無難でしょう。



36課
ようごとぶん

Unidad 36
Palabra y Frase

ようご	Palabra
なんばんめ／なんにんめ	¿Qué número? (pregunta para saber el orden)
まえ	Frente
3にんのひと	3 personas
うしろ	Atrás
4にんめのひと	La cuarta persona

ぶん	Frase
まえから なんばんめ／なんにんめのひとですか。	¿Qué número está ocupando la persona comenzando desde el frente?
まえから 3にんのひと	Es la tercera persona de adelante para atrás
うしろから 4にんめのひと	Es la cuarta persona de atrás para adelante

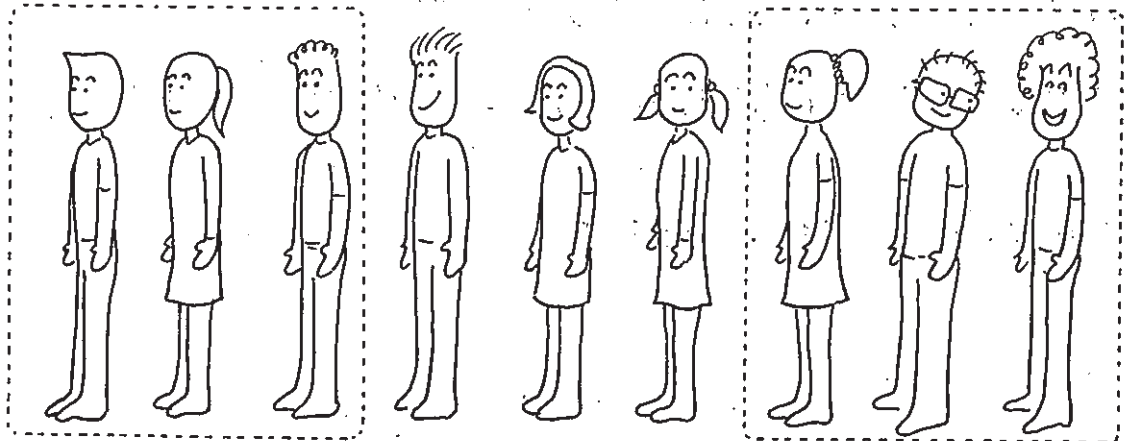
36 なんばんめ

集合数とその表現

1

← まえ

うしろ →



まえから 3にんのひと うしろから 3にんのひと

から にん

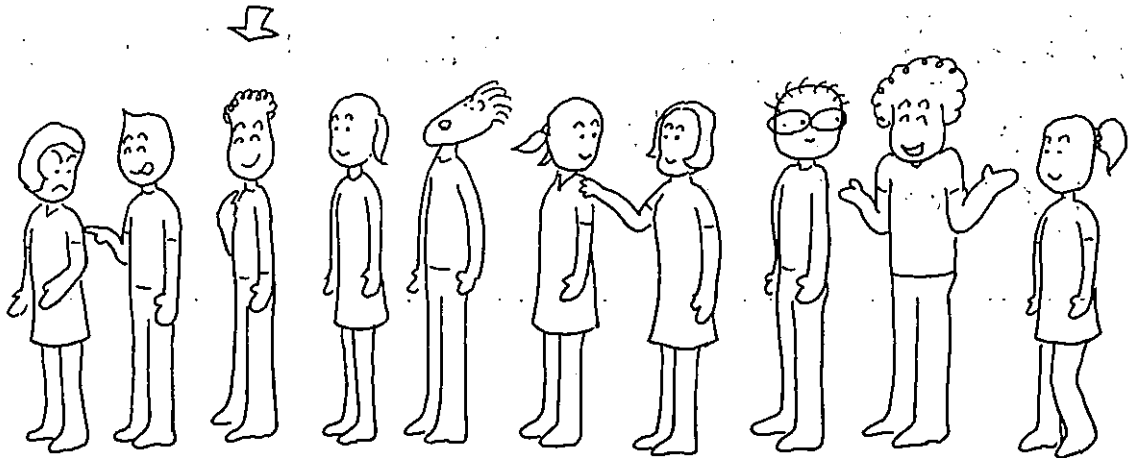


2

ゆびで さししょう。

- ① まえから 3にんのひと
- ② まえから 4にんのひと
- ③ まえから 5にんのひと
- ④ うしろから 3にんのひと
- ⑤ うしろから 4にんのひと
- ⑥ うしろから 5にんのひと

3



まえから 3 にんめのひと

から にんめ



4

ゆびで さししょう。

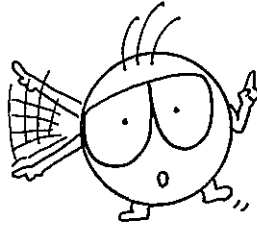
- ① まえから 4 にんのひと
- ② まえから 4 にんめのひと
- ③ まえから 5 にんのひと
- ④ まえから 5 にんめのひと
- ⑤ うしろから 3 にんのひと
- ⑥ うしろから 3 にんめのひと
- ⑦ うしろから 4 にんめのひと
- ⑧ うしろから 4 にんのひと

5

3にんめ



3ばんめ

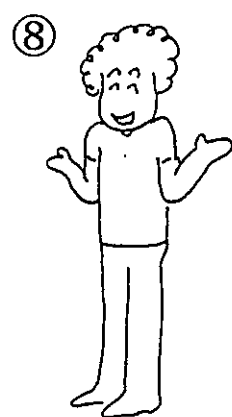
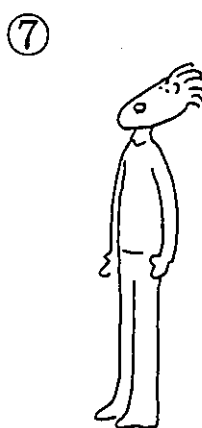
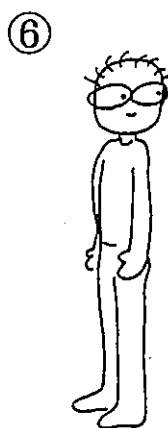
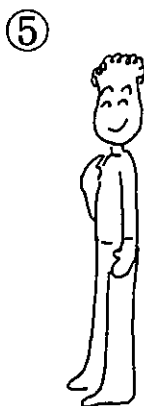
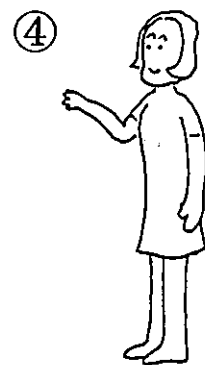
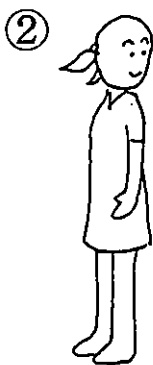
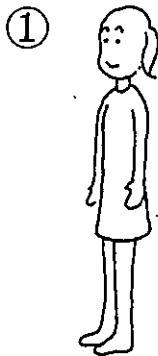


3ばんめ でもいいです。

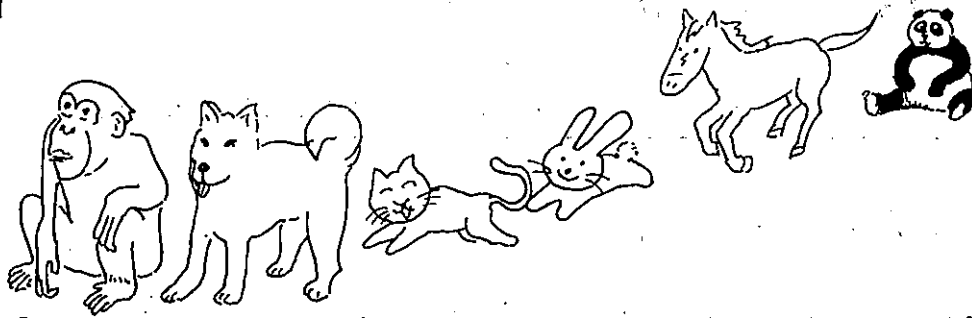


6

まえから なんばんめの ひとですか。3のえをみて
こたえましょう。

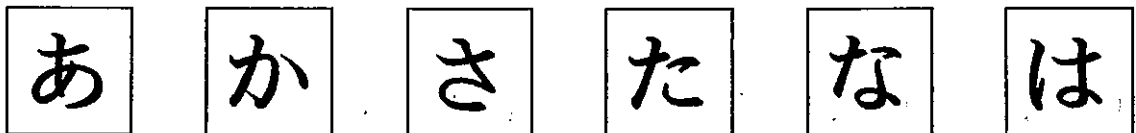


7



- ① まえから 2ばんめの どうぶつは ですか。
- ② まえから 4ばんめの どうぶつは ですか。
- ③ まえから 3ばんめの どうぶつは ですか。
- ④ うしろから 2ばんめの どうぶつは ですか。
- ⑤ うしろから 4ばんめの どうぶつは ですか。

8



- ① ひだりから 3まいめの カードは ですか。
- ② みぎから 2まいめの カードは ですか。
- ③ ひだりから 4まいめの カードは ですか。
- ④ みぎから 3まいめの カードは ですか。
- ⑤ みぎから 4まいめの カードは ですか。



指導ポイント&ヒント

37課 まえには 5にん

【内容】前後の順番や数量を基に全体の数量を求める方法

【表現】前には [] 人 / 後ろには [] 人 / [] を使って考えましょう

【指導ポイント&ヒント】

- ・ 列の中で自分が前から何番目なのか、後ろから何番目なのかが分かれば全部で何人並んでいるかが分かります。この課では順序数から全体量を求める考え方を学びます。順序数から人数・個数などの「数量」を求められることを学びます。
- ・ ポイントは「前からN番目」と言ったとき、自分の前には「 $N-1$ 」人いる。同じように「後ろからN番目」と言ったら、自分の後ろに「 $N-1$ 」人いることです。
- ・ たとえば、「前から5番目、後ろから6番目」なら、自分の前に4人、後ろに5人。自分と合わせて $4+5+1$ で10人並んでいることになります。
- ・ しかし、これでは大変ですので、なるべく問題文に出てくる数字だけを使い、「 $5+6-1$ 」という計算式で解けることを課の後半で学びます。この「 -1 」という部分が自分を2回数えるので1回分引くのだということに注意を向けさせてください。



37課
ようごとぶん

Unidad 37
Palabra y Frase

ようご	Palabra
いろ	Color
ぬりましょう。	Coloreemos

ぶん	Frase
いろをぬりましょう。	Vamos a colorear.

37 まえには 5 にん

前からの順番と後ろからの順番を基に全体の数量を求める方法

1

こどもが ならんでいます。
わたしは まえから 5ばんめです。



← まえ

うしろ →



- ① まえから 5ばんめに いろを ぬりましょう。
- ② わたしの まえには なんにん いますか。
- ③ わたしは うしろから なんばんめ ですか。
- ④ わたしの うしろには なんにん いますか。
- ⑤ みんなで なんにん ならんでいますか。

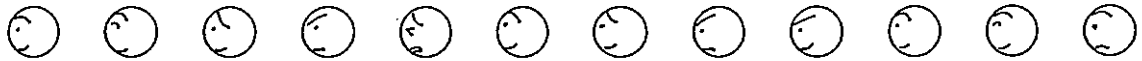
こどもが ならんでいます。

わたしは まえから 6ばんめです。



←まえ

うしろ⇒



① まえから 6ばんめに いろを ぬりましょう。

② わたしの まえには なんにん いますか。

③ わたしは うしろから なんばんめ ですか。

④ わたしの うしろには なんにん いますか。

⑤ みんなで なんにん ならんでいますか。

3

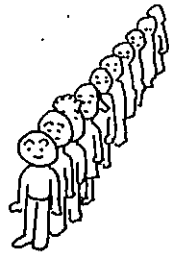
こどもが ならんでいます。

わたしは まえから 5ばんめ、

うしろから 6ばんめです。

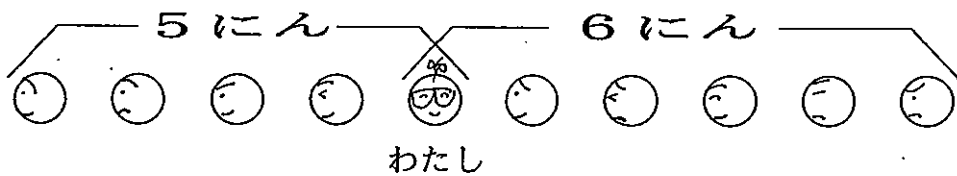
こどもは みんなで なんにん いますか。

たしざん や ひきざん を つかって かんがえましょう。



←まえ

うしろ⇒



5にんと 6にんを
たしました。

$$5 + 6 - 1$$

でも、わたしを 2かい
かぞえたので、
1ひきました。



こたえ

にん

4

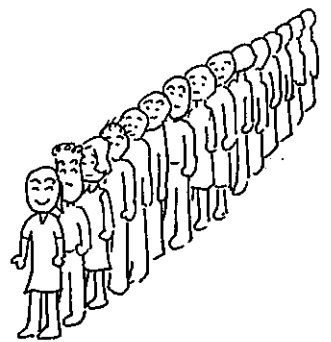
こどもが ならんでいます。

わたしは まえから 7ばんめ、

うしろから 9ばんめです。

こどもは みんなで なんにん いますか。

たしざん や ひきざん を つかって こたえましょう。

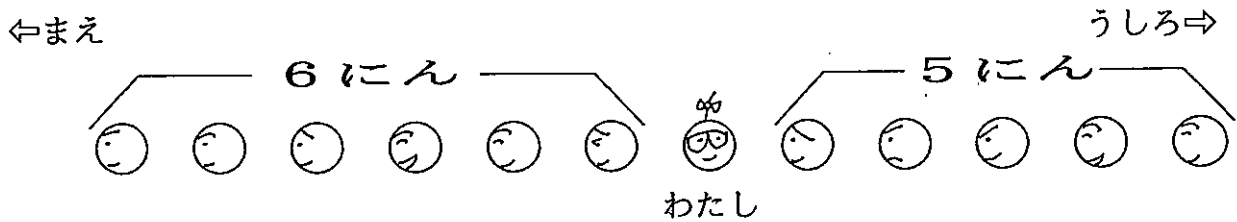


しき

こたえ

5

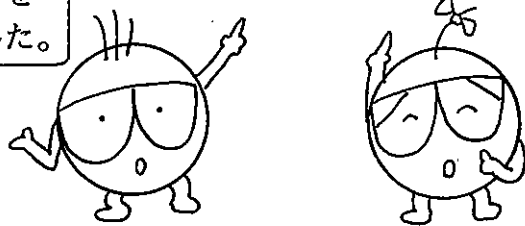
こどもが ならんでいます。
 わたしの まえに 6 にん、
 うしろに 5 にん います。
 こどもは みんなで なんにん いますか。
 たしざん や ひきざん を つかって かんがえましょう。



6 にんと 5 にんを
 たしました。

$$6 + 5 + 1$$

でも、わたしを
 かぞえていないので、
 1 たしました。



こたえ にん

6

こどもが ならんでいます。
 わたしの まえに 12 にん、
 うしろに 6 にん います。
 こどもは みんなで なんにん いますか。
 たしざん や ひきざん を つかって こたえましょう。

しき

こたえ



指導ポイント&ヒント

38課 1000 2000 3000

【内容】9000までの数の命数法と記数法

【表現】数字で書きましょう。

【指導ポイント&ヒント】

- ・ 3000以外は「せん」という発音になります。また、8000だけが「はっ」という促音になります。



38課
ようごとぶん

Unidad 38
Palabra y Frase

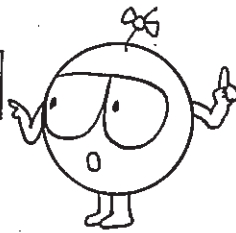
ようご	Palabra
千のくらい	Columna de los millares

ぶん	Frase
千のくらい	Columna de unidades de millar

1

9000までの数の命数法

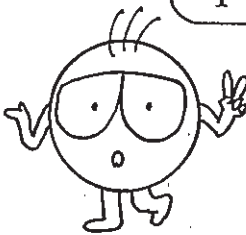
1 0 0 0



1000 (せん)

1 0 0 0

1 0 0 0

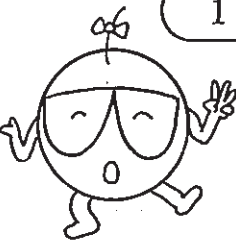


1000が2こで2000(にせん)。

1 0 0 0

1 0 0 0

1 0 0 0



1000が3こで3000(さんぜん)。

1 0 0 0

4 0 0 0

よんせん

1 0 0 0

5 0 0 0

ごせん

1 0 0 0

6 0 0 0

ろくせん

1 0 0 0

7 0 0 0

ななせん

1 0 0 0

8 0 0 0

はっせん

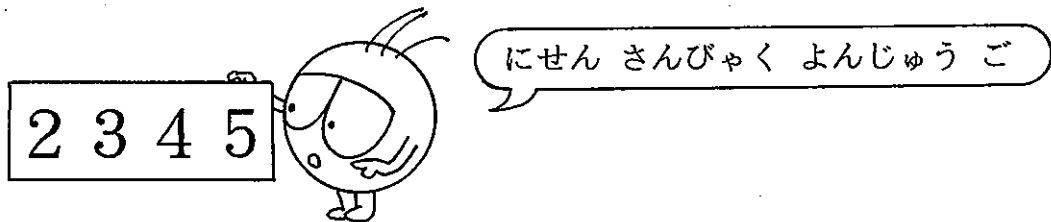
1 0 0 0

9 0 0 0

きゅうせん

2

<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">1 0 0 0</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">1 0 0 0</div>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 40px; height: 40px; display: flex; align-items: center; justify-content: center; margin: 5px;">100</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 40px; height: 40px; display: flex; align-items: center; justify-content: center; margin: 5px;">100</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 40px; height: 40px; display: flex; align-items: center; justify-content: center; margin: 5px;">100</div>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 40px; height: 40px; display: flex; align-items: center; justify-content: center; margin: 5px;">10</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 40px; height: 40px; display: flex; align-items: center; justify-content: center; margin: 5px;">10</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 40px; height: 40px; display: flex; align-items: center; justify-content: center; margin: 5px;">10</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 40px; height: 40px; display: flex; align-items: center; justify-content: center; margin: 5px;">10</div>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 30px; height: 30px; display: flex; align-items: center; justify-content: center; margin: 5px;">①</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 30px; height: 30px; display: flex; align-items: center; justify-content: center; margin: 5px;">①</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 30px; height: 30px; display: flex; align-items: center; justify-content: center; margin: 5px;">①</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 30px; height: 30px; display: flex; align-items: center; justify-content: center; margin: 5px;">①</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 30px; height: 30px; display: flex; align-items: center; justify-content: center; margin: 5px;">①</div>
千のくらい	百のくらい	十のくらい	一のくらい
2	3	4	5
にせん	さんびゃく	よんじゅう	ご



3





(1) つぎの かずを よみましょう。

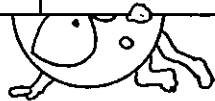
- ① 1 8 7 2 ② 2 5 6 3 ③ 7 4 9 5

(2) つぎの かずを すうじで かきましょう。

- ① せん よんひゃく ななじゅう ろく
 ② ろくせん ごひゃく はちじゅう に

4

<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">1 0 0 0</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">1 0 0 0</div>		   	① ① ①
千のくらい	百のくらい	十のくらい	一のくらい
2	0	4	3
にせん		よんじゅう	さん



5

(1) つぎの かずを よみましょう。

- ① 3056 ② 4850 ③ 5007
 ④ 6300 ⑤ 7201 ⑥ 8008

(2) つぎの かずを すうじで かきましょう。

- ① ろくせん よんじゅう はち
 ② はっせん ななじゅう
 ③ きゅうせん よんひゃく
 ④ よんせん に



6

いくつですか。 すうじで かきましょう。

①

1 0 0 0		10	
1 0 0 0	100	10	①
1 0 0 0	100	10	①

②

4 1 0 0 0	100		①
	100	10	①
	100	10	①

③

5 1 0 0 0		10	①
		10	①
		10	①

④

7 1 0 0 0		10	
	100	10	

⑤

8 1 0 0 0			①
--------------	--	--	---



指導ポイント&ヒント

39課 あと なんまいで 10000まい

【内容】10000の数の構成・命数法・記数法

数直線 数直線での数の系列・順序・大小

【表現】あと何枚で [] 枚になりますか。

【指導ポイント&ヒント】

- ・ 1000 を 10 集めたものを 10000 (いちまん) ということを数の構成とその書き方・読み方と合わせて学びます。
- ・ また、あといくつで 10000 になるかを、紙の枚数を話題にして考えさせます。本来は 10000-9000 などの計算をさせて、あと 1000 で 10000 枚になると答えさせたいところですが、小学校では 5 桁—4 桁の計算は扱いませんので、ここでは視覚的に求められる範囲で扱っています。
- ・ 日本語では、位取りを一、十、百、千、万としますが、英語では 3 つずつ位分けをします。そのため、数を数字で書くと同じですが、日本語での読み方に慣れるのは困難だと思われる。

【例】一万 (10,000) は diez mil

百万 (1,000,000) は un millón となります。

123,456,789 の場合は、以下のように数えます。

位	millón			mil			uno		
	cientos	decenas	unidades	cientos	decenas	unidades	cientos	decenas	unidades
各くらの数	1	2	3	4	5	6	7	8	9
数え方	ciento veintitrés millones			Cuatro cientos cincuenta y seis mil			Setecientos ochenta y nueve		

- ・ もし、分からなかったら 10 円玉を使って「10 円、20 円、30 円、40 円、50 円、60 円、70 円。あといくつで 100 円？」という尋ね方で予備学習させてもよいでしょう。小さい数とお金を使った練習は効果的です。
- ・ この課のもう 1 つ大切な学習課題が「数直線」です。「前から N 番目」という学習同様、加法・減法とは直接関係ありませんが、数の概念を確かなものにするために欠かせない学習課題なので採り上げました。多くの秤や時計がデジタル表示になった現代社会。目盛の読み取りはどの国の子どもも苦手とする内容の 1 つです。
- ・ ポイントは 3 の問題です。平積みした紙の束の図を見て、10000 枚の 1 つ手前の束の数を 9000 であることを見つける場面が大切です。ここは引き算や足し算を使うのではなく、平積みの束が 1000、2000、3000、4000…と、1000 ずつ増えていることに着目させ、唱えていくと答えがすぐに分かるはずですが。10000 の数の構成と記数法 (書き方)・命数法 (読み方) の学習と数直線の学習は別物ですが、同じ課で扱ったのは、リズムカルに 1000、2000、3000…と言っていくうちに途中の空欄の数が分かるという

子ども達の反応を見て、ここで合わせて学ばせると大きな数の数直線の理解に役立つと考え、同じ課で「大きな数の数直線の学習」の導入をしました。

- ・ ③の問題を受けて、いよいよ数直線の導入です。①はリズムカルに1000、2000、と唱えて正解に到達させましょう。②は目盛がさらに細かく10等分され、1目盛が100となります。1目盛が100であることを分からせるために、紙の束が平積みから横並びになっている絵が添えられているところがミソです。
- ・ 日本語は「あと [] で [] になりますか。」以外に「□に入る数」という表現が出てきますが、「□に入る数」のほうは40課で丁寧に扱うようにします。



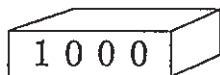
39課
ようごとぶん

Unidad 39
Palabra y Frase

ようご	Palabra
いちまん	Diez mil

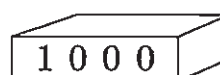
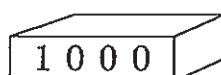
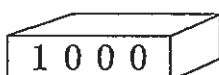
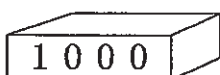
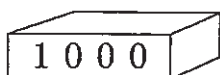
ぶん	Frase
いちまん	Diez mil

1

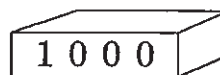
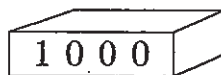
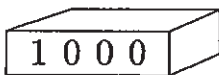
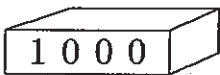
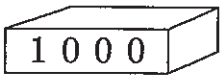
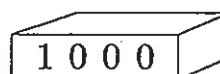
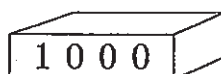
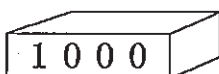
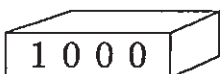
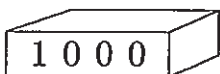


かみが 1000まい あります。

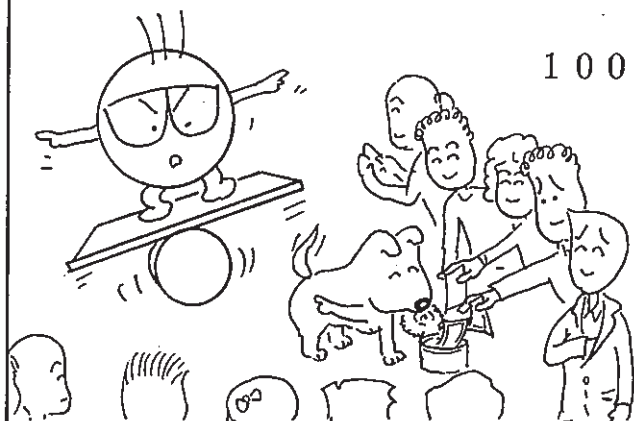
これが 5こで なんまいでしょう。



これが 10こで なんまいでしょう。



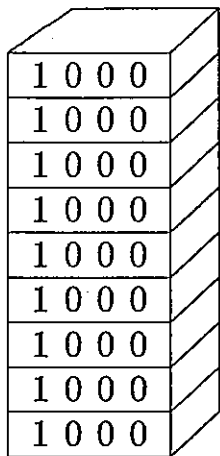
1000を 10あつめたかずを
10000 (いちまん) と いいます。



1000えんを 10にんから あつめたら
いくらになりますか。

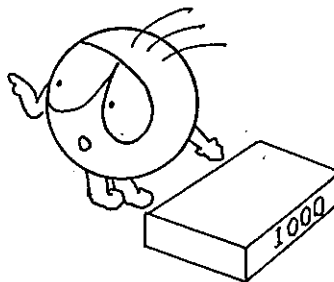
2

①

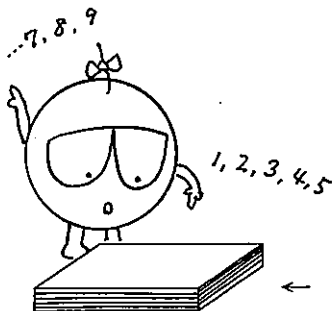
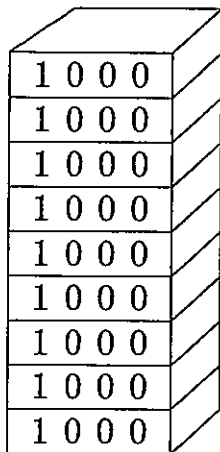


なんまい ありますか。

あと なんまいで
10000まいに
なりますか。

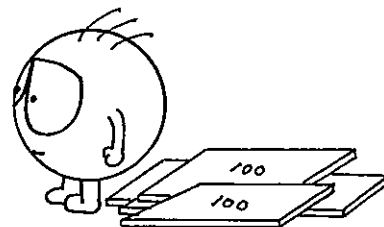


②

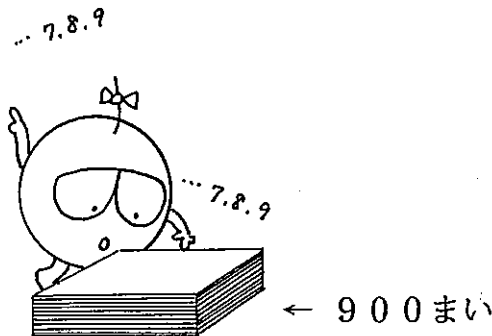
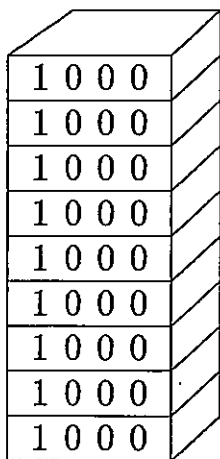


なんまい ありますか。

あと なんまいで
10000まいに
なりますか。

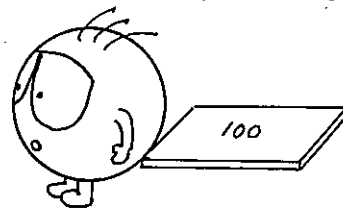


③



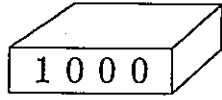
なんまい ありますか。

あと なんまいで
10000まいに
なりますか。



3

にはいる かずは
いくつですか。



これで
1000だから

10000 →

→

8000 →

7000 →

6000 →

5000 →

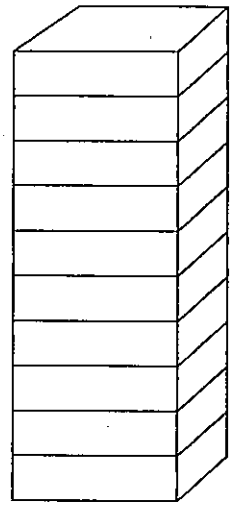
4000 →

3000 →

2000 →

1000 →

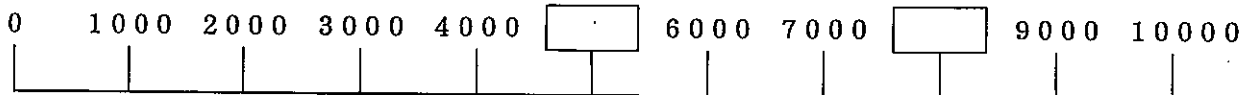
0 →



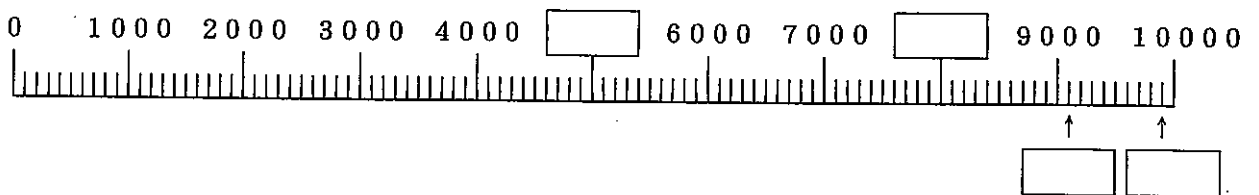
4

数直線での数の系列・順序・大小の確認

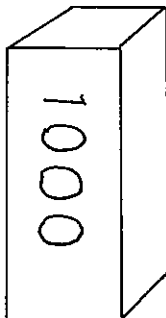
① にはいる かずは いくつですか。



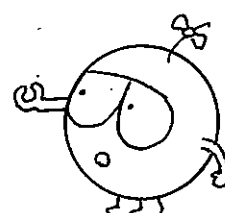
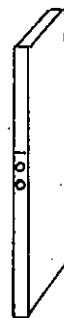
② にはいる かずは いくつですか。



これは 1000。



これは 100。





指導ポイント&ヒント 40課 かずの せん

【内容】数直線の読み取り

【表現】[]に入る数

【指導ポイント&ヒント】

- ・ 39課の4の②で数直線の学習に踏み込んだわけですが、実は、数直線を使った数の学習はもっと小さい数で学習しています。ただ、小さい数の場合はあまり「数直線」という感じでとらえていない子どもが少なくないようです。そのため、1目盛りが100や1000になったとたん間違える子、1目盛りが10を表していても数直線には100ずつしか数が記されていないと分からなくなる子が続出します。どうやら、小さい数での数直線と大きい数での数直線との理解が「つながっていない」ようです。そこで、この課では小さい数から大きい数までを「まとめて」学習するようにしました。かなり細かいステップに分けてありますので、ほとんどの子どもが理解できるはずです。
- ・ この課は、一気に学習を終えるのがポイントです。2時間に分けて教えなくてはいけないようなときは扱わないほうがよいでしょう。子どもの頭の中に「数直線」が描けたら、そのイメージをその1時間で一気に固めてしまうことが重要です。語学は「小分け」にして学習。算数は「一気に」学習。これがポイントのようです。
- ・ この課の重要表現は「□に入る数は何ですか。」です。設問ごとに繰り返し子どもの耳に入れましょう。全ての設問が終わったあとで、今度は子どもの方から先生に「□に入る数は何ですか。」と問わせて先生が答えると、発話練習になります。



40課
ようごとぶん

Unidad 40
Palabra y Frase

ようご	Palabra
かずのせん	Línea numérica

ぶん	Frase
かずのせん	Línea numérica



40 かずの せん

簡単な数系列を利用して数直線に慣れる

1

にはいるかずは なんですか。

①



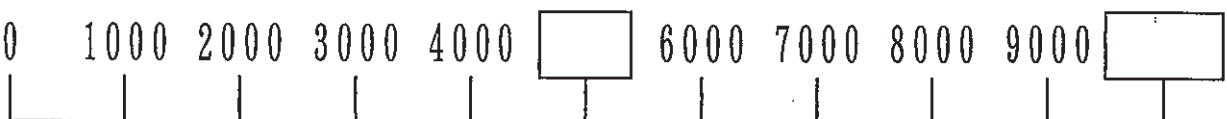
②



③



④



2

10等分された目盛りから1目盛りを読み取る

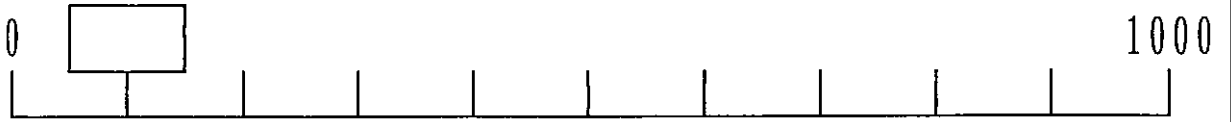
①



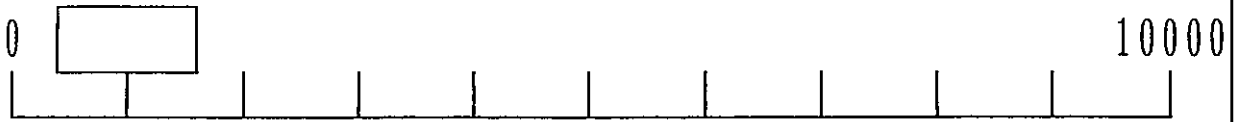
②



③



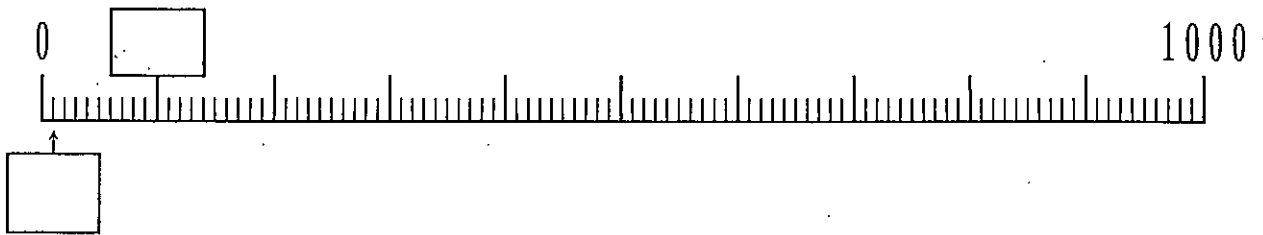
④



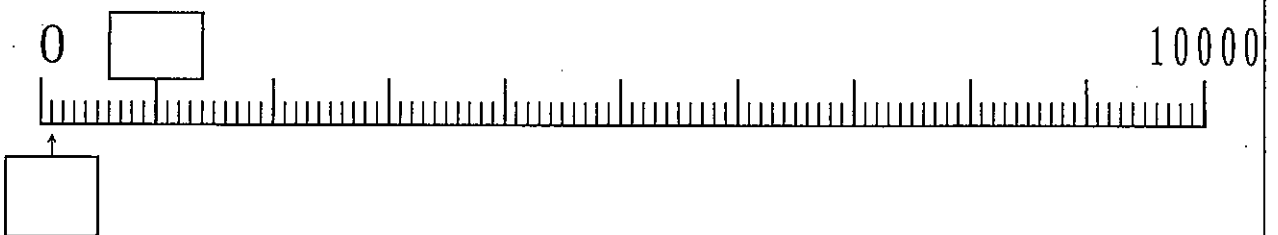
⑤



⑥



⑦



3

□にはいるかずはいくつですか。

